

年報

—平成17年度—

2006

大磯町郷土資料館

はじめに

ここに大磯町郷土資料館の平成 17 年度年報を刊行いたします。

当館は、昭和 63 年 10 月に開館以来、『湘南の丘陵と海』のテーマを掲げさまざまな活動を実践してきました。平成 17 年度には開館 17 年目を数え、博物館施設として成熟期を迎えています。しかし、近年では町の財政状況とともに、博物館を取り巻く環境はたいへん厳しい状況が続いています。このような中であって、効率的な施設の維持管理を目指しつつ、博物館施設としての機能や役割を十分認識した活動に邁進してきました。

平成 17 年度も限られた予算のなかで、さまざまな活動を進めました。近年、企画展の大きな柱となっている他博物館施設との共催事業については、江戸民具街道との 2 回目の共催展が実現しました。また、太平洋戦争終結から 60 年経ったことから、『戦時下の暮らし』をテーマとしたミニ展示を急遽開催するなど、社会的関心事にも柔軟・迅速に対応できるように努めました。『県立大磯城山公園の植物～ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を中心に～』は、表題のとおりワークショップ参加者の参画によって実現した展示です。あわせて企画展関連行事についてもさまざまなご協力を仰ぎながら進めることができ、今後博物館活動を進めるにあたって大きな財産となりました。

なお、他博物館施設とのネットワークだけでなく、大磯町内における他課との連携を通じた活動も積極的に展開しました。保存問題で論議を呼んでいる旧吉田茂邸の開放日にあわせた資料特別公開、あるいは館事業としては表出していませんが、お年寄りを対象に古い生活道具を介して自身の体験や記憶に思いをめぐらせて脳を活性化し介護予防に供する、いわゆる「回想法」を保健師と協力して行なうなど、新たな試みも進めました。もちろん、たいへん小さな試みに過ぎませんが、このような地道な活動こそ地域博物館としての基礎体力になると信じています。

今後とも館活動についてご理解・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目次

[事業報告]

庶務 2

- ・組織および職員
- ・運営委員会
- ・予算
- ・維持管理
- ・入館者

学芸 4

- ・企画展
- ・学級/講座
- ・刊行物
- ・調査/研究/普及
- ・博物館実習
- ・博物館資料の収集と利用

文化財 37

- ・文化財専門委員会
- ・文化財の調査
- ・文化財の保護啓発
- ・埋蔵文化財

[研究報告]

大磯町郷土資料館所蔵の脱穀・選別具について
～千歯扱、足踏脱穀機、動力脱穀機、万石～

佐川和裕 44

ワークショップ「草と木の調査」における
県立大磯城山公園の植物名ラベル設置作業実施報告

北水慶一 50

事業報告

庶 務

■組織および職員

教育長	—————	教育次長	—————	郷土資料館	—————	(郷土資料班)
渡邊修司		鈴木一男		館長(兼務) 瀬川 健		副主幹 鈴木 孝 副主幹 杉崎 稔 副主幹/学芸員 佐川和裕 主 査/学芸員 國見 徹 主任主事/学芸員 北水慶一 臨時職員 (資料館)加藤廣美 渡邊恵子 (文化財)畠山恵子 杉山彰子 松本礼子

■運営委員会

<委員の構成>

- ・委員 長/石田和夫 (学識経験者)
- ・副委員長/廣瀬利郎 (社会教育委員)
- ・委 員/稲葉和也 (文化財専門委員) 近藤英夫 (町史編さん委員) 福島睦恵 (学校長)

<委員会の開催>

- ・第1回/平成17年7月7日 平成16年度事業報告について、平成16年度事業計画および予算について
- ・第2回/平成18年2月16日 平成17年度事業の進捗状況について、平成18年度基本方針について
平成18年度事業計画について

■予算

<当初予算の推移>

単位：円

年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
金額	69,757,000	62,801,000	61,638,000	60,940,000	63,293,000	61,188,000

□郷土資料館費 57,763,000円 □文化財関係費 3,425,000円 ■計 61,188,000円

*補正予算額 8,746,000円

<平成17年度決算>

単位：円

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	郷土資料館改修
金額	45,500	1,686,306	13,078,417	1,812,190	451,844	2,310,000
事業	文化財専門委員会	文化財調査保存	計			
金額	75,600	2,341,086	21,800,943			

□職員給与 (5人分) 45,928,205円 ■歳出合計 67,729,148円

■維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託/(株) 郵生
- ・空調設備給水設備保守委託/高砂熱学工業 (株) 横浜支店

- ・消防用設備保守委託／相日防災（株）小田原支店
- ・昇降機保守委託／ダイコー（株）横浜営業所
- ・自動ドア保守委託／（株）神奈川ナブコ 厚木支店
- ・自家用電気工作物保守委託／浅葉電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業（有）
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会

<施設の修繕>

- ・給水装置等交換／高砂熱学工業（株）横浜支店
- ・消防設備等交換／（株）三栄防災
- ・浄化槽修繕／湘南興業（有）
- ・案内板修繕／杉山アート

■入館者

<入館者の推移>

単位：人、日

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	累計（昭和63年～）
入館者数	32,886	30,835	28,497	28,250	26,421	585,639
1日平均／開館日数	117／281	112／274	100／285	97／291	89／296	117／4,971

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,813	2,500	1,392	1,700	1,607	1,550	2,311	2,771	1,698	1,459	3,499	3,121	26,421
1日平均	112	100	56	65	64	62	92	111	74	63	152	120	89

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	0	7	3	0	1	6	2	1	0	1	4	29

<学校利用>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
小学校	1	1	1	—	—	—	3	1	—	—	—	1	8
中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
その他	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	3
合計	1	1	3	0	0	0	4	1	1	0	0	2	13

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	6	8	6	9	4	9	14	9	7	9	19	108

学 芸

■企画展

東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館共催展（平成16年度から継続）

「日本人形の姿と形一節句飾りを絵解きする」

期 間／平成17年2月6日（日）～ 5月8日（日）

開場日数／76日間

会 場／企画展示室、休憩室

資料点数／約400点

料 金／無料

入場者数／8,707人

（趣 旨・内 容）

平成17年度事業であるが、年度を跨いで行った。東京家政学院生活文化博物館との共催展として、また、(株)久月、ならびに久月人形学院から特別協力を受け、「産学官」による協働作業を試みたものである。なお、詳細については、前年度（平成16年度）の年報を参照願いたい。

（担 当） 佐川



戦後60年記念ミニ展示

「館収蔵資料による 戦時下の暮らし」

期 間／平成17年7月23日（土）～ 9月4日（日）

開場日数／36日間

会 場／企画展示室

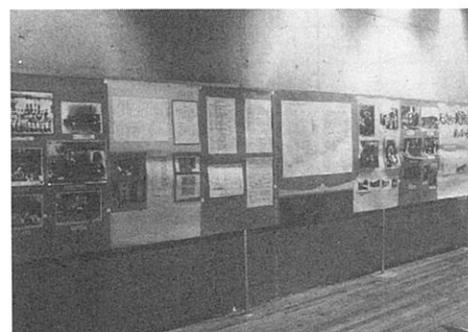
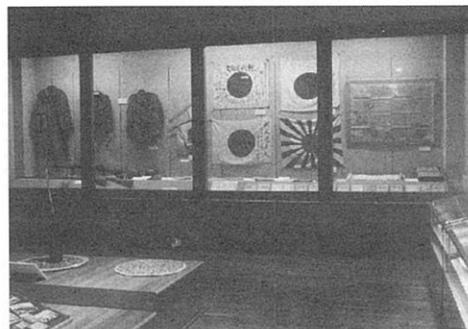
出品点数／約200点

料 金／無料

入場者数／2,380人

（趣 旨） 昭和20年（1945）8月15日の太平洋戦争終結から60年の歳月が経った。折しも、憲法9条や靖国参拝問題等の論議が活発になっており、先の戦争の意味を再検しようという気運が生まれている。そこで戦後60年にあたり館収蔵資料による『戦時下の暮らし』をテーマとしたミニ展示を開催することにした。ささやかな本展示が、過去の戦争を振り返りつつ、今後の日本の平和を考える契機になることを期待した。

（内 容） 時事や社会的関心事にも柔軟な対応を行なうことを意図し急遽企画したテーマであったため、全体としてテーマについて意を尽くすことのできるだけの資料や情報が収集されていたとは言い難い。例えば、開戦当初の勢いそのまま各地で戦鬨を繰り広げた実情を直接指し示す資料はなく、また、やがて戦況が悪化し、本土における戦禍を生々しく物語る資料も十分に収集されているわけではない。展示の一部には、自主学習グループ「摘み草の会」による町内における戦災調査の成果を借用して紹介したが、その他はあくまでも当館の「郷土の環境文化を明らかにしていくための調査」というスタンスのなかで収集された資料や情報を集めたものである。したがって、本展示では、戦争と戦時下の暮らしのほんの一側面のみを垣間見ているに過ぎないことを観覧



者に対して明示しておいた。今回のように戦争をテーマとして取り上げるにあたっては、企画にはかなり慎重を要した。観覧者はそれぞれにさまざまな歴史観や戦争史観をもっておられるので、それらを否定するものであってはならないし、また、企画担当者の意識によって博物館がひとつの固定的な戦争史観をもってしまふ恐れにも留意する必要があると考えたからである。結果的に展示内容は戦時下の庶民生活を中心に据えたが、展示趣旨の記述内容に異論が寄せられた（当館に直接ではないが）という。あらためて戦争展示のむずかしさを感じた。なお、表記上は「ミニ展示」としたが、これは限られた企画展事業予算のなかで展示回数をこなすためには、全く予算を充てることのできない企画展が発生することもやむを得ない状況であった。したがって、本展示ではチラシなどの印刷物は作成せず、本企画についての新たな予算執行は全くなかったため、便宜上ミニ展示とした。ただし、展示点数や内容については、他の企画展と何ら変わりはないものであった。

<展示資料一覧>

No.	資料名	数量	寄贈者(敬称略)	備考
1	コート	1	加藤登思枝	出征兵士の服装
2	上着	1	新堂栄一	出征兵士の服装
3	上着	1	西方 宏	出征兵士の服装
4	エモンカケ	3	加藤登思枝	
5	モンペ	1組	中村フサ子	上衣および下衣
6	タスキ	1	椎野スエ	「出征軍人 祈武運長久 汐入町東部々會」
7	鉄カブト	1	大久保松五郎	
8	鉄カブト	1	石井幸太郎	
9	奉公袋	1	椎野スエ	
10	ゲートル	1組	五島八右衛門	
11	ハラマキ(千人針)	1	椎野スエ	
12	銃	1	西海 誠	三八式歩兵銃
13	銃弾	1	山口 進	
14	木銃	2	西山敏夫	
15	刀	1	四ッ谷スミ	大東亜戦争時の将校用
16	日の丸の寄せ書き	2	片岡登美子	
17	日の丸の寄せ書き	1	木村徳兵衛	
18	日の丸の小旗(日章旗)	3	関野好一	布製
19	日の丸の小旗(日章旗)	5	西山敏夫	紙製
20	旭日旗	1	関野好一	
21	錫箔	1	市原 誠	昭和20年に鷹取山麓で拾得
22	風呂敷	1	山口 修	
23	ガスレンジ	1	石井幸太郎	代用品、陶製
24	バケツ	1	松下敏明	代用品、木製
25	祈願祭の立看板	1	近藤 栄	
26	消火弾	3	(株)プロバスト	
27	石灰用の木箱	1	渡辺栄一郎	「山王町 六群」
28	鏡餅	3	長谷川商店	代用品、素焼
29	防衛食容器	2	西山敏夫	缶詰の代用品、陶製
30	陶磁器片	一括	—	統制番号付
31	ラジオ	1	住友石炭鉱業(株)	
32	額(天皇一家の肖像)	1	当館	
33	買出し用のリュック	1	五島八右衛門	
34	買出し用のリュック	1	—	
35	電灯	1	—	
36	机、椅子	2組	中村 喬	

37	鉄ゴマ	3	加藤春雄	
38	ジュズダマ	2	渡辺美代	
39	お手玉	2	関野好一	
40	貝あわせ	一括	五島八右衛門	
41	将棋盤、駒	1 組	西山敏夫	
42	メンコ	46	外山一実	
43	ジックイ	3	大山高次郎	自作
44	竹トンボ	1	大山高次郎	自作
45	ブンブン	1	大山高次郎	自作
46	水鉄砲	1	大山高次郎	自作
47	杉鉄砲	1	大山高次郎	自作
48	紙鉄砲	1	大山高次郎	自作
49	ぬり絵	1	加藤登思枝	
50	絵はがき	1	加藤登思枝	
51	絵はがき	2 組	西海 誠	
52	一升瓶 (米つき)	2	—	
53	焼夷弾	3	当館	竹縄遺跡出土
54	『アサヒグラフ』	5	加藤登思枝	4~31号 (昭和12~14年)
55	『輸送戦線』	1	加藤登思枝	昭和18年
56	『週報』	43	加藤登思枝	273~425号 (昭和16~19年)
57	『日本週報』	1	加藤登思枝	昭和21年
58	『報道』	1	加藤登思枝	昭和19年
59	『大東亜戦争戦線布告と開戦理由』	1	加藤登思枝	昭和17年
60	『國民歌謡』	7	外川一実	15~71輯 (昭和12~15年)
61	『高等小學國史』	2	加藤登思枝	上・下巻 (昭和12年)
62	『小學國史 尋常科用』	1	加藤登思枝	上巻
63	『初等科國史』	1	加藤登思枝	上 (昭和18年)
62	『高等小學讀本』	4	加藤登思枝	巻1、2、4 (昭和5~15年)
63	『高等小學讀本 女子用』	4	加藤登思枝	巻1~3 (昭和12~16年)
64	『小學國語讀本 尋常科用』	2	加藤登思枝	巻6、10
65	『高等小學地理書』	2	加藤登思枝	巻1 (昭和11、17年)
66	『尋常小學地理書』	2	加藤登思枝	巻1、2 (昭和13年)
67	『初等科修身』	2	加藤登思枝	2、3 (昭和17、18年)
68	『尋常小學修身書 兒童用』	2	加藤登思枝	巻5 (昭和13、14年)
69	『初等科國語』	2	加藤登思枝	3、7 (昭和17年)
70	『國語』	1	加藤登思枝	巻6 (昭和12年)
71	『中等文法』	1	加藤登思枝	2 (昭和19年)
72	『初等科習字』	1	加藤登思枝	2 (昭和17年)
73	『初等科算數』	2	加藤登思枝	3、4 (昭和17年)
74	『尋常小學算術書 第六學年 兒童用』			
		1	加藤登思枝	昭和12年
75	『尋常小學算術書 第五學年 兒童用』			
		1	加藤登思枝	上 (昭和14年)
76	『初等科理科』	2	加藤登思枝	1、2 (昭和17、18年)
77	『高等小學理科書 第一學年 兒童用』			
		2	加藤登思枝	昭和7年
78	『初等科裁縫』	2	加藤登思枝	上、中 (昭和17、18年)
79	『初等科音楽』	1	加藤登思枝	3 (昭和17年)
80	『初等科圖畫 女子用』	1	加藤登思枝	3 (昭和18年)

81	『教育勅語』	1	西海 誠
82	『支那事變一周年ニ賜リタル勅語』	1	西海 誠
83	『戊申詔書』	1	西海 誠
84	『國民精神作興詔書』	1	西海 誠

*パネル類を除く

なお、期間中に展示室にアンケート用紙を設置した。アンケートは最終的に 77 枚回収することができた。アンケートには、今回の企画展の意見や感想だけでなく、ご自身の戦争体験や、父母・祖父母から聞いた戦争にかかわる話などを書いていただくようお願いしたところ、予想以上に多くの方々にご投稿いただいた。そこで、ここではできるだけ多くの方々への戦争に対する思いを紹介しておく。

<来館者の住所(人)>

- ・大磯町内(29) ・平塚市(13) ・城山町(9) ・横浜市(5) ・二宮町(4)
- ・伊勢原市(4) ・厚木市(2) ・藤沢市(1) ・小田原市(1)
- ・東京都(5) ・山梨県(1) ・北海道(1) ・大阪府(1) ・不明(6)

<来館回数(回)>

- ・初めて(36) ・2回(15) ・3回以上(24) ・不明(2)

<年齢>

- ・1～9歳(10) ・10～19歳(20) ・20～29歳(3) ・30～39歳(2) ・40～49歳(1)
- ・50～59歳(9) ・60～69歳(7) ・70～79歳(3) ・不明(22)

<感想・意見・戦争にかかわる話(投稿順・原文のまま)>

- ・「私は 26 年生まれですが、戦後 60 年…父が明治 44 年生まれで、シベリアにヨクリユウ(7 年間)され、帰国して私が生まれました。何となく複雑な気持ちで拝見致しました。
(厚木市、女性 53 歳、来館 2 回)
- ・「じいさんは、とどかないそらにむかって てきのひこうきをうったそうです。もしこんご、せんそうがあっても、まけぬよう」
(北海道、男性 47 歳、来館初)
- ・「もう少し、体験できるコーナーがほしい。今回の米つきみたいのものを…。いろいろみてとっても楽しかった。」
(大磯町、女性 12 歳、来館 3 回以上)
- ・「本日は別件で訪れた折、立ち寄らせて頂きました。僕は今こうして平和に暮らしていますが、丁度同じ年頃に祖父は戦争を体験したのかと思うと、正直言って恐ろしいです。どうして戦争という最悪の手段が取られてしまうのか、自分も社会で発言できる世代だという責任を感じ真剣に考えていきたいです。」
(東京都、男性 22 歳、来館初)
- ・「始めて昔の物がみれてびっくりしました。お母さんとお父さんもこうゆうふくをきていたんですね。」
(城山町、女性 10 歳、来館初)
- ・「大磯町東町 1 丁目に住んでいた(S28 年～S44 年)大岡昇平様は大磯に住んだ作家で戦争にも行っている。レイテ島戦記等有大磯に住んだ作家に入れてもいいのでは。息子さんの□□さん小田原に住んでます。大岡さんのものはほとんど横浜の文学館に入っているようですが」
(二宮町、女性 62 歳、来館 3 回以上)
- ・「もっと資料があるはず、昔の道具もあるはず。積極的今しか収集できないと思う、有料としたら寄附者名永久添付の方策をとり職員の積極性を求める。町財政(源)ら、心配することなく逃げないで職員一人一人、町民こぞっての収集活動を乞う。今回は又、他市町から借りてでも、もっと内容あるものにして欲しかった。」
(二宮町、不明、来館 3 回以上)
- ・「国府に焼夷弾が投下されたのは知っていましたが、他の場所のことは初めて知りました。戦時中、実際に使われていたものを真近で見ると、再びこのようなことが起きないようにしなくては、とあらためて思いました。戦後 60 年にふさわしい企画、よかったです。他の方にも知らせようと思います。」
(大磯町、女性 51 歳、来館 3 回以上)
- ・「私のおばあさんは、戦争で「爆だん」がおちたとき、そのばくだんの「はへん」が指にささってしまい、そこのところだけ、へこんでしまっています。その指をみるといたいたしく、戦争はつらい、ひどい、かなしいということを実感してしまいます。」
(大磯町、女性 13 歳、来館 3 回以上)

- ・「祖父に生前、戦争の話を聞くと、あまりくわしい話はしてくれませんでした。海軍にいたこと、のった戦艦の話をほんの少しだけ。決して大変だったとか苦しかったと言う姿は、なかったです。祖母の話は、空しゅうの時、防空ごうに入ったこと、松やにをとったこと、竹やりの練習をしたこと、配給の話など いろいろ聞きました。やはり祖母も大変だった苦しかったとは言いません。」
(大磯町、女性 31 歳、来館初)
- ・「父は私が 4 才の時に出征しました。母の背におぶさり平塚駅まで見送りに行った事は今だにおぼえています。でも昭和 21 年に戦死しました。その事もはっきりおぼえています。ですから、この写真を見て昔の事を思い出してむねがいっぱいになりました。たいへん良い物を見せて戴きありがとうございます。」
(平塚市、男性 65 歳、来館 2 回)
- ・「出展の書いていないものがあつたのが残念です。大磯の戦争被害について、もう少し詳しく知るための展示があると良いと思いました。」
(大磯町、男性 37 歳、来館 3 回以上)
- ・「大磯の文化等で、こういう所にこういう物があると、なぜかワクワクします。パンフレット何部かもらいましたが、大切に人にすすめたり、自ら勉強したり、もっと大磯のことについて知りたいと思います。」
(大磯町、男性 14 歳、来館初)
- ・「B29 がかつこよがった。こんどはぼくの、ひいじいちゃんの写真をかざってほしい。日本バンザイ」
(大磯町、男性 6 歳、来館 3 回以上)
- ・「当時は東京にいて 3 月 10 日の東京大空襲で飛鳥山（北区）に非難し、下町が真赤に燃えている様子を暗たんたる気持ちで眺めていた、自宅も結局は全焼し、埼玉県へ疎開し、終戦を迎えた。2 度と繰返したくない思い出である。」
(大磯町、男性 75 歳、来館 3 回以上)
- ・「戦時下のくらし」展の時期にたまたま立ち寄りしましたが、とてもなつかしく、とても良い資料を見ることが出来て、感激致しました。ぜひもう一度来所したいと思いますので、展を延期してもらえればと存じます。」
(平塚市、男性 79 歳、来館初)
- ・「とても戦争が始まってから終わるまでののが分つた。」
(横浜市、男性 11 歳、来館初)
- ・「米つきがおもしろかった」
(横浜市、女性 8 歳、来館初)
- ・「よくわからない。せんそうはこわいとおもう。」
(大磯町、女性 10 歳、来館初)
- ・「軍服についているベルトを 7、8 才の頃欲しくてたまらなかつた事を思い出しました。孫たちには一升ビンの米つきを体験させました。大変だなあーいつ食べられるかわからないといつてこぼしていました。」
(大磯町、男性 不明、来館初)
- ・「写真などをみていると白黒だし、今とちがうし、かんけいない人も（あかちゃんとか）がしんじゅうからかわいそうだと思った。もし私もそうだったらほんとにいやだと思った。だからもうこんなふうになつてほしくない。」
(平塚市、女性 12 歳、来館 2 回)
- ・「せんそうにいきたくないんだけど 日本のためにいかなければならないところがかあいうでした。」
(平塚市、不明、来館初)
- ・「高校、大学と大磯を離れていたため、久しぶりに来館した。海外に行く機会がふえ、ベトナムやフィリピン、インドネシアなどで戦争歴史に触れることができたが、今年で戦後 60 年というのは早いものだとしみじみする。目の前で兄を敵に打ち殺された経験をもつ祖父は、多くは語らないが、沈黙の中に、戦争への怒りを感じる。戦争があつたという事実を、語り継がねばならないと切に思う。」
(大磯町、女性 21 歳、来館 3 回以上)
- ・「どんな理由があつても、人間の知恵をもって戦争してはならない。次の世代に語りつゝけて戦後 60 年、平和を大切に。」
(横浜市、女性、来館 2 回)
- ・「戦いは勝つてこそ戦いである」
(藤沢市、男性 55 歳、来館 3 回以上)
- ・「当時の資料は年とともに失なわれてしまうので貴重なものですね。今後は最近の技術（複写）で一時お借りして残すのも方法ではないでしょうか？失なわれる前に…セピア色の写真はどこの家庭にも大切に保管されているのではないのでしょうか？」
(大磯町、男性 61 歳、来館 3 回以上)
- ・「戦時下の町民の暮らしぶりがみえる展示です。大きな出来事よりも普段の生活をもっと知りたいと思います。戦時下、私の母は小田原の方で農家の娘で、兄が兵役についたので、家事一切をしていたようでした。馬と山へ行った際、戦闘機の機銃掃射にねらわれて、馬の下に入り助かつたと言っていました。兵隊が来ると米や食べ物を与え、その時に兵隊がもつていた食べ物が腐つていて、兵隊は大変だと思ったそうです。又、看護婦になり戦地に行きたいと母に言つたら、止

められたと言っていました。小田原の海岸に飛行機が落ちたので、竹ヤリをもって多人数で行ったら日本兵だったとも言っていました。」
(小田原市、男性 52 歳、来館 3 回以上)

- ・ 「戦後の生れで、話は義父から聞いていました。海軍で通信の方をやっていたそうです。仲間も大勢死に二度と戦争はいやだと言っていました。日の丸のはたをみてジンとききました。」
(大磯町、不明、来館 3 回以上)
- ・ 「①60 年以上前の実物、写真、資料を拝見することができてとても感動しました。大切に保管され、また寄贈もされ善良な町民がおることを誇りに思います。②「摘み草の会」のお調べになった結果を、ご披露下さったことはとても勉強になりました。昭和 51 年から大磯町に居住していますので、それ以前のことがわかって有益でした。③最後に職員さんがレイアウトを工夫されて、効果的に展示して下さいありがとうございます。追伸、「米つき」小学生 1 年～4 年生くらいまで、子供の仕事として玄米を白くする仕事をやらされて育ちました。久しぶりにやってみて懐かしかったです。」
(大磯町、女性 65 歳、来館 3 回以上)
- ・ 「戦争は恐いものだなあ～とおもいましたッ。私のおじい chan は、アメリカ人で戦争を経験して戦死しました。なので、おじいちゃんにあったコトはありません。戦争は絶対反対です。」
(大磯町、女性 15 歳、来館 3 回以上)
- ・ 「父から戦地 (中国) の話を聞いたことがあります但し展示の品々を見て昔聞いた話を思い出し両親の生活振りをかい間見た気がしてなつかしくも、又戦争は決しておこしてはならないと強く感じました。戦後 60 年という思いが伝わる展示、ありがとうございます。」
(伊勢原市、女性 50 歳、来館 2 回)
- ・ 「平塚の空襲と戦災を記録する会の会員です。市原様ご提供の「アルミ箔」をみせていただきにきました。空襲の様子を描いた絵の「高麗山が吸いとる」という表現が印象的でした。私どもも絵を残していきたいと思っていますので、いつかこの描き手の方にお話を聞きたいと思います。」
(大磯町、女性、来館 3 回以上)
- ・ 「終戦後 60 年経ち、各地で戦争を風化させないための催しが行なわれました。郷土資料館が「戦時下の暮らし」の展示会を実施して下さいしたのはとても勉強になりました。当時のことがよくわかります。戦後 70 年の展示会を、大変でしょうがやって下さることを願っています。それまで私も元気で生きていきたいです。憲法改悪、教育基本法改悪と、少しずつ戦争ができる国になることを阻止しなければなりません。」
(大磯町、女性 65 歳、来館 3 回以上)
- ・ 「6～7 歳の時 終戦直前東京で空しゅうにあい、その後島根県にそかいしました。うるおぼえの戦争色々思い出し身の毛がよだつ思いです。決して忘れてはいけない語りつがなければいけない事だと あらためて感じました。」
(大磯町、女性 67 歳、来館初)
- ・ 「神奈川新聞の記事を見て、もう一度来ました。日の丸に寄せ書きをするようなことが二度とありませんように。」
(大磯町、女性 50 歳代、来館 3 回以上)
- ・ 「戦争については二度とこのような体験はしないことは重要です。まごに話をしたいと思えます。」
(平塚市、男性、来館初)
- ・ 「せんそうわ ほんとにだめことですよ ぼくのおじいちゃんのババわせんそにいきました おじいちゃんのババかいてきました うちあをしたりしました バくだもおとしてきました ひこうきのなまえもしてました びにじゅごです」
(平塚市、男性 7 歳、来館初)
- ・ 「戦争にかかわる資料・物はもっと多く、各家の押し入れ深く寝っていると思われます。旧家を回り、取り壊しになる前に、収集すべきではないかと思えます。我が家にも中国出兵時の残酷な写真があったが、父の死後、それらの写真を見つけることができなくなった。失う前に、もっと足を使って努力すべきだと思う。」
(大磯町、男性 61 歳、来館 3 回以上)
- ・ 「どうして戦争なんか起きたのか、私には、よく分かりません。でも、この展示を見て、戦争のことがよく、分かりました。ありがとうございます。」
(伊勢原市 女性 11 歳、来館初)
- ・ 「せんそうのじだいこうまれなくてよかったです。せんそうはいやです」
(伊勢原市 女性 7 歳、来館初)
- ・ 「子供がまだ 2 才で理解できないのですが、もう少し成長したら戦争の残酷さなど伝えたいです」
(二宮町、女性、来館 2 回)

(担 当) 佐川

「県立大磯城山公園の植物～ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を中心に～」

期 間／平成17年10月23日(日)～平成18年1月15日(日)

開場日数／65日間

会 場／企画展示室

出品点数／約250点

料 金／無 料

入場者数／6,224人

(趣旨)近年、博物館の活動において住民に参加を募り、ワークショップ形式で、個別の研究テーマにそった活動を進めることが一般的になってきた。活動の延長として企画展による調査結果の公表や報告書の刊行も目にするものが多くなってきており、当館で行なっているワークショップ“草と木の調査”でも同様に4年半継続してきた「県立大磯城山公園の植物調査」の結果を公開する機会とした。

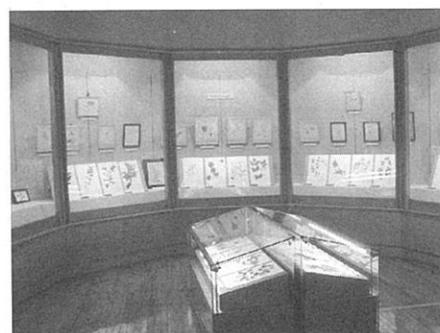
ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を企画展で公表するのは、平成12年度企画展『「草と木の調査～秋の植物～」速報展(会期：平成13年1月7日～2月18日)』に続いて2回目となる。前回の企画展では、ワークショップによる調査活動と企画展準備作業とは事業を分離し、実地調査から集計までの調査活動はワークショップ参加者の方々と一緒に作業を行ない、企画展の準備・設営は館の職員だけで行なった。反省としては、調査結果の公表という

ことを全面に出したため、資料がパネル類に偏ってしまい展示室内でのレイアウトの変化が乏しく、見映え・印象の薄い展示になってしまったこと、また一緒に調査活動を行なってきた参加者の方の意見を展示に反映できなかったことがあげられる。そういった反省を踏まえて、今回の企画展では展示の準備段階からワークショップ参加者の方々に参画していただき、来館者の興味を引き、有意義な展示を形づくることをワークショップのスローガンに準備を進めた。

(内容)本展は「城山公園 四季の花」、「植物画と植物標本」、「城山公園の花ごよみ」、「草と木の調査 活動の一覧」、「城山公園主要ポイント樹木分布図」の5つの小テーマで展示を構成した。

この中で「城山公園の花ごよみ」、「草と木の調査 活動の一覧」、「城山公園主要ポイント樹木分布図」は実際の調査活動の結果をまとめたものであり、「城山公園 四季の花」、「植物画と植物標本」については、ワークショップの参加者の方が主体となり、まとめていただいたものである。個々の小テーマについて概要を紹介すると「城山公園の花ごよみ」では、4年半の調査期間(平成13年4月から平成17年9月まで)に約500種類の植物が確認されおり、このうち園内でよく目にする草本170種類、木本99種類の開花時期を表にまとめ紹介した。「草と木の調査 活動の一覧」では上記の調査期間に合計88回の調査活動を行っており、各回の活動内容や参加人数などをまとめ紹介した。「城山公園主要ポイント樹木分布図」では城山公園の地図に主要となる樹木の位置を地図上におとし、園内の樹木の観察ポイントを紹介した。「城山公園 四季の花」と「植物画と植物標本」は先にも記したとおりワークショップ参加者の方が主体となって進めていただいたもので、「城山公園 四季の植物」ではワークショップ参加者であり、企画展関連行事の講師をしていただいた石井竹夫氏に開花時の写真と解説文を提供していただいた。「植物画と植物標本」では、本ワークショップにボタニカル・アートのサークルで活動をされている方が数名いられ、その方々と同サークル活動をされている方から植物画をお借りした。同一の種類植物の植物画と植物標本を並べて展示し、比較観察することで細部の観察を促すことを目的とした。本展では、他に企画展示室の各所に生花を配置するなど演出に工夫したが、その結果、活動の状況や結果だけを紹介する内容に止まらず、「城山公園の植物」をテーマに幅広く形態の異なる資料を集め、変化に富んだ展示構成できたと考える。

(担当)北水



江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展Ⅱ

「酒一宴の道具」

期 間／平成18年2月5日(日)～5月7日(日)

開場日数／76日間

会 場／企画展示室

出品点数／約200点

料 金／無料

入場者数／10,212人

(趣旨) 博物館をめぐる情勢は大きく変わりつつあり、博物館みずからも認識を新たにしながら今後の活動を試行錯誤しているなかで博物館同士のネットワークはたいへん重要となっている。江戸民街道と当館とは設置の経緯から運営方法まで大きく異なるが、博物館の目的や理念は膝を交えて議論をつくすことで、相互に理解し連携を深めることが十分に可能であると考え、2回目となる共催展を開催する。テーマは、私たちの暮らしのなかに深く息づいている酒をとりあげる。

(内容) 人々は太古の昔から季節や作業の節目に神を祭り、神に加護を求めてきた。神前には必ず酒が供えられ、やがて「お神酒」は皆に振る舞われ、清新な力と喜びを分かちあった。また、私たちが生まれて死ぬまでに経験する儀礼にも、必ず酒がかかわっている。年祝い、婚礼、葬送にいたるまで、祝儀や不祝儀の区別なく、さまざまな場に酒が登場する。人々の喜びのときも悲しみのときも、酒はいつでも大きな役割を果たしている。このように人と酒が築きあげてきた関係は、一方でさまざまな道具と文化を育んできた。本展示では、人と酒のかかわりについて、道具〈酒器〉を媒介として探ろうと考え、いくつかのキーワードを用意した。

醸す／貯える／供える／注ぐ／祈る／弔う／慶ぶ／振る舞う／もてなす／酌み交わす

祓う／浄める／楽しむ／祝う／飲む／酔う／運ぶ

限られた展示スペースでは、起承転結のテーマ構成を完結することはむずかしい。そこで、キーワードを提示することで、見学者が既成観念にしばられず、酒器の持つ意味や機能、素材、形態、意匠、美しさなどについて、広くて自由な視野・視点をもって見ていただけるのではないかと考えたのである。なお、展示資料は、共催館である江戸民具街道の所蔵する酒器コレクションを中心に紹介した。しかし、コレクションそのものは全国各地で収集した資料であるため、地域博物館における企画として、どのように整合性をとるのかということが大きな課題であった。すなわち、1回目の共催展(「灯」展)においても指摘のあった地域的情報の欠如を、どのように補うのかということである。そこで今回は、大磯町と大磯(大磯丘陵)周辺地域の民俗事例を集め、「大磯周辺の酒にまつわる話」と題し、コラム仕立てで地域情報として紹介した。コラムのタイトルは次のとおりである。

白岩神社の冷酒式／結納樽の酒を酌み交わし…／酒は四斗樽で計り売り／漁夫ノ酒宴

きれえごんごう(嫌え五合)／酒屋の店先でチョット一杯／船の初出は盛大に…

もち米を炊いて、麴を入れて／酒1升をもって仲間入り／道具や材料にもお神酒

一杯飲んだ帰り道、キツネに…／サタアルキには、酒を振る舞い…／地祭りの祭壇に…

カヤで酒を飲んだセエデエさん／タイヤクさんには酒1升、豆腐、握り飯…

イナカゼック(お花見)にも甘酒を…／女の子の初節句には甘酒で…

三三九度の盃は、男の子と女の子にオチョウ・メチョウをたのんで…

限られたスペースのなかで意をつくすことはむずかしく情報量も十分とはいえないが、展示資料数はできるだけ多くしつつ、素材によって大別するなど、できるだけ見やすく、わかりやすい展示を心がけた。



<展示資料一覧>

No.	資料名	数量	所蔵者	備考
1	角樽	1	江戸民具街道	(大)
2	角樽	1	江戸民具街道	家紋入り
3	角樽	1	江戸民具街道	家紋入り
4	角樽	2 (一対)	江戸民具街道	婚礼用、白木
5	角樽	2 (一対)	江戸民具街道	婚礼用、箱入り
6	角樽	2 (一対)	江戸民具街道	婚礼用、箱入り
7	角樽	1	江戸民具街道	(小)
8	角樽	1	江戸民具街道	(沖縄)
9	鏡樽	1	江戸民具街道	上棟式用
10	指樽	1	江戸民具街道	家紋入り
11	指樽	1	江戸民具街道	
12	酒筒	1	江戸民具街道	(背負い形)
13	酒筒	1	江戸民具街道	自家用
14	酒筒	1	江戸民具街道	象牙の注口付き
15	酒筒	1	江戸民具街道	刀拵形酒筒、台付き
16	通い樽	1	江戸民具街道	
17	酒樽	2	江戸民具街道	竹製、大小2種
18	花見樽	2	江戸民具街道	貸し樽、(京都)
19	花見樽	1	江戸民具街道	貸し樽、(京都)
20	花見樽	1	江戸民具街道	
21	花見樽	1	江戸民具街道	
22	花見樽	1	江戸民具街道	竹製
23	花見樽	1	江戸民具街道	(角形)
24	花見道具	1 組	江戸民具街道	(手提げ形)
25	花見道具	2 (一荷)	江戸民具街道	(担ぎ形)
26	花見道具	1 組	江戸民具街道	(担ぎ形)
27	花見道具	1 組	江戸民具街道	(箱形)
28	爛鍋	1	江戸民具街道	錫製、脚付き
29	爛鍋	1	江戸民具街道	銅製 (大)
30	爛鍋	1	江戸民具街道	銅製 (小)
31	爛道具	2	江戸民具街道	把手付き、(長方形)
32	爛道具	1	江戸民具街道	把手付き、(丸形)
33	爛道具	2	江戸民具街道	把手付き、(急須形)
34	爛道具	1	江戸民具街道	鉄製 (丸形)
35	爛道具	1	江戸民具街道	鉄製 (角形)
36	爛道具	3 組	江戸民具街道	
37	爛道具	1	江戸民具街道	明治期、(酒壺・丸形)
38	爛道具	1	江戸民具街道	明治期、(酒壺・角形)
39	銚釐	2 (一対)	江戸民具街道	
40	酒上げ	4	江戸民具街道	大小4種
41	片口	3	江戸民具街道	大小3種
42	両口銚子、銚子	3 (一組)	江戸民具街道	
43	両口銚子	1	江戸民具街道	木製
44	くりぬき銚子	2 (一対)	江戸民具街道	木製
45	銚子	1	江戸民具街道	鉄製
46	銚子	2	江戸民具街道	2種、陶器製
47	銚子	2 (一対)	江戸民具街道	木製、脚付き

48	盃洗	1	江戸民具街道	木製、脚付き
49	盃洗	1	江戸民具街道	陶器製、高台付き
50	盃洗	2	江戸民具街道	木製、受皿付き
51	銚子	2 (一対)	江戸民具街道	箱入り、文政12年墨書
52	盃台と盃	2 (一対)	江戸民具街道	盃はいずれも二つ重ね
53	盃台と盃	2 (一対)	江戸民具街道	盃はいずれも一枚
54	花月台と盃	1 組	江戸民具街道	盃は三つ重ね
55	花月台	1	江戸民具街道	
56	馬上盃	1	江戸民具街道	(柄杓形)
57	馬上盃	2	江戸民具街道	高台付き
58	猪口	2	江戸民具街道	大正期
59	酒壺	1	江戸民具街道	(大)
60	酒壺	1	江戸民具街道	
61	酒壺	1	江戸民具街道	輸出用
62	酒壺、徳利	2 (一組)	江戸民具街道	
63	大徳利	1	江戸民具街道	
64	徳利	2	江戸民具街道	2 種 (大)
65	徳利	2	江戸民具街道	2 種、大正期
66	徳利	1	江戸民具街道	輸出用
67	徳利	1	江戸民具街道	南蛮船文徳利
68	徳利	4	江戸民具街道	4 種 (瓢形)
69	徳利	5	江戸民具街道	5 種
70	徳利	1	江戸民具街道	口縁部焼接ぎ
71	徳利	1	江戸民具街道	布袋文徳利
72	神酒徳利	2	江戸民具街道	
73	徳利	1	江戸民具街道	(異形)
74	船徳利	1	江戸民具街道	
75	らっきょう徳利	1	江戸民具街道	
76	いも徳利	1	江戸民具街道	
77	雲助徳利	1	江戸民具街道	
78	徳利	2	江戸民具街道	注口付き (大)
79	徳利	1	江戸民具街道	注口付き (小)
80	看板	1	江戸民具街道	木製
81	引札	2	江戸民具街道	2 種
82	錦絵	1	江戸民具街道	歌川豊国(三櫓上棟ノ式)
83	錦絵	1	江戸民具街道	歌川豊国(江戸の花名勝會)
84	錦絵	1	江戸民具街道	豊原国周 (役者絵)
85	錦絵	1	江戸民具街道	昇斎一景 (酒の教訓)
86	はと徳利	4	江戸民具街道	
87	爛道具	1	江戸民具街道	
88	瓶子	2 (一対)	江戸民具街道	
89	角樽	1	江戸民具街道	
90	花見樽	2	江戸民具街道	
86	通い徳利	15	当館	陶器製
87	酒樽	5	当館	陶器製
88	雛人形	3	当館	三人官女
89	雛道具 (花見道具)	2	当館	
90	雛道具 (盃台と盃)	2 組	当館	
91	雛道具 (盃)	2 (一対)	当館	

92	雛道具 (徳利)	2 (一対)	当館	甘酒用
93	雛道具 (徳利)	2 (一対)	当館	甘酒用
94	おちょう・めちょう	2 (一対)	当館	稲荷講用
95	盃台と盃	2 (一対)	当館	稲荷講用、三つ重ね
96	盃	3	当館	米寿祝い、三つ重ね
97	盃	3	当館	大磯小学校 80 周年記念、箱入り、昭和 28 年
98	盃	7	当館	7 種、除隊記念
99	盃台と盃	1 組	当館	除隊記念、三つ重ね
100	オカマサン	1	当館	自在鉤
101	半纏	2	当館	2 種、酒屋の半纏

*パネル類を除く

なお、期間中に展示室にアンケート用紙を設置した。アンケートは最終的に 129 枚回収することができた。アンケートには、今回の企画展の意見や感想を書いていただく欄を設けている。

<来館者の住所 (人) >

- ・大磯町内(28) ・平塚市(18) ・小田原市(15) ・茅ヶ崎市(11) ・横浜市(9)
- ・二宮町(7) ・藤沢市(7) ・伊勢原市(3) ・秦野市(3) ・厚木市(2)
- ・川崎市(2) ・大和市(2) ・綾瀬市(2) ・横須賀市(1) ・相模原市(1)
- ・海老名市(1) ・大井町(1) ・中井町(1) ・開成町(1) ・箱根町(1)
- ・東京都(4) ・埼玉県(2) ・静岡県(1) ・千葉県(1) ・不明(5)

<来館回数 (回) >

- ・初めて(62) ・2 回(14) ・3 回以上(51) ・不明(2)

<年齢>

- ・1～9 歳(10) ・10～19 歳(14) ・20～29 歳(2) ・30～39 歳(6) ・40～49 歳(7)
- ・50～59 歳(17) ・60～69 歳(37) ・70～79 歳(12) ・80～89 歳(1) ・不明(23)

<感想・意見 (原文のまま) > ○=好意的意見 ▲=批判的意見 ◇=要望的意見

- 「お酒のとっくりなどは、よく知らなかったが、ここまでおくが深く、種類があり、しかも何のために使われていたなどが書かれていたので、よくわかるなあと思いました。」
(2/7、大磯町、男性 12 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「20 才になればもうちょっと楽しめたのに…残念です。こんどは子供向けのものが希望です。きれいだったのは「ひなどうぐにみる酒器」です。」(2/7、大磯町、男性 12 歳、来館 3 回以上)
- 「生活の中の酒にかかわる事でも、こんなに多様な道具を作り、人生の一日を意味あるものに行っているとは、生活文化のすばらしさをあらためて思いました。」
(2/9、大磯町、女性 60 歳代、来館 3 回以上)
- 「初めて訪れてこんな近い所ですてきな場所があるなんて知る事が出来、ゆっくり拝見させていただきます。いろいろな展示品で昔なつかしく思い出されました。」
(2/10、大井町、女性 59 歳、来館初)
- 「初めて参りました。静かな城山公園内、思い掛けなく沢山の資料拝見させて頂き感動しました。吉田邸も見学出来ましたが、それ以上大磯のすばらしさ深さを知ることが出来ました。色々の酒道具等初めて拝するものあり、知識がふえました。床もやわらかいセイケツ ステキでした。」
(2/10、藤沢市、女性 68 歳、来館初)
- 「毎回のようには拝見していますが、がんばられたと思います。昔の酒器の数々が拝見できておもしろかったです。これからも郷土資料館の名称にこだわらず良いものを見せていただきたいと存じます。」
(2/12、大磯町、女性 60 歳、来館 3 回以上)
- 「お酒にまつわる文化に触れ 皆で集まって大切にその「時」や「事柄」を祝ったり想ったりしたいと思いました。コンビニで買ってTV相手に1人で飲んでる人が多い世の中、もったいないですね。」
(2/12、大磯町、女性 36 歳、来館 3 回以上)

- 「おもしろいかたちのものがたくさんあっておもしろかったです。大きいものをもったらおもしろかったです。たのしかったです。」 (2/12、大磯町、女性 6 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「なかなか見ごたえのある展示でした。「共催展の開催にあたって」をはじめ、解説の文章もいい文章です。「共催展…」の中に江戸民具街道の所在地くらいは入れておいた方がよい。「教訓…」の絵は現代口語訳がほしい。」 (2/14、小田原市、男性 64 歳、来館 2 回)
- 「夫が酒が大好きです。おばが神ぐら坂の造り酒屋に嫁いだのでよく遊びにいきました。とつてもなつかしい道具に出合い心が安らかに、自然に笑みがこぼれました。酒にまつわる話もとつても楽しく読みました。私の家にも明治、大正のものも少しあります。大事に伝承します。」 (2/17、二宮町、男性 77 歳、女性 69 歳、来館 3 回以上)
- 「なにげなく県立の公園巡りをしているが 今回おもしろいはず すてきな資料館が有り整理も良く又来る事になる所です。今度は桜の季節に伺います。」 (2/18、川崎市、男性 57 歳、来館初)
- 「大昔の酒器、すばらしい物でした。こんなすばらしい物で ちょっと一杯なんて出来たらすばらしいですね。」 (2/18、大磯町、女性 34 歳、来館 3 回以上)
- 「朝日新聞で見ました。私も酒類販売業 (小売) です。勉強になりました！」 (2/22、茅ヶ崎市、男性 64 歳、来館初)
- 「大変、有意義にオモシロク カンランさせていただきました。ありがとうございました。熱海や湯河原に宿泊の都度、寄らせていただいております。」 (2/23、埼玉県、男性 66 歳、女性 63 歳、来館 3 回以上)
- 「とても興味深くて おもしろかったです。道具に実際にふれられるのもよかったです。」 (2/25、平塚市、女性 38 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「めずらしい品々を展示されていて、昔をなつかしみました… 茶道具の展示会を是非拝見したいです。」 (2/24、小田原市、女性 70 歳、来館初)
- 「とても素敵な企画展ですね。いろいろの酒器に感心致しました。お雛さまの官女のお銚子も両口のところが面白いですね。館蔵の盃とおみきどつくり結構なお品と拝見致しました。西小磯に時々参りますので又拝見に上りたく思っています。」 (3/2、東京都、女性 81 歳、来館 3 回以上)
- 「鳩徳利は西洋のリユート (?) と同じなので驚きました。何か共通の道具の形があるのでしょうか。いつもゆつくり見ることが出来るのでうれしいです。」 (3/4、藤沢市、女性 71 歳、来館 3 回以上)
- 「酒器の多様さと美しさに出会えました。古き良き時代、自宅で親せき一同が集い開かれた祝言は忘れられません。弟と一緒にオチョウ メチョウをした時の 小さい頃の緊張感のあった喜びの日を思い出しました。いつもすばらしい企画に感謝しています。」 (3/9、大磯町、女性 57 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「民具のおもしろさを改めて感じました。民俗学に少しだけ興味があるので、よく博物館に行きますが、これからも民衆の生活について興味ある展示をおねがいます。」 (3/10、小田原市、男性 53 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「始めて見ましたので 珍しく このような企画は大好きです。昔が偲ばれて、喜んでいきます。漁子街のことが出ていと比較ができて良かったと思います。」 (3/11、大磯町、男性 79 歳、来館 3 回以上)
- ▲ 「あまりおもしろくない。小・中・高と使っていた物を展示するのはいいと思った。お酒ではなく、お祭りな行事などについての企画展が良いと思う。」 (3/15、小田原市、女性 41 歳、来館初)
- ◇ 「とても楽しい思いで見学させていただきました。できれば中国、朝鮮との関係などもふれていただければよかったです。中国の紹興などにも紹興酒の酒器で似たようなものがあるのを見た事があります。」 (3/16、大磯町、男性 63 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「昨年の灯り展のやうに絵入り説明があるともっと楽しめると思います。来年は何を展示されるか楽しみに待っています。」 (3/23、小田原市、男性 72 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「酒器が好きで、楽しく拝見しました。パンフレット (図録) があつたら求めたかった。今後も、いろいろな企画をお願いします。」 (3/24、茅ヶ崎市、男性 65 歳、来館 2 回)

- 「ここは、いろいろな昔の物がいっぱいあり、せつめいがわかりやすく、とてもわかりやすいです。」
(3/28、伊勢原市、女性 9 歳、来館 2 回)
- 「すごく感心します。自分はこのような物を見ると心がなごみます。いろいろな形をしており、とても印象に残ります。特に印象に残ったのは、青くておおきく、下方に注ぎ口がある酒つぼです。これを見ると昔の人はかなりの酒好きだったんだと思います。酒はいろんな意味を持つてると思います。そこで一句！「酒ひとつ みんなの心 笑顔かな」です。」
(3/28、大磯町、男性 13 歳、来館 3 回以上)
- 「かよいどっくりとたるが大きくてすごくおもそうでした。角樽はすごくきれいだし大きいし、色もいいです。稲荷講のおちょうめちょうは、大磯町西小磯にかつて若い衆の稲荷講があつて、2 月 9 日から 12 日までさまざまな行事がありましたので、10 日の晩には、酒盛りを注いでいたことがわかりました。楽しかったです。」
(3/28、大磯町、男性 12 歳、来館 3 回以上)
- 「わたしは、昔の家や小道具があると こういうのがあるんだとか こんなことにつかてるんだということをしてると、なんかまんぞくします。わたしは、いろいろなものももっとみつかるといいなと思いました。」
(3/28、大磯町、女性 10 歳、来館 3 回以上)
- 「大きな徳利に驚きました。秋山ジョージ氏のはぐれ雲を思い出しました（マンガです）。資料館全体の落ち着いた雰囲気がすてきですね。」
(4/2、二宮町、女性 44 歳、来館初)
- ◇ 「楽しく見せてもらいました。和・洋人形展などしてもらえたら一番に来ます。」
(4/7、大磯町、女性 61 歳、来館 3 回以上)
- ▲ 「つまんなかったです。」
(4/8、東京都、男性 39 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「季節にあわせて ぬり絵をだしてほしい。」
(4/8、平塚市、女性 12 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「おもしろかった。このような企画展は小学校の総合学習にでもとりいれて、子どもたちに紹介してほしい。」
(4/22、大磯町、女性 不明、来館 3 回以上)
- 「江戸時代の庶民が、こんなに豊かな心を持っていたとは驚きです。秋澤氏の説明が とても解り易く、感動しました。又、是非、同様の企画を期待しています。」
(4/22、平塚市、男性 63 歳、来館 3 回以上)
- ◇ 「もう少し PR した方がよいのではないかと思います。入館料も少額でしたら徴収するようにしたら良いと思います。」
(4/22、藤沢市、不明 69 歳、来館 2 回)
- ◇ 「玄関に入って左にある素敵な部屋、まわりが竹林。テーブルとイスだけでしたが、あそこにグランドピアノを一台入れたら、コンサートや小さな発表会ができます（サロンコンサート会場が不足中）。貸し出せば、人も増えるし、もっと見て頂けます。少こし収入も入り、充分管理ができると思います。響きもよさそうだし、ピアノが一台あれば、もっと可能性が増します。」
(5/3、茅ヶ崎市、女性 49 歳、来館初)
- 「むかしって すっごいですね。大きいとつくりがビックリしました。」
(5/4、平塚市、男性 8 歳、来館初)
- 「民具展、趣味なので興味深く拝見しました。たまたま大磯散さくの途時、立ち寄ったのですが、見ごたえあり、結構でした。」
(5/4、千葉県、男性 55 歳、来館初)
- ◇ 「初めてお邪魔しました。GW でどこも混んでいて、ここにたどりつきました。子供も少しは気晴らし出来たと思います。静かでのんびりしました。また来年のGW も何か企画して下さい。」
(5/5、静岡県、女性 40 歳、来館初)
- ▲ 「企画より車イスで入るトイレにカギを付けて下さい。ドアは半開きになるし、二度と来れません。」
(5/6、東京都、男性 69 歳、来館 2 回)
- ◇ 「もう少し宣伝されると皆が知る事が出来 見学に来れるのにとと思いますが。」
(5/7、大磯町、男性 不明、来館初)

(担当) 佐川

特別公開「吉田茂の遺品」

期 間／平成18年2月10日(金)～2月28日(火)

開場日数／16日間

会 場／常設展示室

出品点数／12点

料 金／無料

入場者数／2,940人

(趣旨) 2月10日～12日の3日間にわたって旧吉田茂邸の見学会が開催されることになり、関連事業として急遽企画されたものである。当館が所蔵もしくは保管している同氏にかかわる資料を選抜し、特別に公開した。

(内容) 既に企画展が並行して開催されているため、企画展示室を使用できず、常設展示室の一コーナーを使用した。開会日は見学会開催日に合わせたものであるが、常設展示物を撤去する必要があったことから、前日の閉館後の撤去・列品作業となった。また、閉会後の常設展示物の復元に館内整理日をあてたため、会期は月末までとした。展示は、基本的には過去に公開はしたことはあるものの、通常は公開していない資料で、当館が所蔵・保管しているものによって構成した。なお、常設展示室「海水浴場と別荘」の展示コーナーに展示したが、10点余りを展示するだけでスペースはほぼ限界であった。ただし、観覧者の声として、展示資料が少なすぎるとの感想が上がった。展示資料の一覧は次のとおりである。

<展示資料一覧>

No.	資料名	数量	寄贈者・寄託者(敬称略)	備考
1	扁額	1	麻生和子	吉田茂書「五賢堂」
2	葉巻入れ	1	麻生和子	
3	灰皿	1	麻生和子	
4	マッチ	1	麻生和子	
5	花瓶	1	麻生和子	
6	胸像(石膏像)	1	福井弘子	
7	本箱	1	西海 誠	耕余塾で使用
8	吉田茂杯	2	大磯町立大磯中学校	
9	吉田茂創作こけし	1	大磯町立大磯図書館	
10	子ども会の旗	1	西小磯西子ども会	吉田茂書
11	掛軸	1	西小磯地区	吉田茂書

*パネル類を除く

(担当) 佐川

■学級・講座

<草と木の調査>

①調査活動

日 時／平成17年4月23日(土)、5月14日(土)・28日(土)、6月11日(土)・25日(土)、
7月9日(土)・23日(土)、8月6日(土)・27日(土)、9月24日(土)、
平成18年1月28日(土)、2月25日(土)、3月11日(土)・25日(土)

※ 時間は以下の表に記載。

場 所／当館研修室、町内

参加者／延167人

(内容) 平成13年度より第2次調査として県立大磯城山公園の植物を対象に調査を進めている。第2次調査5年目にあたる本年度は、園内の植物名ラベル設置作業を5回、花ごよみ調査を4回、樹木調査、標本作製、天然記念物の観察を各1回実施し、第3次調査(次年度以降、着手予定)の調査候補地の下見として旧野村研修所跡地(現:万台こゆるぎの森)の植物観察を2回実施した。

活動内容で前年度から前進した点は、平成 16 年度より本ワークショップの目標の 1 つであった城山公園内での植物名ラベルの設置作業を実施したことである。本作業は、神奈川県公園協会と共催という形で行なった。県公園協会からは植物名ラベルを提供していただき、当方からは過去の調査データを提供した。設置作業は県公園協会職員とワークショップ参加者と共同で行ない、園内の植物名ラベルの未設置区域、設置個数の僅少区域を中心に設置作業を進めた。

月 日	内 容	月 日	内 容
4月23日 9:30~12:00	城山公園の花ごよみ調査	8月6日 9:30~11:00	城山公園の樹木調査
5月14日 9:30~12:00	新規参加者ガイダンス 城山公園の花ごよみ調査	8月27日 9:30~12:00	城山公園の植物名ラベル設置作業 (神奈川県公園協会と共催)
5月28日 9:30~12:00	旧野村研修所跡地の植物観察①	9月24日 9:30~12:00	城山公園の植物名ラベル設置作業 (神奈川県公園協会と共催)
6月11日 9:30~12:00	旧野村研修所跡地の植物観察②	1月28日 9:30~12:00	城山公園の植物名ラベル設置作業 (神奈川県公園協会と共催)
6月25日 9:30~12:00	城山公園の花ごよみ調査	2月25日 9:30~12:00	城山公園の植物名ラベル設置作業 (神奈川県公園協会と共催)
7月9日 9:30~12:00	城山公園内樹木の押し葉標本作製 (採集・同定)	3月11日 9:30~12:00	天然記念物(樹木)の観察
7月23日 9:30~12:00	城山公園の花ごよみ調査	3月25日 9:30~12:00	城山公園の植物名ラベル設置作業 (神奈川県公園協会と共催)

②企画展・関連行事の準備・片付け

日 時/平成 17 年 5 月 28 日 (土)、6 月 11 日 (土)・25 日 (土)、7 月 9 日 (土)・23 日 (土)、
8 月 6 日 (土)・27 日 (土)、9 月 24 日 (土)、10 月 8 日 (土)・12 日 (水)・13 日 (木)・
14 日 (金)・18 日 (火)・19 日 (水)・20 日 (木)・22 日 (土)・29 日 (土)、11 月 3 日 (木)、
12 月 9 日 (金)、1 月 18 日 (水)

※ 時間は以下の表に記載。

場 所/当館研修室・企画展示室、県立大磯城山公園

参 加 者/延 175 人

(内 容) 本年度 10 月から 1 月にかけて開催した企画展「県立大磯城山公園の植物」の準備・片付け、
企画展関連行事の準備をワークショップ“草と木の調査”参加者と共同で実施した。

企画展準備では 5 月から展示構想についてのミーティングを持ち、10 月に入ってから展示資料の作
製、企画展示室内での資料展示作業を行なった。作業がスムーズに行なえるようキャプション・写真パ
ネル作製の実習を 5 月・6 月に行なった。自然分野の展示をワークショップ参加者の方と共同で行うの
は初めてのことであり、意思の疎通が上手くいかない点はあったが、参加者の方の熱心な参画により無
事、企画展の開会に至った。



月 日	内 容	月 日	内 容
5月28日 13:00~15:00	展示構想打ち合わせ <実習>キャプションの作製の仕方	10月13日 9:00~15:00	植物標本作製、「植物画と植物標本」 コーナーの資料配置手直し
6月11日 13:00~15:00	展示構想打ち合わせ <実習>写真パネルの作製の仕方	10月14日 9:00~12:00	植物標本作製、樹木分布図作製
6月25日 13:00~15:00	展示構想打ち合わせ <見学>石井竹夫写真展の見学	10月18日 9:00~15:00	「活動の一覧」コーナーの資料展示、 展示資料リストの作成、写真パネル作製
7月9日 13:00~15:00	展示構想打ち合わせ 関連行事の打ち合わせ	10月19日 9:00~15:00	「活動の一覧」コーナーの資料展示、 室内ライト調整、キャプション作製、 一部片付け
7月23日 13:00~15:00	関連行事の打ち合わせ 花ごよみ調査の考察	10月20日 9:00~15:00	樹木分布図作成、キャプション作製、 植物標本手直し
8月6日 11:00~12:00	花ごよみ調査のデータ確認	10月22日 9:30~15:00	「植物画と植物標本」コーナーの資料展示、 「城山公園主要ポイント樹木分布図」コー ナーの資料展示、展示点検、片付け
8月27日 13:00~15:00	花ごよみ調査のデータ確認	10月29日 9:30~12:00	関連行事「城山公園の植物観察」下見
9月24日 13:00~15:00	チラシ原案確認 関連事業の打ち合わせ	11月3日 15:30~17:00	関連行事「木の実・落ち葉で遊ぼう」準備 (見本の作製)
10月8日 9:00~15:00	「城山公園 四季の花」コーナーの資料展示、 「植物画と植物標本」コーナーの資料展示、 樹木分布図の作製、植物標本作製、 キャプション作製	12月9日 9:30~12:00	「しめ縄で 創作正月飾りづくり」準備 (しめ縄の編み方の実習)
10月12日 13:00~16:00	樹木分布図の作製、押し葉ラミネート	1月18日 10:00~12:00	企画展展示資料の片付け

(担当) 北水

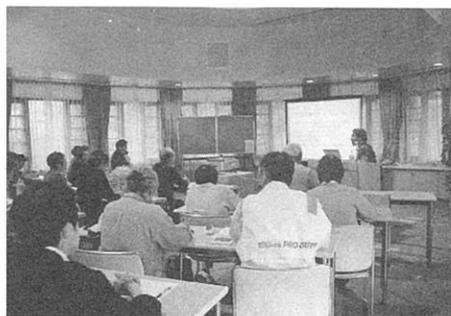
<企画展「県立大磯城山公園の植物」関連行事・ワークショップ「草と木の調査」立案行事>

企画展「県立大磯城山公園の植物」の会期中に観察会を8回、講演会を2回、実習作業を伴う内容の講座を2回実施した。いずれもワークショップ“草と木の調査”参加者が講師となり進めた。

①関連行事「城山公園で見られる薬用植物 —東洋医学との接点—」

日 時/平成17年11月3日(木) 13:30~15:00
会 場/当館研修室
講 師/石井竹夫氏(元獨協医科大学講師/薬剤師
有資格者/ワークショップ“草と木の調
査”参加者)

参加者/27人(町内15人・町外11人・不詳1人)
(内容) 東洋医学における薬用植物の位置づけ、
植物の活用術に関する総論に始まり、城山公園の植
生、園内で見られる薬用植物について具体的な活用
法を解説していただいた。



②関連行事「城山公園の植物観察」

日 時/平成17年11月6日(日)・13日(日)・20日(日)・27日(日)
いずれも時間は、10:00~11:30、13:00~14:30
会 場/当館研修室・企画展示室及び県立大磯城山公園
講 師/宮川紀子氏・外川敏子氏・越川幸子氏・大木幸子氏・川原一恵氏・平島靖士氏・中村明子氏・
中村ふぢ氏・真田弘氏・山本正代氏・村田愈子氏・松島まり子氏・村上敦子氏・
高木千代美氏・鹿野光子氏・加藤君代氏(ワークショップ“草と木の調査”参加者)
参加者/26人(町内2人・町外24人)

(内容) 企画展の展示解説後、ワークショップ“草と木の調査”参加者が講師となり、公園の植物観察会を行った。実施時期が晩秋ということもあり、開花している植物が少なかったため、木の実や特徴的な葉を中心に観察内容を構成した。

③関連行事「落ち葉・木の実で遊ぼう」

日時/平成17年11月23日(水) 10:00~15:00

会場/当館研修室

講師/宮川紀子氏・外川敏子氏・越川幸子氏・
川原一恵氏・平島靖士氏・鈴木昭夫氏・
松島まり子氏・加藤君代氏

(ワークショップ“草と木の調査”参加者)

参加者/56人(町内36人・町外18人・不詳2人)

(内容) 城山公園他で採集した落ち葉・木の実を使ってドングリコマ、ヤジロベエ、葉などを作製した。



④「しめ縄で創作 正月飾りづくり」

日時/平成17年12月18日(日) 9:30~12:00

会場/当館研修室

講師/村田愈子氏・外川敏子氏・川原一恵氏・
中村ふち氏・村上敦子氏

(ワークショップ“草と木の調査”参加者)

参加者/30人(町内19人・町外11人)

(内容) 正月飾りの作製。しめ縄を編み、身近にある落ち葉・木の実を飾りつけた。



⑤関連行事「『銀河鉄道の夜』沿線の植物達」

日時/平成18年1月15日(日) 13:30~15:00

会場/当館研修室

講師/石井竹夫氏(元獨協医科大学講師/薬剤師 有資格者/ワークショップ“草と木の調査”参加者)

参加者/15人(町内8人・町外7人)

(内容) ワークショップ“草と木の調査”では、参加者への活動内容の周知を目的に月1号ペースで「草と木の調査だより」を発行している。その中で参加者の方に投稿していただくスペースを設けているが、講師の石井氏は「草と木の調査だより 03-09 (2003年1月21日発行)」より毎回、宮沢賢治の作品に登場する植物を自分なりの考察を交え、紹介されている。このことはワークショップの話題づくりに、また視点を変えたアプローチにもなり、長期にわたる活動の一役を担っていたようにも思える。関連行事のテーマとしては、必ずしも直接、企画展に関係するものではないが、本ワークショップの活動の重要なテーマとして取り上げ、講演会を行なった。

内容としては、宮沢賢治の作品「銀河鉄道の夜」に登場する植物について、賢治の植物に対する知識、観察眼等を石井さんの考察を交えて解説していただいた。

(担当) 北水

<古文書裏打ちの会>

日時/平成17年4月16日(土)、5月21日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)、

8月20日(土)、9月17日(土)、10月15日(土)、12月17日(土)

平成18年1月21日(土)、2月18日(土)、3月18日(土)

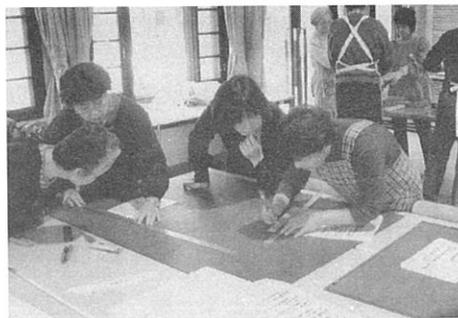
場所/当館研修室

講師/鶴飼レイ子氏、後藤ひろ子氏、中村ふち氏、吉原悦子氏

参加者/延132人

(内容) 裏打ちの技術を学びながら、郷土資料館で所蔵する古文書の裏打ちを行なうワークショップである。本講座は、平成11年度に設立し、平成16年度まで活動を継続してきた「民俗に親しむ会」の参加者の発案によって進められたものであり、分野は異なるものの、博物館資料の整理という、ボランティア的な性格をもった活動として位置付けている。したがって、本講座も単年度の活動ではなく、継年的に参加していただくことを条件としている。技術指導については、平塚市博物館の「裏打ちの会」で長く活動されてきた4名の方にボランティア講師をお願いしている。なお、当初は講師や事務局を含む18名で会を発足したが、2名が退会されたために、新たに第2期会員として2名を町広報により募集した。8名の応募があり、厳正な抽選のもとで2名の新会員を迎えて活動を続けている。

(担当) 佐川



<海の教室>

日 時/①平成17年11月26日(土) ②平成18年3月5日(日)

場 所/大磯町内、郷土資料館研修室

参加者/延38人

(内容) 平成12年度から継続している講座で、地域博物館の可能性を求め、分野にこだわらずに生の地域資料を利用しながら新しい学問領域の提示を念頭におくことを目的としている。「海」をメインテーマに、長いスパンで継年的に取り組む。海を知るためには海ばかりをみていたのでは十分でないことを認識しながら、海という素材に対して可能な限りさまざまな視点からアプローチしようという試みである。本年度は漂着物を使ったキャンドルづくりを1回、ビーチコーミングを1回実施した。

- ① 漂着物を使ったキャンドルづくり (場所/郷土資料館研修室、参加者/21人)
講師/美甘麻里子氏
- ② ビーチコーミング (場所/大磯照ヶ崎海岸、参加者/17人)

キャンドルづくりは、貝、ビーチグラス、流木などの漂着物を使って、クリスマスキャンドルを作ろうというものである。平成15年度から継続して実施しているが、たいへん好評につき、引き続いて今年度も企画した。材料の準備や作業場所の制約から20名の申し込み制としたが、家族での参加申し込みの関係から最終的に21名の参加となった。例年のとおり好評で、開始即日に満員となっている。小学校3年生以下の子どもたちには保護者の同伴をお願いしたこともあり、親子の参加が目立ち、申し込み者全員の参加があった。



なお、海の教室を開催して6年目となった。ここ数年の傾向をみると、それぞれ設定したテーマに興味を抱いた参加者が単発的に参加しているという状況になっている。もちろん、そのこと自体は決して悪いことではないが、開催当初は「海という素材に対してさまざまな視点からアプローチする」ことを念頭に、同じ参加者が継続的に参加してほしい、あるいは参加できる環境を育てたいと考えていたこともあり、その点からすると今後の本講座のありかたを再考すべき時期にきているのではないかと感じている。

(担当) 佐川、北水

<「酒」展ギャラリートーク>

日 時／平成18年2月25日(土)、3月25日(土)、(4月22日(土))

場 所／企画展示室

講 師／江戸民具街道館長 秋澤達雄氏、当館学芸員 佐川和裕

(内 容) 江戸民具街道との共催展「酒一宴の道具一」の関連事業として、江戸民具街道館長および当館学芸員によるギャラリートークを行なった。内容は展示資料の解説のほか、見るだけでは分からない工夫を備えた酒器については、実際に手に触れてもらったり、実演することで一層の理解を期待した。なお、定期的な時間を決めて実施するのではなく、展示室内の参観者の状況をみながら、必要に応じて随時行なった。解説・実演時間は15分程度で、1日平均10回、3日間でおよそ30回のギャラリートークを実施した。

(担 当) 佐川



■刊行物

<図録、冊子>

- ・『年報一平成16年度一』 A4版 40頁 500部 (平成17年12月刊)
- ・『Report一磯町郷土資料館だより』26 A4版 8頁 500部 (平成18年2月刊)
- ・資料館資料10『磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料一住一』 A4版 40頁 500部 (平成18年3月刊)

<チラシ、パンフレット>

- ・企画展チラシ『県立大磯城山公園の植物～ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を中心に～』 A4版 — 3,000部 (平成17年10月刊)
- ・共催展チラシ『酒一宴の道具一』 A4版 4頁 6,000部 (平成18年2月刊)

<その他>

- ・講座通信『草と木の調査』 A4版 2～10頁 コピー対応 (年間・随時)
- ・常設展リーフレット『照ヶ崎海岸物語 —生き物たちの不思議—』 B4版 4頁 2,000部 (平成17年9月刊)

■調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外(佐川、國見、北水)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館(瀬川)
- ・神奈川県博物館協会合同部会、編集委員会、研修会出席／年間／神奈川県立歴史博物館ほか(北水)
- ・神奈川県博物館協会50周年記念事業実行委員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館ほか(國見)
- ・駒澤大学博物館実習講義／年間／駒澤大学(國見)
- ・関東民具研究会出席・事例報告／4月3日、6月19日・26日／パルテノン多摩歴史ミュージアムほか(佐川)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」講義／4月27日、5月12日、6月7日、9月2日、10月5日、11月2日、12月2日、1月12日、2月7日、3月6日／教育研究所ほか(北水)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導／5月7日、6月5日／大磯町内(北水)
- ・相模民俗学会、同運営委員会出席／5月15日、7月24日、9月18日、11月20日、1月22日、3月19日／神奈川県立歴史博物館ほか(佐川)
- ・日本考古学協会第71回総会出席／5月21日・22日／国士舘大学(國見)

- ・大磯町立大磯幼稚園「照ヶ崎海岸散策」指導／6月21日／照ヶ崎海岸（北水）
- ・大磯町立大磯小学校3年総合学習「まちたんけん」指導／6月23日／大磯町内（佐川、北水）
- ・駒澤大学博物館学講座講義／6月26日／館内（國見）
- ・大磯町立国府小学校3年総合学習「郷土」講義／7月7日／国府小学校（佐川）
- ・平成17年度城山町立公民館事業「子ども海洋教室」指導／8月3日／館内および照ヶ崎（北水）
- ・二宮町立二宮中学校職場体験学習指導／8月10日／館内（國見）
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導／8月19日／高麗山（北水）
- ・大磯町企画室旧野村研修所跡地利用行事「旧野村研修所跡地の夏休み企画 植物観察会」指導／8月20日／旧野村研修所跡地内（北水）
- ・二宮町生涯学習ボランティア企画講座「このみやの環境を考える・ビーチコーミングを楽しもう」指導／8月27日／二宮町梅沢海岸ほか（佐川）
- ・東海大学博物館実習I講義／8月29日・30日、2月20日・21日・22日／東海大学（佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年総合学習「郷土の祭りについて」講義／9月21日／国府小学校（佐川）
- ・日本民俗学会第57回年会出席／10月8日・9日／東京大学（佐川）
- ・大磯町子育て介護課健康づくり班出前講座「高齢者の頭と心の体操」協力／10月19日／高麗区民会館（佐川、加藤）
- ・相模原市立博物館日曜講演会「襤褸が語る地域の文化～市民との共同作業から見てきたこと～」講演／10月23日／相模原市立博物館（佐川）
- ・大磯町立国府小学校4年社会科「昔の生活」指導／10月28日／国府小学校（佐川、加藤）
- ・平塚市立南原小学校クラブ活動「竹とんぼ作り」指導／10月31日／南原小学校（佐川）
- ・神奈川大学博物館実習I指導／12月4日／館内（佐川）
- ・大磯中学校1年総合的な学習講義／12月8日／大磯中学校（佐川）
- ・神奈川県公園協会「神奈川県立公園等対象の第1回ボランティア集い」事例発表／1月22日／県立相模原公園グリーンハウス（北水）
- ・第16回九州近世陶磁学会出席／2月18日・19日／佐賀県立九州陶磁文化館（國見）
- ・茅ヶ崎市文化資料館市外自然観察会「大磯町・高麗山を歩こう」指導／3月18日／高麗山（北水）

<施設・展示解説>

- ・大井町文化財保護委員会／4月27日／5人（佐川）
- ・平成17年度大磯町新採用職員研修会／4月19日／5人（佐川）
- ・大磯町町民福祉部／4月15日／3人（佐川）
- ・社会福祉法人よるべ会梅香園／4月28日／60人（國見）
- ・日経旅行ツアー／6月5日／30人（佐川）
- ・平成17年度大磯町新採用学校職員研修会／6月7日／3人（北水）
- ・まきば幼稚園／6月7日／38人（佐川）
- ・大磯町立国府小学校6年2組／6月16日／38人（國見）
- ・南足柄市郷土資料館／6月23日／2人（佐川）
- ・韓国SBS放送／7月7日／2人（佐川）
- ・日本下水道協会沖縄県支部／7月26日／10人（佐川）
- ・中津川市姉妹都市協会／7月30日／15人（佐川）
- ・小田原史談会／9月28日／20人（佐川）
- ・宮崎県串間市議会行政視察／10月6日／13人（佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年総合学習／10月12日・14日／67人（佐川）
- ・大磯町教育委員／10月16日／2人（佐川）
- ・大磯町立大磯小学校2年遠足／10月26日／150人（佐川）
- ・大磯町社会福祉協議会／10月27日／5人（佐川）
- ・まきば幼稚園／10月28日／30人（佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年調べ学習／11月18日／22人（佐川）
- ・関東学院大学大越ゼミ／12月17日／5人（佐川）

- ・平塚土木事務所／2月28日／3人（北水）
- ・佐倉日蘭協会／3月4日／49人（國見）
- ・適応指導教室／3月17日／4人（國見）
- ・愛川町教育委員会／3月24日／3人（佐川）
- ・郷土資料館運営委員他／3月26日／11人（國見）

<執筆>

佐川和裕

- 2005. 4. 「紀要・目録の刊行」『学芸員の仕事』神奈川県博物館協会編 岩田書院
- 12. 「大磯町郷土資料館所蔵の唐箕について」『年報—平成16年度—』大磯町郷土資料館
- 2006. 2. 「江戸民具街道／大磯町郷土資料館共催展Ⅱ『酒—宴の道具—』」『Report—大磯町郷土資料館だより』26 大磯町郷土資料館
- 3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料—住—』（共著）資料館資料10 大磯町郷土資料館
- 3. 「特別展「日本人形の姿と形—節句飾りを絵解きする—」の企画と展示（Ⅱ）」『東京家政学院生活文化博物館年報』第16号 東京家政学院生活文化博物館
- 3. 「世附の百万遍念仏」『神奈川県の民俗芸能』神奈川県民俗芸能緊急調査報告書 神奈川県教育委員会

國見 徹

- 2005. 7. 「大磯町域の横穴墓群」『古墳時代の大磯』文化財講座資料
- 2006. 3. 「鉄道が遺した器Ⅱ」『考古学の諸相』坂詰秀一先生古稀記念会

北水慶一

- 2005. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 10. 12/2006. 2. 3. 『草と木の調査だより』No. 05—01—12 大磯町郷土資料館
- 2006. 2. 「2005年 ウミガメ情報」『Report—大磯町郷土資料館だより』26 大磯町郷土資料館
- 2006. 2. 「企画展「城山公園の植物—ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を中心に—」展示概要」『Report—大磯町郷土資料館だより』26 大磯町郷土資料館

加藤廣美

- 2006. 3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料—住—』（共著）資料館資料10 大磯町郷土資料館

■博物館実習

博物館実習

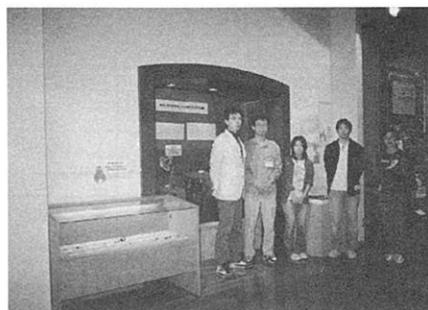
平成17年度は5大学より5名の学生を受け入れた。実習期間は9月1日から9月14日の間（9月4日・5日・11日・12日を除く）及び7月27日（事前ガイダンス）、9月30日（課題等提出）の計12日とした。実習は例年どおり期間の前後半で作業内容を変えて実施した。

実習の前半の5日間は民俗、考古、自然各分野の作業や梱包、軸物・箱物等資料の取り扱いなどの実務作業を行ない、後半の5日間は常設展示室の展示替え実習を行なった。展示替え実習は実習生が主体となり企画立案から展示完成に至るまでの作業を進めるもので、本年度は「照ヶ崎海岸物語—生き物たちの不思議—」のタイトルのもとに進めた。

大磯町照ヶ崎の岩礁は、アオバトの集団飛来地として県の天然記念物に指定されている。アオバトが集団で飛来し、岩礁上で海水を吸飲するという珍しい光景が見られるとともに、岩礁帯の少ない大磯町にとっては、岩礁性の生物を目にすることができる唯一の場所である。アオバトとともに照ヶ崎の岩場に生息する生物を取り上げ、紹介した。近年の展示



替実習では珍しく海岸に行き、資料を採集し、またジオラマを作製するという非常に手間のかかる作業内容であったが、実習生が皆、真摯に実習に臨み、無事、展示は完成した。特にジオラマの出来栄はすばらしく、来館者から好評を得ている。



<実習生>

高橋正寿 (専修大学)、松本千夕起 (中央大学)、
片倉沙佑子 (駒澤大学)、西森 輝 (東海大学)、
金子雅是 (神奈川大学)

<課程>

| 月 日 | 曜日 | 午 前 | 午 後 |
|-------|----|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 7月27日 | 水 | | ガイダンス・館内見学 |
| 9月 1日 | 木 | 講義(資料館の活動概要) | 町内施設・景勝見学
展示替実習(展示構想打ち合わせ) |
| 9月 2日 | 金 | 民具整理(民具・漁船クリーニング) | 民具整理(民具・漁船クリーニング)
／展示替実習(展示構想打ち合わせ) |
| 9月 3日 | 土 | 歴史資料整理(資料の写真撮影)
／自然史資料整理(調査記録の整理) | 歴史資料整理(資料の写真撮影)
／自然史資料整理(標本作製) |
| 9月 4日 | 日 | 休 | 講 |
| 9月 5日 | 月 | 休 | 講 |
| 9月 6日 | 火 | 軸物・箱物の取り扱い | 澤田美喜記念館の見学 |
| 9月 7日 | 水 | 資料梱包 | 資料梱包／映写機操作
／展示替実習(展示構想打ち合わせ) |
| 9月 8日 | 木 | 展示替実習(資料調査・資料採集) | |
| 9月 9日 | 金 | 展示替実習(旧展示片付け・資料調査・原稿作成・ジオラマ作製) | |
| 9月10日 | 土 | 展示替実習(資料調査・原稿作成・写真撮影・ジオラマ作製) | |
| 9月11日 | 日 | 休 | 講 |
| 9月12日 | 月 | 休 | 講 |
| 9月13日 | 火 | 展示替実習(資料採集・原稿作成・写真撮影・ジオラマ作成
・キャプション作製) | |
| 9月14日 | 水 | 展示替実習(原稿作成・ジオラマ作成・キャプション作製・パネル作製
・リーフレット編集・資料展示) | |
| 9月30日 | 金 | 展示替実習(ジオラマ作製・パネル作製・リーフレット編集・資料展示
・片付け・記録・展示点検・課題提出・総括) | |

(担当) 北水、國見、佐川

■博物館資料の収集と利用

〈寄贈資料〉

(敬称略)

| No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|-----------|------------|----------|----|-----------------|-----------|-------------|----------|----|-----------------|
| 2005-0401 | H17. 4. 1 | ボディボード | 2 | 飯田福信
大磯町大磯 | 0802 | H17. 8. 20 | 漁具 他 | 一括 | 西山敏夫
二宮町山西 |
| 0402 | H17. 4. 8 | ソロバン | 1 | 大石浩準
小田原市東町 | 0901 | H17. 9. 1 | 神輿(子ども用) | 1 | 石川和男
大磯町国府本郷 |
| 0403 | H17. 4. 24 | 五月人形 | 一括 | 福沢真五
大磯町大磯 | 0903 | H17. 9. 30 | 8ミリ撮影機 | 1 | 西山敏夫
二宮町山西 |
| 0501 | H17. 5. 7 | 縄文土器片 他 | 6 | 堀越洋子
埼玉県鳩山町 | 1001 | H17. 10. 5 | 桶職人道具 | 一括 | 山本武男
大磯町大磯 |
| 0502 | H17. 5. 17 | 大磯町水道一覧図 | 1 | 渡辺泰亮
大磯町大磯 | 1002 | H17. 10. 7 | 汽車土瓶 他 | 13 | 原 庸道
大磯町東町 |
| 0503 | H17. 5. 17 | 六所神社大祓形代 | 1組 | 加藤廣美
大磯町国府本郷 | 1101 | H17. 11. 11 | 衣服 他 | 一括 | 木村純子
大磯町大磯 |
| 0505 | H17. 5. 24 | レコード | 27 | 宮代伊佐雄
大磯町大磯 | 1202 | H17. 12. 22 | ロヅク 他 | 3 | 西山敏夫
二宮町山西 |
| 0602 | H17. 6. 7 | 地図、書籍 | 6 | 加藤廣美
大磯町国府本郷 | 2006-0101 | H18. 1. 5 | 耐火煉瓦 他 | 9 | 峯尾一郎
二宮町二宮 |
| 0603 | H17. 6. 12 | 古文書 他 | 一括 | 石塚アヤ子
二宮町二宮 | 0102 | H18. 1. 12 | 銃剣 他 | 2 | 波多野浩二
大磯町西小磯 |
| 0604 | H17. 6. 16 | マキハダ 他 | 一括 | 西山敏夫
二宮町山西 | 0104 | H18. 1. 28 | 馬の歯 他 | 1 | 安藤次郎
平塚市真土 |
| 0605 | H17. 6. 17 | 婚礼の着物 他 | 一括 | 安部川マリ
大磯町大磯 | 0201 | H18. 2. 1 | 婚礼の着物 他 | 一括 | 矢部良子
大磯町国府本郷 |
| 0606 | H17. 6. 23 | ヨキ | 1 | 西山敏夫
二宮町山西 | 0203 | H18. 2. 17 | 衣服 他 | 一括 | 矢部良子
大磯町国府本郷 |
| 0607 | H17. 6. 28 | レコード 他 | 66 | 加藤嘉義
大磯町大磯 | 0301 | H18. 3. 14 | 仕込杖 他 | 3 | 近藤昭二
大磯町国府新宿 |
| 0701 | H17. 7. 8 | 大釜 他 | 5 | 原田好夫
大磯町国府本郷 | 0302 | H18. 3. 2 | ログイ 他 | 5 | 西山敏夫
二宮町山西 |
| 0801 | H17. 8. 5 | 写真 他 | 一括 | 笠間康男
大磯町西小磯 | | | | | |

〈採集資料〉

| No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|-----------|-------------|-----------|----|-------------|-----------|-----------|-----|----|------------|
| 2005-0601 | H17. 6. 7 | 衣服 他 | 一括 | —
大磯町東小磯 | 2006-0202 | H18. 2. 1 | 神棚 | 一括 | —
大磯町大磯 |
| 1203 | H17. 12. 22 | カイマキブトン 他 | 5 | —
大磯町大磯 | | | | | |

〈移管資料〉

| No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|-----------|------------|---------|----|---------------|------|-------------|------|----|-------------------|
| 2005-0902 | H17. 9. 21 | 地質調査データ | 1 | 大磯町
まちづくり課 | 1204 | H17. 12. 28 | 絵はがき | 1組 | 大磯町立図書館
町史編さん班 |

〈作製資料〉

| No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|-----------|------------|------|----|------|
| 2005-0504 | H17. 5. 17 | 這子人形 | 1 | 当館作製 |

〈寄託資料〉

(敬称略、寄託期間：H16. 4. 1～H18. 3. 31)

| No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|-----------|-----------|-----------------|----|-----------------|------|-----------|--------|-----------|-----------------|
| 2004-0401 | H16. 4. 1 | 雛人形 | 一式 | 田川順三
横浜市緑区 | 0413 | H16. 4. 1 | 統監帽 他 | 一括 | 西小磯東区 |
| 0402 | H16. 4. 1 | 高札 | 3 | 坂井保治
大磯町黒岩 | 0414 | H16. 4. 1 | 獅子頭 | 2
(一対) | 裡道区 |
| 0403 | H16. 4. 1 | 一本松稲荷講中資料 | 一括 | 宮代治吉
大磯町大磯 | 0415 | H16. 4. 1 | 書籍 他 | 一括 | 飯島容子
横浜市中区 |
| 0404 | H16. 4. 1 | 菊池重三郎関係資料 | 一括 | 菊池なつみ
大磯町大磯 | 0416 | H16. 4. 1 | 吉田茂杯 他 | 5 | 大磯中学校 |
| 0405 | H16. 4. 1 | クロッカスガーデン
看板 | 1 | 添田光雄
大磯町国府本郷 | 0417 | H16. 4. 1 | 古文書 | 一括 | 近藤敬一郎
東京都新宿区 |
| 0406 | H16. 4. 1 | 書(断片) | 一括 | 加藤文八
平塚市諏訪町 | 0418 | H16. 4. 1 | 書幅 | 1 | 二宮勝男
平塚市下吉沢 |
| 0407 | H16. 4. 1 | 古文書 | 一括 | 後藤 勲
大磯町月京 | 0419 | H16. 4. 1 | 木造神像 | 11 | 高来神社 |
| 0408 | H16. 4. 1 | 書籍 | 2 | 山川 正
大磯町国府新宿 | 0420 | H16. 4. 1 | 木造仁王像 | 2
(一対) | 慶覚院 |
| 0409 | H16. 4. 1 | 七夕資料 他 | 一括 | 西小磯西子ども会 | 0421 | H16. 4. 1 | 随神 他 | 3 | 南本町区 |
| 0410 | H16. 4. 1 | 稲荷講資料 | 一括 | 中村晴夫
大磯町西小磯 | 0422 | H16. 4. 1 | 稲荷講 | 一括 | 戸塚 浩
大磯町西小磯 |
| 0411 | H16. 4. 1 | 古文書 他 | 9 | 守屋町子
大磯町黒岩 | 0423 | H16. 4. 1 | 古文書 | 一括 | 小見滋夫
大磯町西小磯 |
| 0412 | H16. 4. 1 | 掛軸 他 | 一括 | 西小磯西区 | | | | | |

〈購入資料〉

| No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月日 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|-----------|-------------|------|----|------------------|-----------|------------|-----|----|------------------|
| 2005-1201 | H17. 12. 20 | 絵はがき | 1組 | 泰川堂書店
東京都千代田区 | 2006-0103 | H18. 1. 12 | 書籍 | 1 | 古書街の風
東京都千代田区 |

〈資料の特別利用〉

(敬称略)

| 資料名 | 点数 | 利用目的 | 年月日 | 申請者 | 資料名 | 点数 | 利用目的 | 年月日 | 申請者 |
|-------------|----|--------------------|------------|-----------------|-------------|----|------------------|-------------|-----------------|
| 絵はがき | 1 | 再使用
／テレビ放映 | H17. 4. 14 | (株)ハウフルス | 城山荘模型 | 1 | 撮影
／研究資料 | H17. 8. 20 | 個人 |
| 館内諸設備 | — | 撮影
／研究資料 | H17. 5. 24 | 愛川町教育委員会 | 図録 | 1 | 撮影
／ホームページ作成 | H17. 8. 23 | 個人 |
| 瑠璃祥瑞葡萄文壺 | 1 | 再使用
／番組提供 | H17. 5. 25 | (財)NHKサービスセンター | 館内諸施設 | — | 撮影
／研究発表 | H17. 9. 1 | 個人 |
| 絵はがき | 4 | 撮影
／テレビ放映 | H17. 5. 28 | (有)植木商店 | 写真(祭礼) | 59 | 複写
／観光キャンペーン | H17. 9. 18 | 個人 |
| 館内展示 | 3 | 撮影
／講義使用 | H17. 6. 5 | 個人 | ビデオ(アカウミガメ) | 1 | 複写
／県ホームページ | H17. 9. 22 | (社)神奈川県ニュース映画協会 |
| ビデオ(アカウミガメ) | 2 | 複写
／テレビ放映 | H17. 6. 11 | (社)神奈川県ニュース映画協会 | 考古資料実測区 | 1 | 複写
／研究資料 | H17. 10. 15 | 個人 |
| 考古資料 | 14 | 撮影・複写
／研究発表 | H17. 6. 15 | 個人 | 館内展示 | — | 撮影
／参考資料 | H17. 10. 23 | 個人 |
| 館外観・内観 | 2 | 撮影
／刊行物掲載 | H17. 6. 17 | (株)学生援護会神奈川 | 地質調査データ | 3 | 撮影
／不動産鑑定 | H17. 10. 28 | 個人 |
| 絵はがき | 3 | 複写
／刊行物掲載 | H17. 7. 2 | (株)カラット | 館外観・内観 | 2 | 撮影
／刊行物掲載 | H17. 10. 31 | (株)K&Bパブリッシング |
| 絵はがき | 1 | 複写
／刊行物掲載 | H17. 7. 12 | (株)カラット | 館内展示 | — | 撮影
／参考資料 | H17. 11. 2 | 個人 |
| 館内展示 | — | 撮影
／テレビ放映 | H17. 7. 17 | (株)チャンネルプラス | 絵はがき | 2 | 撮影
／テレビ放映 | H17. 11. 16 | テレビ神奈川 |
| 考古資料 | 2 | 実測
／研究発表 | H17. 7. 18 | 個人 | 企画展示(書籍) | 5 | 模写
／資料集作成 | H17. 11. 17 | 個人 |
| 地質調査データ | 1 | 複写
／参考資料 | H17. 7. 20 | 東建コーポレーション(株) | 植物台帳 | 1 | 複写
／参考資料 | H17. 11. 24 | (財)神奈川県公園協会 |
| 写真(錦絵) | 1 | ホームページ転載
／テレビ放映 | H17. 7. 27 | (株)オフィス・トウ・ワン | 地質調査データ | 2 | 複写
／参考資料 | H17. 12. 7 | (株)モリモト |
| 瑠璃祥瑞葡萄文壺 | 1 | 撮影
／テレビ放映 | H17. 7. 29 | 日本テレビ放送網(株) | 写真 | 1 | 複写
／刊行物掲載 | H17. 12. 16 | 個人 |
| 図録 | 2 | 撮影
／テレビ放映 | H17. 8. 4 | 日本テレビ放送網(株) | 錦絵 | 1 | 絵はがき転載
／刊行物掲載 | H17. 12. 24 | 神奈川県小学校教育研究会 |
| 考古資料 | 一括 | 撮影
／研究発表 | H17. 8. 4 | 個人 | 地質調査データ | 1 | 模写
／参考資料 | H18. 1. 13 | 個人 |
| 館内展示 | — | 撮影
／参考資料 | H17. 8. 9 | 個人 | 館内展示 | — | 撮影
／個人的興味 | H18. 1. 15 | 個人 |
| 館内展示 | — | 撮影
／参考資料 | H17. 8. 9 | 個人 | 考古資料 | 一括 | 撮影
／研究発表 | H18. 1. 22 | 個人 |
| 館内展示 | — | 撮影
／参考資料 | H17. 8. 9 | 個人 | 古文書 | 1 | 撮影
／研究発表 | H18. 2. 8 | 個人 |
| 遺跡地図(ハル) | 1 | 撮影
／研究発表 | H17. 8. 9 | 個人 | 写真 | 1 | 再利用
／テレビ放映 | H18. 2. 10 | (株)ハウフルス |
| 企画展展示 | 1 | 撮影
／参考資料 | H17. 8. 10 | 個人 | 写真 | 1 | 再利用
／刊行物掲載 | H18. 2. 17 | (株)芸術出版社 |
| 館内展示 | — | 撮影
／研究資料 | H17. 8. 13 | 個人 | 考古資料 | 1 | 模写
／刊行物掲載 | H18. 3. 4 | 個人 |
| 古文書 | 一括 | 閲覧
／研究発表 | H17. 8. 18 | 個人 | | | | | |

〈資料の館外貸出〉

(敬称略)

| 資料名 | 点数 | 利用目的 | 期 間 | 申請者 | 資料名 | 点数 | 利用目的 | 期 間 | 申請者 |
|------------|-----|-------------|------------------------|----------------|-----------|-----|--------|-----------------------------|----------------------|
| 写真(アカミガメ) | 2 | 刊行物掲載 | H17. 4. 6
～ 4. 26 | exa-(エフ) | 写真(ポスター他) | 3 | 展示 | H17. 10. 12
～ 10. 31 | 大磯町
経済観光課 |
| 写真(絵はがき) | 2 | 議会だより
掲載 | H17. 4. 12
～ 5. 1 | 大磯町
議会事務局 | 写真(絵はがき) | 2 | 刊行物掲載 | H17. 10. 20
～ 10. 30 | 個人 |
| 考古資料 | 一括 | 町史編さん | H17. 5. 12
～ 5. 31 | 大磯町立図書館 | 地質標本 他 | 4 | 理科授業 | H17. 10. 20
～ 11. 7 | 個人 |
| 写真(錦絵 他) | 3 | 刊行物掲載 | H17. 5. 17
～ 5. 31 | (株)ウェッジ | 写真(彫刻) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 10. 25
～ 11. 13 | (有)少年社 |
| 写真(祭礼) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 5. 31
～ 6. 7 | 個人 | 考古資料 | 3 | 保存処理委託 | H17. 10. 25
～ H18. 3. 24 | (株)東都文化
財保存研究所 |
| 写真(錦絵 他) | 3 | 刊行物掲載 | H17. 6. 1
～ 6. 15 | (株)ウェッジ | 写真(彫刻) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 11. 14
～ 12. 3 | (有)少年社 |
| 考古資料 | 3 箱 | 町史編さん | H17. 6. 21
～ 7. 5 | 大磯町立図書館 | ビデオ(祭礼) | 1 | 文化祭放映 | H17. 11. 17
～ 12. 1 | 個人 |
| 写真(絵はがき) | 2 | 刊行物掲載 | H17. 6. 25
～ 7. 14 | (株)カラット | 写真(彫刻) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 12. 4
～ 12. 20 | (有)少年社 |
| 写真(歴史) | 1 | 議会だより
掲載 | H17. 7. 7
～ 7. 26 | 大磯町
議会事務局 | 図書 | 2 | 参考資料 | H17. 12. 4
～ 12. 22 | 個人 |
| 写真(歴史) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 7. 8
～ 7. 27 | (株)エクス
ナレッジ | 写真(講座) | 1 | 広報誌掲載 | H17. 12. 13
～ 12. 27 | 大磯町企画室 |
| 写真(祭礼) | 3 | パネル展示 | H17. 7. 12
～ 7. 20 | 個人 | 古書籍 | 1 | 調査 | H18. 1. 13
～ 2. 10 | 大磯町立図書館 |
| 写真(絵はがき) | 7 | Web#外放信 | H17. 7. 13
～ 8. 1 | (株)エム・アール・ワイ | ビデオ | 1 | 参考資料 | H18. 1. 19
～ 2. 7 | 安田不動産
(株)大磯寮 |
| 考古資料 | 7 箱 | 町史編さん | H17. 8. 23
～ 9. 6 | 大磯町立図書館 | 写真(歴史) | 2 | 町史掲載 | H18. 2. 1
～ 3. 1 | 大磯町立図書館 |
| 写真(彫刻) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 8. 26
～ 9. 14 | (有)少年社 | 写真(祭礼) | 2 | 刊行物掲載 | H18. 2. 24
～ 2. 28 | (株)湘南ホーム
ジャーナル |
| ビデオ(アカミガメ) | 2 | 道徳授業 | H17. 9. 3
～ 9. 22 | 個人 | 写真(展示) | 2 | 刊行物掲載 | H18. 3. 2
～ 3. 21 | (株)湘南リビング
ニュース新聞社 |
| 写真(彫刻) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 9. 15
～ 10. 4 | (有)少年社 | 図書 | 1 | 広報誌掲載 | H18. 3. 2
～ 3. 27 | 大磯町企画
室 |
| 民俗資料 | 38 | 展示 | H17. 9. 19
～ 9. 19 | 湘南二宮会 | 伊藤博文像 他 | 一括 | 祭礼 | H18. 3. 4
～ 3. 5 | 西小磯西区 |
| 写真(錦絵 他) | 4 | テレビ放映 | H17. 10. 2
～ 10. 16 | 大磯町
子育て介護課 | 考古資料 | 1 箱 | 町史編さん | H18. 3. 17
～ 3. 31 | 大磯町立図書館 |
| 写真(彫刻) | 1 | 刊行物掲載 | H17. 10. 5
～ 10. 24 | (有)少年社 | 考古資料 | 13 | 町史編さん | H18. 3. 30
～ 4. 7 | 大磯町立図書館 |

<寄贈図書一覧>

| 出版地 | 寄贈者 | 書名 | 発行年月 |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------|
| 大磯町 | 神奈川県立大磯高等学校
東海大学医学部付属大磯病院広報委員会 | 『2005年度 SPP DNAから見た 海と環境』 | 2006/03 |
| | | 『メール大磯 第63号』 | 2006 |
| 伊勢原市 | 伊勢原市教育委員会 | 『旧石器時代～古墳時代 いせはらのむかし』 | 2004/03 |
| 寒川町 | 寒川町企画部企画課 | 『寒川町史研究 第19号』 | 2006/03 |
| | | 『寒川町史資料所在目録 第16集』 | 2006/03 |
| 茅ヶ崎市 | 茅ヶ崎市文化資料館
茅ヶ崎市教育委員会 | 『茅ヶ崎 自然の新聞』第265～271号 | 2005-2006 |
| | | 『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告18 市内遺跡試掘・確認調査報告Ⅱ』 | 2004/03 |
| | | 『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告19 下寺尾西方B遺跡』 | 2004/03 |
| | | 『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告20 下寺尾七堂伽藍跡確認調査概報』 | 2004/03 |
| | | 『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告21 市内遺跡試掘・確認調査報告Ⅲ』 | 2005/03 |
| | | 『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告22 浜之郷本社A遺跡』 | 2005/03 |
| | | 『茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告23 円蔵 鶴ヶ町遺跡』 | 2005/03 |
| 二宮町 | 徳富蘇峰記念館 | 『徳富蘇峰記念館 目録』(22)、(23) | 2005-2006 |
| 秦野市 | 丹沢自然保護協会
秦野市教育委員会
秦野市立桜土手古墳展示館 | 『丹沢だより』No.418～428 | 2005-2006 |
| | | 『秦野市史研究 第24号』 | 2005/03 |
| | | 『秦野市立桜土手古墳展示館 研究紀要 第6号』 | 2005/03 |
| 平塚市 | 東海大学校地内遺跡調査団
東海大学課程資格教育センター
東海大学文学部
平塚市教育委員会

平塚市博物館

平塚市美術館
平塚市真田・北金目遺跡調査会 | 『東海大学校地内遺跡調査報告 13・14』 | 2006/03 |
| | | 『東海大学課程資格教育センター論集 第2号 2003』 | 2004/03 |
| | | 『キャンパスグラフィティ』No.122～126、128、131 | 2005 |
| | | 『旧横浜ゴム平塚製造所記念館活用方法の提案 ワークショップのまとめ』 | 2005/03 |
| | | 『平塚市埋蔵文化財シリーズ40 稲荷前B遺跡 ～第5地点～』 | 2005/03 |
| | | 『平成17年度 ふるさと歴史シンポジウム 江戸の娯楽と交流の道』 | 2006/03 |
| | | 『ふるさと歴史シンポジウム 江戸の娯楽と交流の道 ～厚木道・大山道・中原道～』図録 | 2005/11 |
| | | 『子ども向け展示ガイド はくぶつかん たんけん』 | 2005/03 |
| | | 『ガイドブック22 地学ハイクへの誘い』 | 2005/03 |
| | | 『平塚市博物館学資料 No.54 植物資料目録 ～果実と種子～』 | 2005/03 |
| | | 『平塚市博物館年報 第28号』 | 2004/10 |
| | | 『平塚市博物館研究報告 自然と文化 第28号』 | 2005/03 |
| | | 『相模川流域の自然と文化 もっと知りたい 私たちのまち 平塚市博物館展示解説』 | 2005/03 |
| | | 『相模川の生い立ちを探る会 150回記念特集号「大地の謎を探る」』 | 2005/03 |
| | | 『平塚市史8 資料論・現代』 | 2005/03 |
| | | 『-平塚市博物館30周年記念誌- わた博』 | 2006/02 |
| | | 『あなたと博物館』346号 | 2005 |
| | | 特別展『近世平塚への招待 ～館蔵資料でみる23題～』図録 | 2005/03 |
| | | 特別展『平塚のお祭り ～その伝統と創造～』図録 | 2005/07 |
| | | 特別展『掘り起こされた平塚Ⅲ 遺体が語る地域の歴史』 | 2004/09 |
| | | 特別展『大地をめぐる石の旅 ～海から山 そして海へ～』図録 | 2005/10 |
| | | 『芸術選奨文部科学大臣賞受賞記念展 中野嘉之』図録 | 2005/07 |
| | | 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書5 第1分冊』 | 2006/01 |
| 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書5 第2分冊』 | 2006/01 | | |
| 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書5 第3分冊』 | 2006/01 | | |
| 藤沢市 | 湘南考古学研究所
新江ノ島水族館
藤沢市教育委員会

藤沢市文書館 | 『羽島汲田遺跡発掘調査報告書 (藤沢市No.461遺跡)』 | 2006/01 |
| | | 『新江ノ島すいぞくかん年報2004 えのすいのあしあと』 | 2005 |
| | | 『藤沢市文化財調査報告書 第40集』 | 2005/03 |
| | | 『湘南の誕生』 | 2005/03 |
| | | 『藤沢市文化財調査報告書 第40集』 | 2005/03 |
| | | 『藤沢市文書館紀要 第二十七号』 | 2005/03 |
| | | 『藤沢市史料集(二十九) 相模国鎌倉部小塚村「御用留」(7)』 | 2005/03 |
| | | 『藤沢市史研究 第38集』 | 2005/03 |
| 『ニュースは語る 二〇世紀の藤沢1901～1955 (続) 藤沢市史 別編2』 | 2005/03 | | |
| 小田原市 | 小田原近世史研究会
小田原城天守閣
神奈川県立 生命の星・地球博物館 | 『交流の社会史 ～道・川と地域社会～』 | 2005/05 |
| | | 特別展『小田原藩の組織 ～町や村の文書から探る～』図録 | 2005/10 |
| | | 『神奈川自然誌資料 第26号』 | 2005/03 |
| | | 『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学 34号』 | 2005/03 |
| | | 『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学 35号』 | 2006/03 |
| | | 『神奈川県立生命の星・地球博物館 年報 第10号(2004年度)』 | 2005/12 |
| | | 『自然科学のとびら』41～44号 | 2005-2006 |
| 特別展『化石どうぶつ園 ～北アメリカ斬新世の哺乳類～』図録 | 2005/07 | | |
| 真鶴町 | 中川一政美術館 | 『武術館だより』第13、14号 | 2005 |
| 開成町 | 開成町教育委員会
神奈川県足柄上地域県内総合センター | 『ふるさとの葉 ～開成町の歴史遺蹟～』 | 2005/10 |
| | | 『～ふるさと再発見～ あしがらの郷土芸能』 | 2006/02 |

| | | | |
|------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------|-----------|
| 山北町 | 山北町教育委員会 | 『神奈川県指定無形民俗文化財 室生神社の流鏝馬 附鞍三背』 | 2004/03 |
| | | 『足柄乃文化 第32号』 | 2005/03 |
| 津久井町 | 津久井町教育委員会 | 『津久井城の調査2 2002-2004』 | 2005/12 |
| 横浜市 | 馬の博物館 | 『源平合戦を馬が行く』図録 | 2005/01 |
| | | 特別展『はにわうま』図録 | 2005/04 |
| | 神奈川県近代文学館 | 『神奈川県近代文学館 年報 2004年(平成16年)度』 | 2005/07 |
| | | 『神奈川県近代文学館』第88～91号 | 2005-2006 |
| | 神奈川県教育委員会 | 『神奈川県埋蔵文化財調査報告 47 平成15年度 神奈川県埋蔵文化財発掘調査一覧』 | 2005/03 |
| | | 『社会教育資料2005 中地区の社会教育』 | 200/08 |
| | | 『第47回 関東ブロック民俗芸能大会報告書』 | 2005 |
| | (財)神奈川県市町村振興協会 | 『自治展望 第50号』 | 2005 |
| | 神奈川県町村会 | 『かながわの町村会報 第116号』 | 2005/10 |
| | 神奈川県博物館協会 | 『神奈川県博物館協会会報 第72号』 | 2001/03 |
| | | 『神奈川県博物館協会会報 第76号』 | 2005/03 |
| | | 『学芸員の仕事』 | 2005/04 |
| | | 『平成17年度 神奈川県博物館協会加盟館園職員名簿』 | 2005/09 |
| | | 『平成17年度 東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会東海支部 理事会・総会報告書』 | 2005/07 |
| | | 『平成17年度 神奈川県博物館協会 第2回役員会資料』 | 2005/11 |
| | | 『かながわのミュージアム 2006』 | 2006/01 |
| | | 『NETWORK 第26号』 | 2005/09 |
| | 神奈川県民俗芸能保存協会 | 『かながわの民俗芸能 第69号』 | 2005 |
| | 神奈川県立公文書館 | 『神奈川県古文書資料所在目録 第25集』 | 2005/07 |
| | | 『平成16年度 神奈川県立公文書館 年報』 | 2005/06 |
| | | 『公文書館だより』第13、14号 | 2005 |
| | 神奈川県立地球市民かながわプラザ | 『Hello Friends No.245』 | 2005/07 |
| | 神奈川県立図書館 | 『郷土神奈川 第44号』 | 2006/02 |
| | 神奈川県立歴史博物館 | 『神奈川県立博物館研究報告 ～人文科学～ 第31号』 | 2005/03 |
| | | 『神奈川県立歴史博物館総合研究報告 総合研究 開国と異文化の交流』 | 2005/03 |
| | | 『神奈川県立歴史博物館 年報 平成16年度』 | 2005/11 |
| | | 『神奈川県立歴史博物館だより』168、170号 | 2005 |
| | | 特別展『かながわの三匹獅子舞 獅子頭の世界』図録 | 2005/01 |
| | | 特別展『聖地への憧れ ～中世東国の熊野信仰～』図録 | 2005/10 |
| | | 特別展『幕末・明治 かながわの名所探訪』図録 | 2005/07 |
| | | 特別展『神々と出逢う ～神奈川の神道美術～』図録 | 2006/02 |
| | (財)かながわ考古学財団 | 『かながわ考古学財団調査報告166 津久井城根小屋地区遺跡群』 | 2004/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告189 鎌倉城(浄明寺五丁目地内)』 | 2005/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告190 鶴巻南遺跡群』 | 2005/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告191 田名堀ノ内遺跡』 | 2005/12 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告192 明神台遺跡・明神台北遺跡』 | 2006/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告193 平六ヶ入りやぐら群Ⅱ』 | 2005/12 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告194 真言院北やぐら群Ⅱ』 | 2006/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告195 大久保C遺跡/大久保D遺跡』 | 2006/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告196 会下山西やぐら群』 | 2006/03 |
| | | 『かながわ考古学財団調査報告197 釜利谷赤坂やぐら群』 | 2006/03 |
| | | 『年報12 平成16年度』 | 2006/03 |
| | | 『研究紀要11 かながわの考古学』 | 2006/03 |
| | 寺家ふるさと村「四季の家」 | 『はなあふ通信』2005年5、8、11月号 2006年2月号 | 2005-2006 |
| | 玉川文化財研究所 | 『神奈川県茅ヶ崎市 香川・下寺尾遺跡群 発掘調査報告書』 | 2005/01 |
| | | 『神奈川県川崎市高津区 末長遺跡 第2地点 発掘調査報告書』 | 2005/02 |
| | | 『神奈川県横須賀市 打木原遺跡、長井高原遺跡』 | 2005/03 |
| | 『神奈川県藤沢市 稲荷台地遺跡群 発掘調査報告書』 | 2005/03 | |
| | 『神奈川県伊勢原市 石田・峯遺跡 第Ⅱ・Ⅲ地点 発掘調査報告書』 | 2005/03 | |
| | 『神奈川県横浜市 青葉区No.49遺跡 発掘調査報告書』 | 2004/03 | |
| | 『神奈川県横浜市 桂台北遺跡 発掘調査報告書』 | 2004/10 | |
| ニュースパーク(日本新聞博物館) | 『NIEニュース/ニュースパークだより』第39～42/No.25～28 | 2004/11 | |
| 横浜開港資料館 | 『横浜開港資料館 紀要 第21号』 | 2003/03 | |
| (財)横浜市ふるさと歴史財団 | 『財団法人横浜市ふるさと歴史財団 年報 平成16年度版』 | 2005/06 | |
| | 『鶴見区No.104遺跡(風見台貝塚) 発掘調査報告』 | 2005/11 | |
| 横浜市歴史博物館 | 『横浜市歴史博物館紀要 第八号』 | 2004/03 | |
| | 『武州金沢藩(六浦藩)関係史料集 Ⅱ』 | 2004/05 | |
| | 『横浜市歴史博物館資料目録 第13集』 | 2004/03 | |
| | 企画展『東海道と戸塚宿』図録 | 2004/08 | |
| | 収蔵資料展『江戸風俗絵巻 ～描かれた あそびとくらし～』図録 | 2004/07 | |
| | 特別展『ヤマトとアヅマ ～武具からみるヤマト王権と東国』図録 | 2004/10 | |

| | | | |
|-------------|----------------|-------------------------------------------|-----------|
| | | 企画展『弥生の人びとの眠る場所 ～方形周溝墓と環濠集落～』図録 | 2006/04 |
| | 横浜マリタイムミュージアム | 企画展『日本海運の近代化 ～海から富国強兵をささえたもの～』図録 | 2005/10 |
| 川崎市 | 川崎市市民ミュージアム | 『川崎市市民ミュージアム紀要 第17集』 | 23005/03 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 歴史資料 第1集』 | 1993/03 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 歴史資料 第2集』 | 1995/03 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 歴史資料 第3集』 | 1997/03 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 歴史資料 第4集』 | 2001/03 |
| | | 『川崎史 資料叢書第七集 池上家文書(三)』 | 1998/03 |
| | | 『川崎史 資料叢書第八集 池上家文書(四)』 | 2000/03 |
| | | 『川崎史 資料叢書第九集 池上家文書(五)』 | 2002/03 |
| | | 『museum news Vol.72』 | 2006/02 |
| | 川崎市立日本民家園 | 『ロシア民族学博物館 アイヌ資料展 ～ロシアが見た島国のびと～』図録 | 2005/03 |
| | | 『日本民家園収蔵品目録4 旧三澤家住宅』 | 2995/07 |
| | | 『日本民家園収蔵品目録5 旧清宮家住宅』 | 2006/01 |
| | | 『日本民家園だより』第58～60号 | 2005-2006 |
| | 専修大学教務課 | 『平成16年度 資格課程年報 Passo a Passo 第7号』 | 2002/11 |
| 鎌倉市 | 鎌倉市教育委員会 | 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書21 平成16年度発掘調査報告(第1分冊)』 | 2005/03 |
| | | 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書21 平成16年度発掘調査報告(第2分冊)』 | 2005/03 |
| | | 『鎌倉の埋蔵文化財8』 | 2005/03 |
| | | 『かながわの遺跡展2005 武家の古都・鎌倉 ～発見された中世の世界～』図録 | 2005/09 |
| | 鎌倉八幡宮社務所 | 『鶴岡』第101、102号 | 2005-2006 |
| | 鎌倉文化研究会 | 『鎌倉 第百号』 | 2005/10 |
| 横須賀市 | 横須賀市教育委員会 | 『横須賀市埋蔵文化財調査報告書 第12集 猿島遺跡群3』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀市文化財調査報告書 第41集 向衣将監正方夫妻墓調査報告 他』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀美術館準備ニュース Vol.2』 | 2005 |
| | 横須賀市自然・人文博物館 | 『横須賀市自然・人文博物館 要覧 (2005年度版)』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀市博物館報 第51号』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀市博物館資料集 第29号』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀市博物館 研究報告(自然科学) 第52号』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀市博物館 研究報告(人文科学) 第49号』 | 2005/03 |
| | | 『横須賀市博物館 研究報告(人文科学) 第50号』 | 2005/03 |
| 逗子市 | 逗子市教育委員会 | 『国指定史跡名越切通整備基本計画策定報告書』 | 2005/03 |
| 葉山町 | 葉山しおさい博物館 | 『潮騒ガイドブック⑨ 葉山・芝崎ナチュラルリザーブ 海洋生物図鑑(2) ～貝類～』 | 2005/03 |
| | | 『潮騒だより No.16』 | 2005 |
| 厚木市 | 厚木市教育委員会 | 『神奈川県厚木市 恩名萱山遺跡発掘調査報告書』 | 2000/01 |
| | | 『神奈川県厚木市 金田宮畑遺跡発掘調査報告書』 | 2002 |
| | | 『平成15年度 厚木市文化財年報 第3号』 | 2005/03 |
| | | 『厚木市埋蔵文化財調査報告書 第5集 荻野上ノ原遺跡 第2地点』 | 2005/03 |
| | | 『神奈川県厚木市 宮の里遺跡 発掘調査報告書』 | 2005/03 |
| | | 『厚木市文化財調査報告書 第43集 厚木の民俗11 祭礼行事』 | 2005/03 |
| | 神奈川自然環境保全センター | 『神奈川県自然環境保全センター報告 第2号』 | 2005/03 |
| | グリーンタフ事務局 | 『自然観察』284～286、288～295号 | 2005-2006 |
| 綾瀬市 | 綾瀬市教育委員会 | 『綾瀬市史研究 9号』 | 2005/06 |
| 相模原市 | 相模原市立博物館 | 『博物館所蔵古文書目録 (付CD-ROM)』 | 2005/03 |
| | | 『相模原市立博物館 研究報告 第14集』 | 2005/03 |
| | | 『相模原市立博物館 NEWS』Vol.38～41 | 2005-2006 |
| | | 特別展『地球46億年 ～顕微鏡で見る地球誕生のころ～』 | 2005/07 |
| 座間市 | 座間市教育委員会 | 『座間市文化財調査報告 第18集 座間の地名』 | 2005/03 |
| | | 『座間むかしむかし 第二十七集』 | 2005/03 |
| 城山町 | 城山教育委員会 | 『国指定史跡川尻石器時代遺跡 確認調査報告書Ⅰ』 | 2005/03 |
| 茨城県 | 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 『形部遺跡 ～老人介護保健施設建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書～』 | 2005/09 |
| | | 『上高津貝塚ふるさと歴史の広場 第11号 -2004(平成16)年度-』 | 2005/11 |
| | | 特別展『火葬と古代社会 ～死をめぐる文化の受容～』図録 | 2006/03 |
| | 稲敷市立歴史民俗資料館 | 稲敷市合併記念『おすもうさんのお洒落 ～粋でイナセな男たち～』図録 | 2005/11 |
| | 玉里村立史料館 | 『玉里村立史料館報 ～開館10周年記念号～ 第10号』 | 2005/03 |
| | | 『玉里村村内遺跡分布調査報告書 玉里の遺跡』 | 2004/11 |
| | | 『玉里村立史料館報 第11号』 | 2006/02 |
| | | 『玉里村の歴史 ～豊かな霞ヶ浦と大地に生きる～』 | 2006/02 |
| 栃木県 | 小山市立博物館 | 企画展『妖怪現る! ～心の闇にひそむものたち～』図録 | 2005/04 |
| | 竊業史博物館 | 『神奈川県平塚市 上吉沢地区遺跡群』 | 2004/07 |
| | | 『神奈川県伊勢原市 稲荷久保遺跡Ⅲ地点』 | 2005/03 |
| 群馬県 | 北橋村教育委員会 | 『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書 第39集 北橋村村内遺跡ⅩⅡ』 | 2005/03 |
| | | 『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書 第40集 小室高田遺跡Ⅰ-ii』 | 2005/12 |
| | | 『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書 第41集 上箱田上ノ原遺跡』 | 2006/01 |
| | | 『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書 第42集 小室高田遺跡Ⅰ-i-II』 | 2006/01 |

| | | | | |
|-----------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| | | 『北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書 第43集 五反田遺跡』 | 2006/01 | |
| | 草津市教育委員会 | 『草津市文化財調査報告書59号 木内石亭(西園寺鳳嶺・願行寺了寛)関係資料調査報告書』 | 2005/11 | |
| 埼玉県 | 埼玉県立博物館 | 『埼玉県立博物館紀要 30』 | 2005/03 | |
| | さいたま川の博物館 | 『紀要 5号』 | 2005/03 | |
| | | 『かわはく』No.22～24 | 2005 | |
| | 税務大学校租税史料館 | 『租税史料目録 昭和編(Ⅱ)(昭和11年～昭和20年)』
『租税史料館報 平成16年度版』
『営業税の変遷 ～運上・冥加から事業税へ～』図録 | 2005/03
2005/07
2006/01 | |
| | 鶴ヶ島市遺跡調査会 | 『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告 第57集 池の台遺跡A第1次, 上山田遺跡 第6次, 羽折遺跡B 第1次』
『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告 第58集 第8次・第9次 発掘調査報告書』 | 2005/11
2006/03 | |
| | 立正大学博物館 | 『立正博物館課程年報 第7号』 | 2005/03 | |
| 千葉県 | 伊能忠敬記念館 | 『伊能忠敬記念館年報 第6号(事業概要編) 平成15年度』
『伊能忠敬記念館年報 第6号(調査研究編) 平成15年度』 | 2005/03
2005/03 | |
| | 国立歴史民俗博物館 | 『水辺と森と縄文人 ～低湿地遺跡の考古学～』図録
『東アジア中世海道 ～海商・港・沈没船～』図録
特別展『縄文 VS 弥生』図録
人間文化研究機構連携展示『うたのちから ～和歌の時代史～』図録 | 2005/06
2005/03
2005/07
2005/10 | |
| | 佐倉市教育委員会 | 『風媒花 第18号』 | 2006/02 | |
| | 佐倉日蘭協会 | 『佐倉日蘭協会会報 第34号』 | 2005/10 | |
| | 市立市川考古博物館 | 『市立市川考古博物館館報 第32号』 | 2005/03 | |
| | | 『平成15年度 市立市川自然博物館年報(年報No.15)』 | 2005/01 | |
| | 市立市川自然博物館 | 『平成16年度 年報』
『市立市川自然博物館だより』91～102号 | 2006/03
2004-2006 | |
| | 館山市立博物館 | 『ミュージアム発見伝 No.75』 | 2005/01 | |
| | 千葉県立中央博物館 | 『千葉県立中央博物館研究報告 ～人文科学～ 第9巻 第1号(通巻18号)』
『千葉県立中央博物館研究報告 ～人文科学～ 第9巻 第2号(通巻19号)』 | 2005/01
2006/03 | |
| | 千葉市立加曾利貝塚博物館 | 『貝塚博物館紀要 第33号』
企画展『～貝塚の謎を探る・10～ 常陸の貝塚』図録 | 2006/03
2006/01 | |
| | 船橋市飛ノ台史跡公園博物館 | 『飛ノ台史跡公園博物館 紀要』 | 2005/03 | |
| | 松戸市立博物館 | 『松戸市立博物館年報 第12号』
企画展『ペルシャ文明の曙』図録 | 2005/08
2005/10 | |
| | 茂原市立美術館・郷土資料館 | 企画展『貝塚と骨角器』図録 | 2006/01 | |
| | 山武考古学研究所 | 『横浜市都筑区 矢崎山西遺跡』 | 2004/08 | |
| | 東京都 | (有)アルケリサーチ | 『志村坂上遺跡 1-2地点 発掘調査報告書(CD-ROM)』
『徳丸京宗遺跡発掘調査報告(CD-ROM)』
『前野田向遺跡第5地点発掘調査報告(CD-ROM)』
『前野田向遺跡第6地点発掘調査報告(CD-ROM)』 | 2004/03
2004/11
2004/03
2004/11 |
| | | 板橋区教育委員会 | 『歴史民俗研究 第2輯 ～櫻井賞受賞論集～』
『文化財シリーズ第九十一集 郷土史料集 板橋の古文書・古記録三』
『板橋区文化財マップ』 | 2005/03
2006/03
2005/12 |
| | | 板橋区立郷土資料館 | 『夢を持った少年たち ～小茂根・稲荷台・志村・小豆沢・西台の遺跡～』図録 | 2006/09 |
| | | 大田区立郷土博物館 | 『大田区立郷土博物館 紀要・第15号 平成16(2004)年度』
『博物館ノート』No.139～144
特別展『高橋松亭(弘明)版画の世界』図録 | 2005/03
2005/03
2005/10 |
| | | お札と切手の博物館 | 『博物館ニュース』Vol.19, 20 | 2005-2006 |
| | | お茶の水女子大学 | 『お茶の水女子大学 博物館実習報告21』 | 2005/02 |
| 外務省外交史料館 | | 『外交史料館報 第19号』 | 2005/09 | |
| 久月人形学院 | | 『久月人形学院華麗会 華』 | 2005/05 | |
| 駒澤大学文学部 | | 『駒澤大学博物館学講座年報 2004年度』 | 2005/03 | |
| 駒澤大学禅文化歴史博物館 | | 『駒大史ブックレット3 「宣教師日誌」にみる 大正期の駒大生(その2)』
『駒大史ブックレット4 「宣教師日誌」にみる 大正期の駒大生(その3)』
『館蔵し料展2005 禅の風光とその逸品』図録 | 2004/12
2005/01
2005/06 | |
| 昭和館 | | 『昭和のくらし研究 第3号』
『昭和館館報 第6号(平成16年度)』
『昭和のくらし研究 第2号』
『ベルント・ローゼ写真集「希望の光」』図録 | 2005/03
2005/10
2004/03
2006/04 | |
| 世田谷区教育委員会 | | 企画展『木挽きと木の文化』図録 | 2005/01 | |
| 全国民俗芸能保存振興市町村連盟 | | 『全民連だより』第53号 | 2005/03 | |
| 台東区下町風俗資料館 | | 『下町風俗資料館號外 8月』 | 2005/08 | |
| 玉川大学教育博物館 | | 『玉川大学博物館 館報 第3号 2004年度』
『博物館ニュース 集(SHU)』No.24, 25 | 2006/03
2005 | |
| 俳丹青研究所 | | 『Museum Data ミュージアム・データ』No.65～69 | 2004-2005 | |
| 調布市教育委員会 | | 『調布市埋蔵文化財調査報告76 調布市の遺跡調査 -第6集-』
『調布市埋蔵文化財 報告集刊1』 | 2005/03
2005/03 | |
| 調布市郷土博物館 | | 『調布市制50周年記念特別展示資料 ドキュメント合併 ～調布市誕生にいたるまで』 | 2005/12 | |

| | | | |
|---------------|------------------|----------------------------------------------------------|-----------|
| | | 『調布の文化財』第38、39号 | 2005-2006 |
| | | 『郷土博物館だより』No.68、69 | 2005-2006 |
| | | 企画展『地域を語るくらしの道具 ～水との関わり～』図録 | 2005/10 |
| テイケイトレード(株) | | 『神奈川県平塚市 山王A遺跡 ～第8地点～』 | 2005/03 |
| 東京家政学院生活文化博物館 | | 『東京家政学院生活文化博物館年報 第15号』 | 2005/03 |
| | | 特別展『遺跡との出会い ～東京家政学院考古学実習の成果～』図録 | 2005/07 |
| 東京都江戸東京博物館 | | 『東京都江戸東京博物館研究報告 第10号』 | 2004/10 |
| | | 『東京都江戸東京博物館研究報告 第11号』 | 2005/03 |
| | | 『江戸東京博物館 NEWS』Vol.49～52 | 2005 |
| 豊島区立郷土資料館 | | 『生活と文化 研究紀要 第15号』 | 2005/12 |
| | | 『豊島区立郷土資料館だより かたりべ』No.78～80 | 2005 |
| | | 企画展『東京空襲60年 ～空襲の記憶と記録～』図録 | 2005/07 |
| | | 企画展『ぞうしがや ～鬼子母神門前とその周辺～』図録 | 206/01 |
| (財)日本博物館協会 | | 『少年自然の家を中心とした 野外科学活動 (GD-ROM)』 | 2005/03 |
| | | 『博物館総合調査報告』 | 2005/03 |
| | | 『子どもの居場所づくり新プラン 地域子ども教室推進事業報告書』 | 2005/03 |
| | | 『中学生・高校生の博物館の効果的利用プログラム開発』 | 2005/03 |
| | | 『博物館の望ましい姿シリーズ3 誰にもやさしい博物館づくり事業 外国人対応』 | 2005/03 |
| | | 『博物館の望ましい姿シリーズ4 誰にもやさしい博物館づくり事業 ハリアフリーのために』 | 2005/03 |
| | | 『博物館の望ましい姿シリーズ5 誰にもやさしい博物館づくり事業 高齢者プログラム』 | 2005/03 |
| | | 『博物館の倫理規定(Code of Ethics for Museums 2000) 著/アメリカ博物館協会』 | 2005/03 |
| | | 『博物館の倫理規定(Code of Ethics for Museums 2002) 著/イギリス博物館協会』 | 2005/03 |
| | | 『倫理指針(Ethics Guidelines 1999) 著/カナダ博物館協会』 | 2005/03 |
| | | 『平成17年度 会員名簿』 | 2005 |
| バルテノン多摩 | | 『バルテノン多摩 MUSEUM NEWS』Vol.1～3 | 2005 |
| | | ミニ企画展『ぼくらの時間旅行 多摩の学校・むかしむかし』解説リーフレット | 2005/07 |
| | | ミニ企画展『「農」をめぐる人々 ～多摩ニュータウンの開発とともに～』図録 | 2006/01 |
| 府中市郷土の森博物館 | | 『国指定天然記念物 馬場大門のケヤキ並木』 | 2005/04 |
| | | 『府中市郷土の森博物館紀要 第18号』 | 2005/03 |
| | | 『府中市郷土の森博物館年報 第14号(平成16年度)』 | 2005/12 |
| | | 『府中市内家分け古文書目録9 大國魂神社文書目録(3)』 | 2006/03 |
| | | 『フィールド・ミュージアム 郷土の森博物館カレンダー』9・10月、1・2月 | 2005-2006 |
| | | 『あるむぜお』No.72～75 | 2005-2006 |
| 福生市教育委員会 | | 『福生市郷土資料室年報 24』 | 2005/03 |
| | | 『文化財総合調査報告書 第32集 福生の民俗 民具Ⅲ 桶屋の道具』 | 2005/03 |
| | | 特別展『ふっさトラベルヒストリー』図録 | 2005/02 |
| 船の博物館 | | 『船の科学館叢書1 御召鯨船「千山丸」』 | 2004/05 |
| | | 『船の科学館叢書2 石川県邑知潟のチヂブネ ～中島町瀬嵐での建造記録～』 | 2004/07 |
| | | 『船の科学館叢書3 対馬のくらしと舟競漕』 | 2004/07 |
| | | 『船の科学館叢書4 船絵馬入門』 | 2004/09 |
| | | 『船の科学館叢書5 雛形からみた弁才船 上』 | 2005/11 |
| | | 『船の科学館 資料ガイド6 船の科学館』 | 2005/09 |
| 港区立港郷土資料館 | | 『開国150周年記念資料集 江戸の外国公使館』 | 2005/03 |
| | | 『平成16年度 港区指定文化財(平成16年10月26日指定)』 | 2005 |
| | | 『研究紀要 8』 | 2005/03 |
| 港区教育委員会 | | 『港区内近世都市江戸開連遺跡発掘調査報告34 麻布仲ノ町地区武家屋敷跡遺跡発掘調査報告書』 | 2003/11 |
| | | 『港区埋蔵文化財調査年報2 ～平成15年度の調査 他～』 | 2005/03 |
| 町田市立自由民権資料館 | | 『自由民権 18号』 | 2005/03 |
| | | 『民権ボックス18号 豪農たちの見た新選組 ～多摩に芽生えた政治意識～』 | 2005/03 |
| 明治大学 | | 『2004年度 明治大学学芸員養成課程 年報20』 | 2005/03 |
| | | 『2004年度 明治大学学芸員養成課程 紀要16』 | 2005/03 |
| 靖国神社社務所 | | 『靖国』第599～608 | 2005-2006 |
| (財)吉田茂国際基金 | | 『清水昆画 吉田茂風刺漫画集』 | 2005/09 |
| 新潟県 | 十日町市教育委員会 | 『文化財課年報 9』 | 2005/03 |
| | | 『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第26集 伊達八幡館発掘調査報告書』 | 2005/02 |
| | | 『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第27集 江道B・C遺跡発掘調査概要報告書』 | 2005/03 |
| | | 『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第28集 平成16年度 十日町市内遺跡発掘・確認調査報告書』 | 2005/03 |
| | | 『十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第29集 笹山遺跡確認調査報告書 -2002～2004年度確認調査報告書-』 | 2005/03 |
| 山梨県 | 環境省自然環境局生物多様センター | 『生物多様性センター ニューズレター』第15～18号 | 2005-2006 |
| 長野県 | 茅野市教育委員会 | 『尖石遺跡整備報告書(1) ～与助尾根地区環境整備事業報告書～』 | 2005/03 |
| | | 『大椋遺跡』 | 2001/03 |
| | | 『北山葛次B遺跡 II』 | 2002/03 |
| | | 『北六殿遺跡・駒形遺跡』 | 2002/03 |
| | | 『中ツルネ遺跡』 | 2002/03 |
| | | 『中ツ原遺跡』 | 2003/03 |
| | | 『頭無遺跡』 | 2003/03 |

| | | | |
|------------|-------------|-----------------------------------------------|-----------|
| | | 『柏木遺跡』 | 2003/03 |
| | | 『梨ノ木遺跡』 | 2003/03 |
| | | 『聖石遺跡』 | 2004/03 |
| | | 『干沢城下町遺跡』 | 1998/03 |
| | | 『干沢城跡』 | 1998/03 |
| | | 『高部遺跡Ⅱ』 | 1999/03 |
| | | 『鬼場城跡』 | 1999/03 |
| | | 『大久保遺跡』 | 2004/03 |
| | | 『中村・外垣外・蟹畑遺跡』 | 2004/03 |
| | | 『上原城下町遺跡』 | 2005/03 |
| | | 『荒玉社周辺遺跡Ⅱ』 | 2005/03 |
| | | 『塩之目遺跡』 | 2006/03 |
| | 茅野市八ヶ岳総合博物館 | 『茅野市の文学碑 付/校歌碑・記念碑』 | 2004/09 |
| | (財)野外教育研究財団 | 『八ヶ岳通信 No.23』 | 2005 |
| | | 『平成15年度 博物館ボランティア全国調査』 | 2003/03 |
| | | 『参画・体験・発見学習の心理と応用 ～創造的な研修・討議・講義・解説のための理論と実技～』 | 2003/03 |
| 岐阜県 | (財)藤村記念館 | 『藤村記念館だより』No.111～114 | 2005 |
| 静岡県 | 伊東市教育委員会 | 『伊東市史叢書5 伊東の学校の歴史』 | 2005/03 |
| | 静岡県立美術館 | 『アマリス』No.77～80 | 2005-2006 |
| | 静岡市立登呂博物館 | 『静岡市立登呂博物館研究紀要5』 | 2005/03 |
| | | 『静岡市立登呂博物館館報15 ～平成16年度～』 | 2005/09 |
| | 浜松市博物館 | 『浜名湾全国競泳大会記録集』 | 2006/03 |
| | | 『浜松市舞阪郷土資料館ノート』第1～3号 | 2005 |
| | 藤枝市郷土博物館 | 『藤枝市郷土博物館年報16 ～平成15年度～』 | 2005/03 |
| | 舞阪町立郷土資料館 | 『舞阪町歴史散歩』 | 2005/06 |
| | | 『舞阪の地名』 | 2005/06 |
| | | 『舞阪町立郷土資料館年報・第14号 2004(平成16)年度』 | 2005/06 |
| | | 『舞阪町立郷土資料館通信』第94～100号、号外 | 2004-2005 |
| | 焼津市歴史民俗資料館 | 『焼津市歴史民俗資料館 年報18』 | 2005/03 |
| | | 『焼津の名所・旧跡地図』 | 2005/03 |
| | | 『焼津市歴史民俗資料館 年報19』 | 2006/03 |
| 愛知県 | 安城市歴史博物館 | 『年報 第14号 平成16年度』 | 2005/07 |
| | 豊橋市自然史博物館 | 『豊橋市自然史博物館 年報 第17号 平成16年度』 | 2005/06 |
| | 豊橋市美術博物館 | 『豊橋市美術博物館友の会だより 風伯』Vol.52～55、57～59 | 2004-2006 |
| | 豊橋市二川宿本陣資料館 | 『豊橋市二川本陣資料館 年報 平成15・16年度』 | 2005/12 |
| | | 『豊橋市指定有形文化財 旅籠屋「清明屋」保存修理工事報告書』 | 2005/03 |
| | | 『東海道五十三次宿場展XⅡ ～四日市・石薬師・庄野・亀山～』 | 2004/02 |
| | | 『ふるさとの風景展 ～絵図・地図・航空写真からみる豊橋～』図録 | 2004/04 |
| | | 『浮世絵版画を調べよう！展』図録 | 2004/07 |
| | | 『東海道の城下町展Ⅰ』図録 | 2004/10 |
| | | 『日本浮世絵博物館所蔵 浮世絵名品展 ～美人・役者から風景へ～』 | 2005/07 |
| | | 『三河国名所めぐり展』図録 | 2005/10 |
| 三重県 | 鈴鹿市考古博物館 | 『伊勢国分寺跡 4』 | 2004/03 |
| | | 『伊勢国分寺跡 5』 | 2005/03 |
| | | 『伊勢国分寺跡 6』 | 2004/03 |
| | | 『伊勢国分寺跡 7』 | 2005/03 |
| | | 『鈴鹿市考古博物館年報 第5号 平成14年版』 | 2004/03 |
| | | 『史跡伊勢国府跡保存管理計画書』 | 2004/03 |
| | | 『一般国道23号中勢道路範囲確認調査報告』 | 2004/03 |
| | | 『(仮称)岸岡西土地区画整理事業にかかる 埋蔵文化財範囲確認調査報告』 | 1994/06 |
| | | 『平田遺跡 ～第1次発掘調査概要報告～』 | 2005/03 |
| | | 『一般国道23号中勢道路発掘調査報告 ～鈴鹿5工区 甲懸Ⅱ遺跡』 | 2005/03 |
| | | 『鈴鹿市考古博物館年報 第6号 平成15年度版』 | 2005/03 |
| | 藤原岳自然科学館 | 『藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第26巻 2003年度号』 | 2004/08 |
| | | 『藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第27巻 2004年度号』 | 2005/08 |
| | ミキモト真珠島 | 『ミキモト真珠島 NEWS』 | 2005 |
| 京都府 | (株)京都科学 | 『Museum Works Vol.17』 | 2005/08 |
| | 京都市動物園 | 『平成15年度事業概要』 | 2005/03 |
| | | 『平成16年度事業概要』 | 2006/02 |
| | 丹波生活衣館 | 『丹波 生活つれづれ(続編)』 | 2000/02 |
| | | 『河口三千子氏と丹波太物』 | 2000/02 |
| | | 『常設展図録 丹波生活衣』 | 2002/03 |
| | 向日市文化資料館 | 『職人 牟田正義氏の竹細工道具類目録』 | 2004/03 |
| | | 『図録 20世紀のむこうまち』 | 2002/03 |
| | | 特別展『向日丘陵の前期古墳』図録 | 2004/11 |

| | | | |
|-----|-----------------------|---------------------------------------------------|-----------|
| 奈良県 | 奈良文化財研究所 | 『遺跡情報交換標準の研究』 | 2005/02 |
| | | 『埋蔵文化財ニュース 115 環境考古学4 牛馬骨格図譜』 | 2004/03 |
| | | 『埋蔵文化財ニュース 118』 | 2004/09 |
| | | 『埋蔵文化財ニュース 119』 | 2005/03 |
| | | 『埋蔵文化財ニュース 120』 | 2005/03 |
| | | 『埋蔵文化財ニュース 121』 | 2005/09 |
| 大阪府 | 大阪市立自然史博物館 | 『大阪市立自然史博物館研究報告 第59号』 | 2006/01 |
| | | 『自然史研究 Vol.3 No.4』 | 2005/03 |
| | | 『関西自然派団体まるごとブック (大阪自然史フェスティバル2004公式ガイドブック)』 | 2004/03 |
| | | 特別展『貝 ～その魅力とふしぎ～』図録 | 2004/07 |
| | | 特別展『なにわのナチュラリスト ～自然の達人たち～』図録 | 2005/07 |
| | | 『自然派市民の文化祭 大阪自然史フェスティバル』図録 | 2003/03 |
| | | 『富田林市埋蔵文化財調査報告36 平成15年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書』 | 2004/03 |
| | 富田林市教育委員会 | 『富田林市埋蔵文化財調査報告37 平成16年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書』 | 2005/03 |
| | | 『富田林遺跡調査会報告25 富田林寺内町遺跡』 | 2005/03 |
| | | 『富田林遺跡調査会報告26 新堂廃寺跡』 | 2005/06 |
| 兵庫県 | 神戸市立博物館 | 『平成14年度 神戸市立博物館年報 No.19』 | 2004/03 |
| | | 『神戸市立博物館 館藏品目録 考古・歴史の部20』 | 2004/03 |
| | | 『神戸市立博物館 研究紀要 第20号』 | 2004/03 |
| | たつの市立龍野歴史文化資料館 | 特別展『お金 ～貨幣の歴史と兵庫の紙幣～』図録 | 2005/10 |
| | | 『変わり難と共に見る「たつの」』図録 | 2006/04 |
| 岡山県 | 赤磐市山陽郷土資料館 | 『山陽町文化財50ヵ所マップ』 | 2002/10 |
| | | 『広報あかいわ 2005 11月号 No.8』 | 2005/11 |
| | | 『いま開く 熊山物語』 | 2002/02 |
| 愛媛県 | 愛媛県歴史文化博物館 | 『暦博だより No.42』 | 2005/06 |
| 高知県 | 高知県立牧野植物園 | 『高知県立牧野植物園年報 (2004)』 | 2005/05 |
| | | 『牧野植物園だより』No.21～24 | 2005-2006 |
| 福岡県 | 九州・沖縄 水中考古学協会 | 『NEWSLETTER No.19』 | 2005/01 |
| 北海道 | 帯広百年記念館
(財)北海道開拓の村 | 『帯広百年記念館紀要 第23号』 | 2005/03 |
| | | 『北海道開拓の村 要覧 平成16年度』 | 2004/05 |
| | | 『北海道開拓の村 要覧 平成17年度』 | 2005/09 |
| | | 『北海道開拓の村 20周年記念誌 風雪の路』 | 2005/03 |
| | | 『北海道開拓の村 調査研究中間報告6 開拓の村展示建造物からみた明治・大正期の生活文化史(II)』 | 205/10 |
| 岩手県 | 前沢町立牛の博物館 | 『モコ MOKO通信』第32～35号 | 2004-2005 |
| 福島県 | 奥会津地方歴史民俗資料館 | 『牛のはくぶつかん 第24号』 | 2005/03 |
| | | 『奥会津地方歴史民俗博物館 第3号』 | 2004/03 |

文化財

■文化財専門委員会

<委員の構成>

- ・委員長／高橋秀男（植物）
- ・副委員長／稲葉和也（建築）
- ・委員／三浦勝男（歴史） 薄井和男（彫刻）
 田尾誠敏（考古） 山崎祐子（民俗）

<委員会の開催>

- ・第1回／平成17年7月28日 平成16年度事業報告について、平成17年度事業計画および進捗状況について、報告事項、その他
- ・第2回／平成18年2月9日 平成17年度事業報告について、平成18年度事業計画について、報告事項、その他

■文化財の調査

<文化財巡回調査>

町内所在の国・県指定文化財等の現状と管理状況を把握するため、調査員2名を推薦（神奈川県教育委員会より委嘱）し、現地を巡回し実態を調査した。

- ・調査対象／2件（釜口古墳、大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地）

<大磯町仏教彫刻調査委託>

慶覚院（大磯町高麗）の所蔵する仏教彫刻調査を委託した。

- ・委託先／大磯町仏教彫刻調査委員会

■文化財の保護啓発

<史跡管理委託>

神奈川県指定史跡釜口古墳の通年管理を委託した。

- ・委託先／岩本商事

<指定文化財の現状変更>

神奈川県指定文化財（天然記念物）の現状変更をおこなった。

- ・変更対象2件／（大磯高麗山の自然林2件）

<指定文化財の保護>

指定文化財の保護と管理奨励のために、交付金を交付した。

- ・町指定有形文化財管理奨励交付金／16件
- ・民俗資料保存団体交付金／7件（高麗山神輿保存会、相模国府祭保存会、大磯御船祭保存会、西小磯七夕祭保存会、西小磯西子ども会、大磯町左義長保存会、白岩神社歩射保存会）

<文化財講座>

文化財に対する理解と保護啓発のために文化財講座をおこなった。本年はかながわ考古学財団との共催でおこなった。

- ・日 時／平成 17 年 7 月 3 日 (日)
- ・テーマ／古墳時代の大磯
第Ⅰ部「大磯町域の横穴墓群」(講師：当館学芸員 國見徹)
第Ⅱ部「大磯の古墳時代を考える」(講師：かながわ考古学財団 須藤智夫氏)
- ・参加者／80 人

<文化財防火デー>

町内所在の文化財保有施設について、消防署の協力のもと防火設備点検をおこなった。

- ・対象施設／西長院、宝積院
- ・日 時／平成 18 年 1 月 26 日 (木)

■埋蔵文化財

<文化財保存処理委託>

堂後下横穴墓群出土金属製品 3 点 (耳環 3 点) の保存処理を委託した。

- ・委託先／(株) 東都文化財保存研究所

<緊急発掘調査等>

開発等にもない、埋蔵文化財にかかわる事前相談に対応し、立会調査ならびに試掘調査等を実施した。

- ・照 会／160 件
- ・事前相談／ 38 件
- ・立会調査／ 13 件 (馬場台遺跡<No.114>6 件、坊地遺跡<No.118>2 件、古屋敷<No.136>2 件、坂田南横穴墓群<No.18>1 件、南日吉<No.116>1 件、No.110 遺跡 1 件、No.137 遺跡 1 件)
- ・試掘調査／ 6 件 (No.116 遺跡 2 件、No.136 遺跡 1 件、No.107 遺跡隣接地 1 件、No.114 遺跡 1 件、No.103 遺跡隣接地 1 件)
- ・土木工事通知 (法 94 条) の進達／1 件
- ・発見届・保管証、埋蔵物の文化財認定／0 件

<調査概要>

| | |
|-------|---------------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡<No.114>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成 17 年 4 月 2 日 |
| 所在地 | 大磯町国府本郷字東馬場 1337-3 外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 個人住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備 考 | 平成 17 年 1 月 21 日に基礎部分立会調査 |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡<No.114>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成 17 年 4 月 20 日 |
| 所在地 | 大磯町月京 36-8 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 個人住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備 考 | |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 古屋敷 (No.136) 【試掘調査】 |
| 遺跡の種類 | |
| 調査期間 | 平成 17 年 5 月 25 日 |
| 所在地 | 大磯町西小磯字古屋敷 772-3 外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | 6 m ² |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|-------------------------|
| 遺跡の名称 | 坂田山南横穴墓群 (No.18) 【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 横穴墓 |
| 調査期間 | 平成 17 年 6 月 7 日 |
| 所在地 | 大磯町大磯字簾田 765-11 外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|----------------------|
| 遺跡の名称 | 南日吉VI<No.116> 【試掘調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成 17 年 7 月 1 日~2 日 |
| 所在地 | 大磯町国府新宿 306 外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | 5 m ² |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|-----------------------|
| 遺跡の名称 | 古屋敷 (No.136) 【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | |
| 調査期間 | 平成 17 年 7 月 2 日 |
| 所在地 | 大磯町西小磯字古屋敷 772-3 外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | 試掘調査：平成 17 年 5 月 25 日 |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 坊地遺跡<No.107> 【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成 17 年 7 月 18 日 |
| 所在地 | 大磯町大磯字一里山 58-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 店舗建築 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|-----------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡<No.114> 【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成 17 年 7 月 20 日 |
| 所在地 | 大磯町国府本郷字西馬場 1102-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | 試掘調査：平成 17 年 5 月 25 日 |

| | |
|-------|-------------------|
| 遺跡の名称 | No.116 遺跡【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年7月20日 |
| 所在地 | 大磯町国府新宿30外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | 試掘調査：平成17年7月1日～2日 |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡<No.114>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年7月27日 |
| 所在地 | 大磯町月京36-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 店舗併用住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | 7月30日状況確認 |

| | |
|-------|-----------------|
| 遺跡の名称 | No.110 遺跡【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年7月20日 |
| 所在地 | 大磯町国府新宿30外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|-----------------|
| 遺跡の名称 | No.137 遺跡【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年9月28日 |
| 所在地 | 大磯町西小磯字東中道693-2 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 個人住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|-----------------------|
| 遺跡の名称 | 坊地遺跡<No.107>隣接地【試掘調査】 |
| 遺跡の種類 | |
| 調査期間 | 平成17年10月11日 |
| 所在地 | 大磯町高麗1-2-24 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 宍戸信悟 |
| 調査面積 | 4㎡ |
| 調査の原因 | 交番立替工事 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡<No.114>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年8月10日、10月19日 |
| 所在地 | 大磯町国府本郷字西馬場1102-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地分譲 |
| 発見遺構 | 竪穴住居址、土坑 |
| 発見遺物 | 須恵器、土師器、泥岩切石 |
| 遺跡の時期 | 古墳時代以降 |
| 遺物の保管 | 大磯町教育委員会 |
| 備考 | |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 坊地遺跡<No.107>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年11月15日、22日、24日 |
| 所在地 | 大磯町大磯字竹縄2142-1、7 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 鈴木 孝、國見徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 宅地分譲 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | 土師器 |
| 遺跡の時期 | 古墳時代以降 |
| 遺物の保管 | 大磯町教育委員会 |
| 備考 | |

| | |
|-------|-------------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡45地点<No.114>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年12月9日 |
| 所在地 | 大磯町国府本郷字大畑1393-1外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 鈴木 孝、國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 老人ホーム建設 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | 土師器 |
| 遺跡の時期 | 古墳時代以降 |
| 遺物の保管 | 大磯町教育委員会 |
| 備考 | 平成16年7月試掘調査 |

| | |
|-------|-------------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡48地点<No.114>【試掘調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年12月20日、22日、23日 |
| 所在地 | 大磯町生沢字馬場台230-1外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | 12㎡ |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | 土師器、磁器 |
| 遺跡の時期 | 古墳時代以降、近代 |
| 遺物の保管 | 大磯町教育委員会 |
| 備考 | |

| | |
|-------|----------------------|
| 遺跡の名称 | 南日吉VII<No.116>【試掘調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成17年12月25日、27日 |
| 所在地 | 大磯町国府新宿字南日吉319-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 鈴木 孝、國見 徹 |
| 調査面積 | 6㎡ |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|--------------------|
| 遺跡の名称 | No.103 遺跡隣接地【試掘調査】 |
| 遺跡の種類 | |
| 調査期間 | 平成18年1月12日 |
| 所在地 | 大磯町西小磯字切通410-1外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | 6.9㎡ |
| 調査の原因 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | 馬場台遺跡<No.114>【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成18年3月1日 |
| 所在地 | 大磯町月京36-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 個人住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|--------------------|
| 遺跡の名称 | No.136 遺跡 【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成18年3月24日 |
| 所在地 | 大磯町西小磯字東小磯境 730-11 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 個人住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

| | |
|-------|---------------------|
| 遺跡の名称 | No.109 遺跡 【立会調査】 |
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成18年3月29日 |
| 所在地 | 大磯町大磯字山王後 1897-30 外 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 國見 徹 |
| 調査面積 | |
| 調査の原因 | 個人住宅 |
| 発見遺構 | なし |
| 発見遺物 | なし |
| 遺跡の時期 | |
| 遺物の保管 | |
| 備考 | |

研究報告

大磯町郷土資料館所蔵の脱穀・選別具について ～千歯扱、足踏脱穀機、動力脱穀機、万石～

* 佐川 和裕

<はじめに>

本稿は、大磯町郷土資料館で進めている収蔵資料目録化のうち、米麦の脱穀具および選別具 4 種についての集成である。当館では収蔵資料の目録化の一環として、これまでに『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがき I』（平成 13 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 絵はがき II』（平成 14 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料一衣一』（平成 15 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料一食一』（平成 16 年）、『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗（生活）資料一住一』（平成 17 年）の 5 冊を刊行した。また、『年報—平成 9 年度—』では「館所蔵民具目録—農具 I—」と題して、農耕に関わる民具のうち、鍬（ウナイグワ、サクリグワ、トグワ、マンガ）を実測図化しているほか、『年報—平成 16 年度—』では「大磯町郷土資料館所蔵の唐箕について」のなかで 26 点の唐箕を紹介した。なお、唐箕の集成にあたっての詳しい経緯は、既に同書において触れているため参照願いたい。唐箕は流通民具（千歯扱き・足踏脱穀機・動力脱穀機・唐箕・万石）をテーマとして調査を進めているパラサイト（関東民具研究会）ならびに神奈川県立歴史博物館の共同研究に当館としても参加し、その一環としてまとめたものである。今回の脱穀具および選別具についても同様であり、したがって、本稿における当館収蔵資料情報は、共同研究において様式化された調査カードに基づいていることをお断りしておく。関東地域における多くの資料を集成した共同研究の成果については、報告書の刊行が待たれるところである。

<調査収集の対象地域について>

前号において詳しく触れているので、ここでは簡単に復しておく。当館は「湘南の丘陵と海」というテーマで活動を行っており、本稿で報告する脱穀具もまた同地域を対象として収集したものである。「湘南の丘陵」とは、いわゆる大磯丘陵のことであり、西の足柄平野と東の相模平野の狭間に位置する丘陵域を指している。丘陵域は平野部との環境に大きな違いがあり、同時にそれは生業内容を始めとする生活文化の特色となって現れている。比較的近距离にありながら東西の平野部との差異についてはさまざまな事象において顕在化しており、大磯丘陵は、酒匂平野・相模平野の双方の生活文化の重複位置にあることがうかがえる。また、内陸の神奈川県央部や県北部との差異も十分に意識しつつ、さらに東海道本線沿線であるという地理的な特性や条件も考慮する必要がある。

(* 当館学芸員)

<当館所蔵脱穀具と若干の分析について>

①千歯扱

脚を差し込んだ木製の台木に櫛状の穂（歯）を固定したもので、稲や麦を穂の間に挟みこんで手前に引き、刃を扱き落とす道具である。^①それまでの竹製のコキハシ（扱箸）や、台に打ちつけて脱粒させるなどの脱穀方法に比べて能率が格段に上がり、一度に千把もの稲を扱けるのでセンバコキと呼ばれたという。^②ゴケダオシ（後家倒し）・ゴケゴロシ（後家殺し）などの別称も知られている。しかし、当地域では千歯扱以前の脱穀方法についての伝承は、残念ながら聞き取れていない。また、穂（歯）には、木製・竹製・鉄製があり、竹製のものが古いとされるが、当地域では竹製のものは確認できておらず、^③当館で所蔵している 16 点の千歯扱の穂は、いずれも鉄製である。所蔵資料の受入れ先の内訳は、大磯町内が 13 点、隣接する二宮町内が 2 点、平塚市内が 1 点である。基本的には受入れ先がそのまま使用地として判断して差し支えないが、平塚市内からの受入れ資料については使用地が特定されていない。これは、寄贈者本人の記憶により、古道具屋から譲り受けたものと伝えているためである。

さて、ここでは標準的な呼称として千歯扱と表記しているが、当地域では「マンガ」、もしくは一部で「センバ」と呼ばれている。なかでも大きな特徴は、いずれの場合もイネコキマンガ（センバ）やムギコキマンガ（センバ）といい、呼称の上では稲用と麦用を区別していることである。稲用と麦用の違いについては、台木に固定されている穂の間隔の広狭にあるという。すなわち、麦の方が稲よりもジク（軸・茎）が太いため、麦用の方が米用のマンガの穂の間隔よりも広いのだという。このような聞き取りからすれば、多くの家で稲用と麦用の 2 種類のマンガを所有していたと推測される。しかし、実際の受入れ状況からしてみると、必ずしも 2 種類のマンガを所有していたということでもなく、稲と麦の双方に共用していたのではないかということ、あるいは稲・麦のいずれかの使用頻度の多いことによる記憶や印象が呼称に反映されているのではないかと思わせる節もある。いずれにしても、寄贈者においてはマンガを実際に使用した経験を持つ人は少数であり、必ずしも十分な情報は得られていないのが現状である。

次いで、資料に記された文字情報をまとめておきたい。当館所蔵 16 点中、紀年が墨書されているのは年代順に次の 7 点である。

No. 7 / 文久 3 年(台部)、大正 6 年 (穂部)

No. 9 / 明治 34 年・大正 8 年 (台部)

No. 6 / 明治 43 年 (台部)

No.16 / 明治 45 年 (穂部)

No.12 / 大正 4 年 (台部・穂部)

No. 2 / 大正 5 年 (台部)

No. 8 / 大正 5 年 (穂部)

当館において最も古いと思われるのは No.7 である。台部

に文久3年(1863)、穂部に大正6年(1917)の年号がみえる。台部の墨書には「文久三年亥十月吉日 渡邊氏求之」とあることから、同年に購入し、大正6年に穂部を補修したことがうかがえる。その後が続くのはNo.9で、台部に明治34年(1901)、穂部に大正8年(1919)の年号がみえる。

他の文字情報として、No.2、No.4、No.5、No.12には、「・相筈二宮 松本姓」もしくは「・相筈二宮 松本姓」とある。松本というのは所有者ではなく、農機具メーカーと思われる。相州二宮とは、大磯町の西隣にあたる二宮町のことである。これとは別に「相州二宮 大 製農具と銘打ったものもあり、同町に複数の農機具メーカーがあったことがうかがわれる。なお、鋤の刃が減ったり、刃こぼれが生じると、二宮でサッカケ(サキカケ)をしてもらったという話も多く、農具に関しては二宮を通しての流通が盛んであったことが多くの聞き取りからうかがい知ることができる。

この他には、「大阪」(No.1)、「伯州」(No.10)、「紀州」(No.15)の文字が読める。千歯扱は特定の産地が知られている。代表的な産地として倉吉(鳥取県)のほか、木次(島根県)、尾道(広島県)、堺(大阪府)、早瀬(福井県)、羽茂(新潟県)、粉河(和歌山県)、上諏訪(長野県)があり⁴⁾、産地からの行商によって全国各地に普及していった。このうち倉吉は代表的な産地で、「倉吉」あるいは「伯州」の墨書などと記され、流通量も多いといわれているが、その実際はバラサイツおよび神奈川県立歴史博物館の集計を待つほかない。また、No.10は、「・伯州出口」とあり、判読不能な文字が一字あるが、これは伯州の千歯鍛冶職人であった「田中富蔵」が八王子に定着して構えた「伯州出店」と推測される⁵⁾(下線筆者)。

ところで、千歯扱にかかわりのある行事としてコキアゲについて記しておきたい。大磯町国府新宿では、麦の脱穀作業が一段落すると、コキアゲといって「変わりもの」を作って食べることがあった⁶⁾。また、大磯町西小磯でも麦をこなし終わるとコキアゲとなった。地域全体の行事ではなく、各家の都合にあわせてお祝いをするもので、ソバを作って食べたという。ただし、コキアゲの日を設けずに、ノアガリと呼ばれる農休日に併せて行なうことも多かったようである。ノアガリでは農具を洗ってお神酒をあげ、餅を搗いてアンコロモチやアベカワモチを作ったり、小麦の饅頭を作って食べたという。夜にはソバかうドンを食べるのが一般的であった。また、稲の脱穀が終わるとカワリメシを作って食べたが、これをコキアゲと呼ぶ家もあった⁷⁾。しかし、コキアゲという行事はもちろん、その言葉さえもかなり記憶から薄れてきているのが現状である。

②足踏脱穀機

足踏みによる力を胴部の回転する動力に変え、稲や麦の穂を扱って籾に脱穀する機械である。労力の軽減と効率の良さから、それまでの千歯扱に変わって急速に普及

した。当地域では、通常「脱穀機」で意味が通るが、その後に出た動力脱穀機と区別して、「足踏脱穀機」もしくは単に「アシブミ」と呼ぶ場合が多い。当地域での足踏脱穀機の普及は、大正時代から昭和時代初期にかけてといわれている。例えば、西小磯で明治35年(1902)に生まれた男性は、マンガを使っていた経験があり、使う時期になると、たいてい行商が修理に回って来たので、歯の間を締めてもらったという記憶を持っている。そして、話者がどうやら1人前になった頃に足踏みの機械が入ってきたという⁸⁾。また、同所の大正8年(1919)生まれの男性は、子どもの頃にムギコキヤイネコキを使ったが、その後まもなくアシブミに変わったという。大磯町国府新宿の明治38年(1905)生まれの男性は、昭和の初めまでマンガを使った。大磯町高麗の大正13年(1924)生まれの男性は、センバで脱穀していたのは知らないという⁹⁾。なお、昭和9年(1934)7月に撮影された国府新宿における小麦の脱穀作業の写真では、足踏脱穀機にて作業をしている様子が写し出されている(写真1)。



(写真1) 足踏脱穀機による脱穀作業

さて、足踏脱穀機の記されている文字情報であるが、基本的には農機具メーカーの名称が付されているものの、購入日や購入者(所有者)についての墨書はみられない。この点が情報内容において千歯扱と大きく異なっている。農機具メーカーの名称は以下のとおりである。

- No. 1/共栄社第二工場(愛知県豊川市)
- No. 2/細王舎第一工場(神奈川県川崎市)
- No. 4/細王舎第一場(神奈川県橋樹郡生田村)
- No. 5/株式会社日本農蠶機製作所
- No. 6/木屋製作所(埼玉県川越市)
- No. 7/細王舎第一場(神奈川県橋樹郡生田村)

総数は僅かであるが、その中で最も多いのは細王舎製であることが分かる。細王舎は製材業を営む箕輪政次郎により設立された工場で、大正10年(1921)頃に「ミノル式足踏脱穀機」を開発し、広範囲に流通した¹⁰⁾。なお、No.4、7が「神奈川県橋樹郡生田村」の表記であるのに対して、No.2は「神奈川県川崎市」となっている。生田村が川崎市に編入されるのは昭和13年(1938)であることか

ら、製作時期あるいは購入時期の判断になる。No.1は愛知県豊川市の共榮社によるもの。愛知県は農機具メーカーの立地が集中している地域として知られており、先に報告した唐箕にも愛知県内の農機具メーカーが多数含まれている。当地域に多数が流入している要因には、東海道線による鉄道輸送の利便性も考えに入れる必要がありそうだ。No.5は日本農蠶機製作所によるものであるが、メーカーの所在は詳らかでない。No.7には「チヨダ」の商号が入っており、川越市の木屋製作所によるものであることが分かる。同製作所は、天保年間に織物器具や蚕具の製造・販売を手始めとして、明治末期に蚕具の改良とともに農機具の開発にも着手。明治44年に「木屋製作所」として創立し、川越市内で現在も操業している農機具メーカーである⁽¹¹⁾。

また、文字情報のないNo.3を除いては、すべてに機種名が付されている。

- No. 1/軽便稲麦扱機
- No. 2/ミノル式親王号
- No. 4/ミノル式親王号
- No. 5/日の本式稲麦扱機
- No. 6/人力脱穀機一号
- No. 7/ミノル式親王号

ところで、同じ人力による脱穀機であるものの、足踏とは動力源を異にする脱穀機について触れておきたい。

明治45年(1912)の横浜貿易新聞の広告によれば大磯町国府新宿に越野式脱穀機合名会社があったことが分かる(図1)。

同社では、新しく脱穀機を發明して専売特許を受け、

町村農会や組合から注文が殺到しているという内容が掲載されている。木屋製作所が「人力用稲麦扱機」の試作機に成功した大正6年(1917)や、細王舎が「ミノル式足踏脱穀機」を開発した大正10年(1921)と比べると、かなり早い時期となる。しかし、広告の図から判断できる「越野式脱穀器」は、両メーカーの開発した脱穀機が足踏みによる動力であったのに対し、越野式は手回しによる動力であったようである。手回しによる脱穀機は、管見の限りではその存在についての情報はほとんど知らない。あるいは一般に普及しなかったのであろうか。今回の調査でも同社の脱穀機と判断されるものは確認できなかった。

③動力脱穀機

当地域では、動力脱穀機としてメーカーによる製品が普及する前に、足踏脱穀機に独自に動力をつけたという試みが聞かれる。大磯町高麗の大正13年(1924)生まれの男性は、兵役から帰還した昭和21年(1946)頃に、鍛冶屋にアシブミを改造してモーターをつけてもらった。これが動力脱穀機の最初だといい、その後しばらくして次第に普及するようになったという。一方で、大磯町大磯の大正5年(1916)生まれの男性が動力脱穀機を購入したのは昭和32~33年(1957~1958)頃であった。各家の生業環境や経済事情により、導入時期にはかなりの幅があったようである⁽¹²⁾。いずれにしても、足踏脱穀機では、麦の脱穀後にノギを落とすためにムギブチ(クルリブチ・クルリウチ)をしなければならなかったが、動力脱穀機導入後はムギブチをせず済むようになったので、かなり楽になったとして歓迎されている。

四月廿日迄ニ採納御申込ノ方ニハ原價ノ一割引可致候▲

越野式脱穀器

▲農家改善ニ伴フ第一ノ徳嗣ハ他ナシ結野氏ア長明ニシテ成ル越野式脱穀器ニ如クハ
 ナシ従家農家ノ主作物ハ大麥小麦粟豆ナドノ類ニシテ成ル越野式脱穀器ニ如クハ
 最モ多忙時期ナルガ故ニ完全ナル機械力ニ依ラザルベカラズ本器ハ只一回轉ノモ
 人ニテ直時美事ニ投穀粒セラレ使用シ得ラルハナリ本器ノ局部ハ皆鐵製故永久ニ使用
 シテ破損ノ憂ナシ

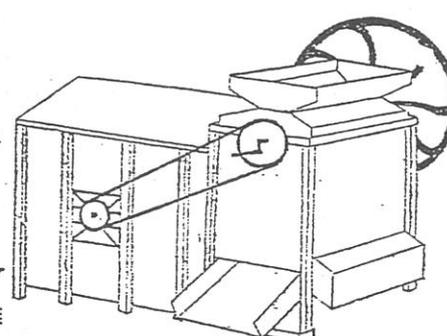
◎本器ノ特色

- 本器ハ大麥、小麦、粟、豆ナドノ種ヤ
 粒ノ大小ニ依リテ機械ノ要部ヲ任意ニ
 變大スル装置故如何ナル穀類ト雖モ自由
 ニ脱穀セシム然シテ其種ヤ粒ヲ器内ニ於
 テ左右上下ニ擾亂セシメテ、真ニ理想的
 ニ何レモ脱穀精粒セシム
- 本器ハ各部極度器ノ製作ニ依リ右脱穀
 ト同時ニ「禾」カハラサ吹キ分ケセシム
- 本器内上下二枚ヨリ成ル實積チ閉鎖シ
 テ前脱穀ノ精粒ヲ又落斗ニ入レテ回轉セ
 シメバ畜來ノ禾チ去リ光澤チ出シ得シ麥
 ノ夫レヨリ數十倍ノ美事ナル精粒トナル
- 本器ハ單ニ戸燭ノ用サメナス甚ダ農家
 多用理想的機械ナリ
- 本器脱穀ニ際シ畜來麥摺器ノ如ク一時多量ニ入レテ時々人手ニ依リ攪キ廻ス等
 ノ煩雜ナル手致ナク漏斗ノ中ニ種ヤ粒ヲ入レテ回轉セシメバ漏斗ノ閉鎖板ハ押壓
 輪子ヲ破通セシメテ自然ト器内へ新宜ニ種ヤ粒ヲ送ルノ用サ成サシム
- 本器ノ轉軸ニ附着スル入個ノ押壓輪子ハ回轉スル毎ニ自然ト緩ク脱穀物ニ觸
 レテ脱粒スル装置故穀類ノ粒チ此頃セズ減ニシテレガ爲メニ手易ク回轉脱穀セシム
- ▼農會及ハ種合ヨリノ御申越ニハ種ニ本器ヲ持込シ試驗ニ可致候

◎定價一臺ニ付

拾五圓
 拾八圓
 拾圓

以上三種



御用中郡國府村國府新宿

出特許 結野式 脱穀器 合名會社

▼本器取次販賣御希望ノ方ハ特ニ御相談ニ可致候▼

(図1) 越野式脱穀機の広告記事

当館が所蔵している動力脱穀機は現在3台である。これまで、他にも動力脱穀機の寄贈についての話はあったが、大型資料を収蔵するだけの余地がないため、以後は受入れをしていないのが現状である。所蔵3台のうち、文字情報は2台に付されている。足踏脱穀機と同様に、購入日や購入者（所有者）等の記銘はなく、農機具メーカーについての情報のみである。

No. 1/宮津農機株式会社（愛知県半田市）

また、機種名は次のとおりである。

No. 1/アサイ式動力脱穀機

No. 2/丸宮式脱穀機

ここでも愛知県内の農機具メーカーがみられる。

④万石

上部の漏斗部分から米粒を流れ落とし、シナスと呼ばれる生育の悪い粒や欠けた粒を選別し精粒する道具である。当地域では、通常「マンゴク」と呼ばれる。ただし、従来の万石に改良が加えられた比較的新しいものについては、ベイセンキ（米選機）と呼ばれることがある。特にベイセンキの場合は、流下する粒を選別する金網の部分が二重になっているものが多く、粒の均質化について精度をあげる改良がなされている。

さて、文字情報について、まず紀年銘は次のとおりである。なお、墨書はすべて本体の左右どちらかに書かれている

No. 6/明治43年12月7日買求

No.10/大正3年12月1日ともめ

No. 1/大正5年11月1日新調

No.12/大正8年11月求之

No. 5/大正11年11月吉祥日新調（11月15日）

No. 3/昭和7年10月吉日

少ない資料数ではあるが、ほとんどが大正期に購入したことが分かる。No.6については明治43年（1910）とわずかに時期を遡っており、当館収蔵資料の中では最古となっている。さらに同資料は、「中井村井之口 関泰次郎 熊澤栄吉 持主」の記銘があり、2軒の共有であったことが注目される。また、No.3にも「・ ・ 共用具」の記銘がある。当地域でこれまでに確認できている2軒以上の共有物としては、祝儀や不祝儀に使う膳碗のほか⁽¹³⁾に、稲荷講や念仏講などのいわゆる講中道具があるが、農機具では動力糶摺機があるのみである。ただし、動力糶摺機の場合は、昭和30年（1955）頃に、高麗地区で共同購入して順番に使ったというものである。おそらく価格や使用頻度などを判断しての共同購入であると思われるが、個人で購入するようになったのは昭和40年代になってからだという⁽¹⁴⁾。万石については2件のみの例であるが、万石の所有形態の一端を示すものと理解しておきたい。

ところで、かつて大磯町生沢に江戸期の年号をもった万石があった。過去形にしたのは、実は確固たる記録をとらないままに失われてしまったためである。まだ当館が建設される以前、たまたま訪問した家の物置内にあつ

た万石が目に入った。驚いたことに、本体横には江戸の年号が墨書されていた。しかし、たいへん慌しい中での訪問であったため、あらためて伺うことにしてすぐにその場を辞したのである。その後なかなか都合が折り合わず訪問の機会をつかめずいたところ、結局取り壊し廃棄されてしまったとのこと。その場では複数の職員が目にしたので江戸の年号は間違いのないのだが、今となっては具体的な年号の記憶もはっきりしておらずどうしようもない。なぜその場でしっかりと確認し、あるいは寄贈もしくは寄託の措置をとらなかったのか、悔いるばかりである。しかし、少なくともかなり早い時期に万石を所有していた家があったことは間違いのない。ただし、現在の所蔵資料を見る限りにおいては、大正期になって多くの家で購入することができたことや、同時期においても2軒で共有としていたことを考えれば、江戸期に所有していた家は、むしろ特異であったことが推測される。いわゆる生業環境や家格といったものと、どのようにかかわっているのか確認する必要があるだろう。

なお、先にも触れたが、いわゆる米選機については、ここでは万石と同じものとして集成したが、構造・機能上でかなりの改良が加えられており、単純に同一のものとして分類して良いものかどうか、一考すべき部分があるのではないかと考えている。

<おわりに>

以上、簡単ではあるが、当館が所蔵している脱穀具および選別具について概観し情報を整理した。少なくとも当館所蔵資料について基礎資料としての役割は果たすことはできるだろう。しかし、紙幅の制限もあり十分な考察はできなかった。千歯扱の穂の断面による年代の考証や補修の痕跡についても言及していない。足踏脱穀機について十分な情報の得られていない農機具メーカーもある。万石では、形態や構造、機能の面での分類に課題も残る。写真による紹介もできなかった。もとより資料数は少なく所蔵資料のみで傾向をよみとろうとすることには無理がある。パラサイトや神奈川県立歴史博物館の共同研究で進めている集計を待ちたい。

註

- (1) 日本民具学会編『日本民具辞典』1997 ぎょうせい
- (2) 小川直之、後藤廣史、佐藤広、増田昭子、関東民具研究会編『多摩民具事典』1997 (財) たましん地域文化財団
- (3) 同じ形状であるが、穂間が広く、藁を梳く（すぐる）のに使うワラスグリには竹製の穂のものもみとめられる。
- (4) 前掲(1)
- (5) 小宮山登「田中富蔵の千歯扱—データからみた特徴—」『多摩のあゆみ』第68号 1992 (財) たましん地域文化財団
- (6) 『国府の民俗(三)—国府本郷・国府新宿・石神台地

- 区一』大磯町史民俗調査報告書三 1995 大磯町
 (7) 『大磯の民俗(一)—東小磯・西小磯地区—』大磯町
 史民俗調査報告書四 1997 大磯町
 (8) 前掲(7)
 (9) 『大磯の民俗(二)—大磯・東町・高麗地区—』大磯
 町史民俗調査報告書五 1998 大磯町
 (10) 箕輪敏行「川崎でいちばん古い細王舎農機具工場」
 『多摩のあゆみ』第68号 1992 (財)たましん地域
 文化財団
 (11) 榎本直樹「川越の農機具メーカー」『多摩のあゆみ』
 第68号 1992 (財)たましん地域文化財団
 (12) 前掲(9)
 (13) 佐川和裕「ハレの食器と食事—神奈川県大磯町の
 事例—」『南関東の共有膳碗—ハレの食器をどうしてい

たか—』1999 関東民具研究会

(14) 前掲(9)

追記

脱稿後、神奈川県立歴史博物館の総合研究「関東地方
 における民具の流通」の成果の一部として、同館より『神
 奈川県立歴史博物館総合研究報告 総合研究—関東地方
 における民具の流通』が刊行された。ここでは、「千歯扱
 き」「唐箕」「万石」「足踏み脱穀機」についてのデータの
 集積と研究報告がなされており、当館の収蔵資料を含め
 た関東地方における民具について、地域と物流の概観を
 知ることができる。なお、パラサイト(関東民具研究会)
 においても独自に集計を進めており、報告書も近刊され
 る見込みである。

<千歯扱一覽>

| No. | (受入番号) | (資料名) | (使用地) | (備考) |
|-----|-----------|-------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1983-0601 | イネコキマンガ | 大磯町国府本郷 | <台部> 専賣特許第三四九五九号/□□本大阪□□
農具店
<穂部> □□□□農具商□□ |
| 2 | 1985-0102 | イネコキマンガ | 大磯町生沢 | <台部> (飾り文字) / 大正五年十一月三日 竹内
金八 / 代金弍円五十銭 / 大正五年十二月国府村生
沢 竹内 刃 / 相 彦二宮 松本姓 / 別製検査之
印 <穂部> 竹内金八用具 / 国府村生澤西 |
| 3 | 1987-0401 | ムギコキマンガ | *平塚市董平 | <台部> ㄣ |
| 4 | 1988-0101 | ムギコキマンガ | 大磯町国府新宿 | <台部> ㄣ (飾り文字) / 新宿 加藤重右エ門様
御□□ / 相 彦二宮 松本姓 / 保険附 |
| 5 | 1988-0101 | ムギコキマンガ | 大磯町国府新宿 | <台部> ㄣ (飾り文字) / 新宿 加藤重エ門様 /
相 彦二宮 松本姓 / 保険附 |
| 6 | 1988-0303 | ムギコキマンガ | 大磯町高麗 | <台部> (飾り文字) / マンガー ムギコキ機 明
治四十三年五月 / 明治四十三年五月購入 |
| 7 | 1989-0301 | ムギコキセンバ | 大磯町西小磯 | <台部> ㄣ (飾り文字) / 文久三年亥十月吉日
渡邊氏求之 三丁口□□廿三 渡辺廣三□
<穂部> 渡辺廣三所有 / 大正六年 / 平□ ㄣ 保 險 |
| 8 | 1991-0804 | ムギ(イネ)コキマンガ | 大磯町西小磯 | <穂部> ㄣ (飾り文字) / 大正五年 / 刃金請合
ㄣ作 |
| 9 | 1992-0430 | ムギ(イネ)コキマンガ | 大磯町生沢 | <台部> ㄣ (飾り文字) / 中郡國府村生澤 大正
八年六月壹日 竹内浦吉 / 明治三拾四□□□□□
中郡國府村生沢 竹内浦吉 / 請合 / ㄣ倉□氷□ |
| 10 | 1996-1003 | イネコキマンガ | 大磯町西小磯 | <台部> 五丁口 稲扱小磯 栴ヤ□□廿五□□ / 傘
伯州出□ / ヨ / ㄣ |
| 11 | 1996-1003 | イネコキマンガ | 大磯町西小磯 | <台部> ㄣ (飾り文字) / ㄣ 保険 / 西 九三 高
橋要助様 三丁口 / ヨ |
| 12 | 1996-1003 | イネコキマンガ | 大磯町西小磯 | <台部> 舎 (飾り文字) / 大正四年十一月 小磯
高橋要助 ヨ / 大正四年 小磯 高橋要助 / ㄣ 相 彦
二宮 松本姓
<穂部> / 大正四年 / 吉作 / 別製 |
| 13 | 2001-0306 | マンガ | 大磯町国府新宿 | <台部> (飾り文字) |
| 14 | 2001-0306 | マンガ | 大磯町国府新宿 | |
| 15 | 2004-1203 | イネコキマンガ | 二宮町 | <台部> / □キ 紀州□川 稲扱所 |
| 16 | 2004-1203 | 名称不明 | 二宮町 | <台部> ㄣ (飾り文字) / 二宮 小島常吉様 / 保
險 相州二宮 ㄣ 製 農具
<穂部> 明治四十五年 / ㄣ□險 / 大□□無類 |

<足踏脱穀機一覧>

| No. | (受入番号) | (資料名) | (使用地) | (備考) |
|-----|-----------|-------------|---------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | 1983-0601 | ダッコクキ | 大磯町国府本郷 | 軽便稲麥扱機/TRADE MARK/豊年/ダイヤモンド/共榮社第二工場/愛知縣豊川 |
| 2 | 1983-0801 | ダッコクキ | 大磯町大磯 | 農林規格/一号/ミノル式親王號/□□商標 大王印/神奈川 川崎市/細王舎第一工場 |
| 3 | 1988-0101 | ダッコクキ | 大磯町国府新宿 | |
| 4 | 1989-0108 | ダッコクキ | 小田原市成田 | 於平和名誉銀牌受領/發明 元祖/特許機械製/新案特許/登録商標 大王印/ミノル式新王號/神奈川縣橋樹郡生田村/細王舎第一場製 |
| 5 | 1989-0310 | ダッコクキ | 大磯町西小磯 | 優秀(最新型)無比/實用新案登録/商標 日本/日の本式稲麥扱機/株式會社日本農蠶機製作所 |
| 6 | 1990-0506 | ダッコクキ | 大磯町寺坂 | チヨダ/農林規格 人力脱穀機/一號/埼玉縣木屋製作所 川越市 |
| 7 | 1997-0405 | ダッコクキ(アシブミ) | 大磯町大磯 | 於平和名誉銀牌受領/發明 元祖/特許機械製/新案特許/登録商標 大王印/ミノル式新王號/神奈川縣橋樹郡生田村/細王舎第一場製 |

<動力脱穀機一覧>

| No. | (受入番号) | (資料名) | (使用地) | (備考) |
|-----|-----------|-------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1983-0801 | 動力脱穀機 | 大磯町大磯 | アサイ式/宮津農機株式會社製/アサイ式動力脱穀機 農林省通産省指定工場 愛知縣半田市 宮津農機株式會社/標準回轉数 米550~600回 小麥650~700回 大麥700~750回 主軸には高級無注油ベヤリングが使用してありますから注油を要しません |
| 2 | 1984-1202 | 動力脱穀機 | 大磯町国府新宿 | 丸宮式 MARUMIYA/丸宮式脱穀機/丸宮式脱穀機 毎分回轉数 稻550~600 麥650~750 製品番号T-814494/丸宮式動力脱穀機 發明賞 登録商標 |
| 3 | 1991-0505 | 動力脱穀機 | 大磯町大磯 | |

<万石一覧>

| No. | (受入番号) | (資料名) | (使用地) | (備考) |
|-----|-----------|-------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1983-1202 | マンゴク | 大磯町国府本郷 | 中郡国府村本郷 近藤彌吾持/大正五年拾貳月一日新調 |
| 2 | 1984-0502 | マンゴク | 大磯町西小磯 | 柏屋式改良二重萬石/特製 ㊦ |
| 3 | 1985-0201 | マンゴク | 大磯町生沢 | ㊦ 原田式改良万石 今八 共用具/㊦ 原田式改良万石 昭和七年十月吉日/商標 ㊦ |
| 4 | 1985-0201 | マンゴク | 大磯町生沢 | 富長式撰別機/富長式 特製/富長式 □号 |
| 5 | 1991-1205 | マンゴク | 大磯町国府新宿 | 国府新宿 天 加藤氏/時二千大正拾年拾壹月吉祥日新調 十一月十五日/□□□□平井政 |
| 6 | 1994-0504 | マンゴク | 中井町井ノ口 | 中井村井之口 関泰次郎 熊澤彙吉 持主/神奈川縣足柄上郡中井村井ノ口下 明治四拾參年十二月七日買求 /関泰次郎 熊澤彙吉 所有/明治四拾參年拾貳月七日新調/第八号/ 尛 二見 |
| 7 | 1994-0602 | マンゴク | 大磯町高麗 | 人力用 SASHINAMI 指浪式三重萬石 |
| 8 | 1994-0602 | マンゴク | 大磯町高麗 | 福◇米撰機 田原製作所 |
| 9 | 1995-0403 | マンゴク | 大磯町国府本郷 | 三徳万石/山陽線竜野駅前 三徳萬石會社/名譽賞牌/最高名譽賞牌 |
| 10 | 1996-1003 | マンゴク | 大磯町西小磯 | 大正三年十二月一日 もとめ 大磯町西小磯 高橋要助 代金三円七拾錢/大正三年十二月一日 もとめ 高橋要助/請合 中郡田口原 木村 |
| 11 | 1997-0405 | マンゴク | 大磯町大磯 | *漏斗のみ(本体なし) |
| 12 | 2001-1006 | マンゴク | 大磯町国府新宿 | 大正八年十一月求之/ 半 定價金七圓也
*金網および漏斗欠損 |

ワークショップ「草と木の調査」における県立大磯城山公園の植物名ラベル設置作業実施報告

* 北水 慶一

<はじめに>

大磯町郷土資料館では、平成 11 年度よりワークショップ「草と木の調査」を行なっている。活動の経緯、実施内容等の詳細については、「大磯町郷土資料館年報—平成 11 年度—」、「大磯町郷土資料館年報—平成 15 年度—」などに記載しており、ご参照願いたい。概略を記すと、本ワークショップは町民の方々と一緒に博物館資料を作成することを目的に開始したもので、町内の植物の目録化を目指し、活動を進めている。平成 11、12 年度は町内全域を対象に“秋の植物の分布調査”を行ない、平成 13 年度以降は、当館が位置する神奈川県立大磯城山公園で花ごよみ調査を中心に年 20 回の活動を行なっている。平成 17 年度はこれまでの活動を発展させ、神奈川県公園協会と共同で、園内の植物名ラベル（樹名板とも呼ばれる：以下ラベルと表記する。）の設置作業を実施したので概要について記したい。

<県立大磯城山公園の立地>

県立大磯城山公園は、大磯町の東西のほぼ中央に位置する。最寄り駅は大磯駅であるが、駅からは約 2km 離れ



図 1 設置した植物名ラベル (Aboc 社製)

ており、大磯駅を經由して来られる方は徒歩もしくはバスの利用となる。園内には当館の他に公園管理事務所、展望台、茶室『城山庵』、東蔵などがあり、また、であいの広場、ひかりの広場、ふれあいの広場、もみじの広場の 4 つの性格の異なる広場が整備されている。駐車場は第 1、第 2 駐車場の 2 箇所あるが、初めて来園された方、園内の散策を目的に来られた方は第 1 駐車場を利用されることが多く、当館のリピーターで展示見学やレファレンス等のため、来園される方は第 2 駐車場の利用が多い。この傾向は、第 2 駐車場が幹線道から離れた場所に位置し、初めて来られた方にとっては、場所が分かりづらいことが所以である。

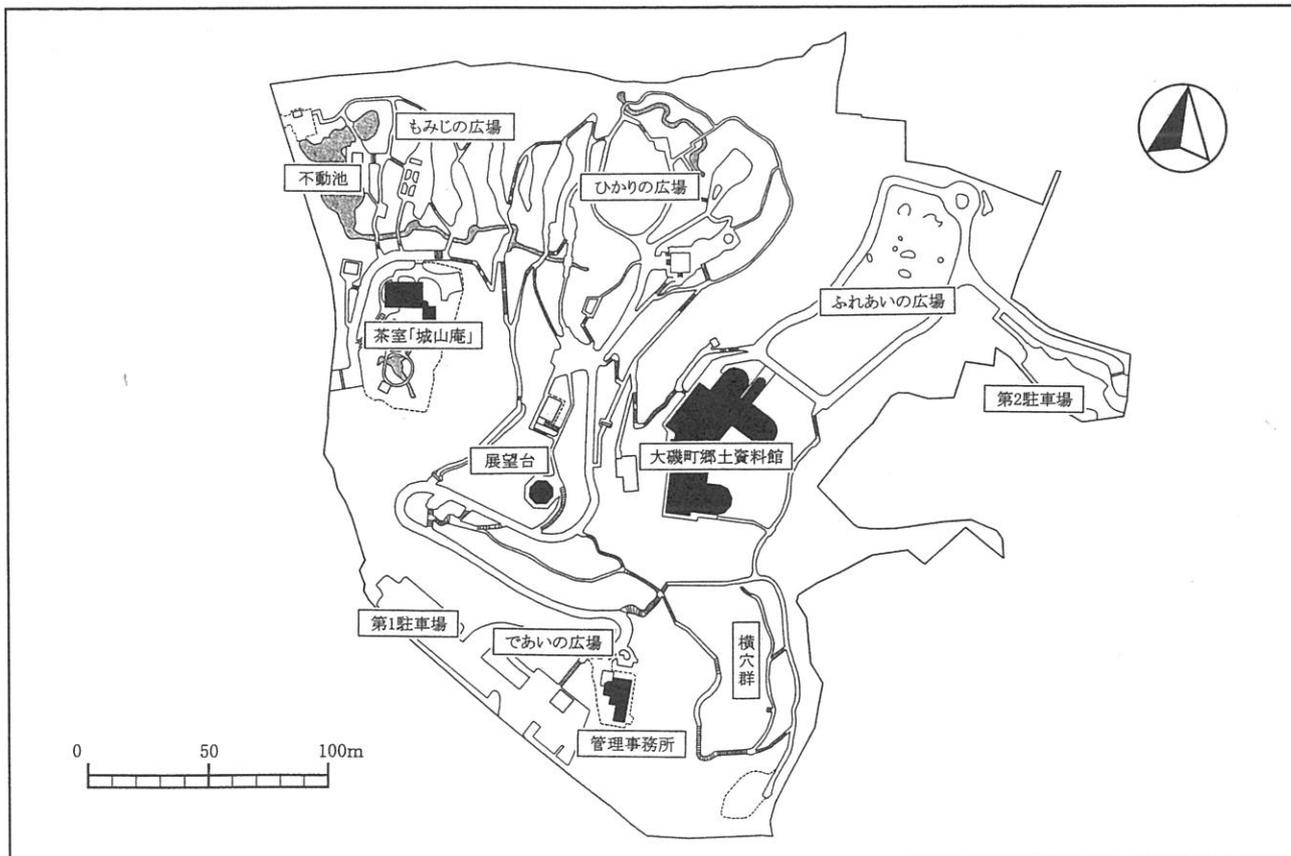


図 2 県立大磯城山公園（「県立大磯城山公園平面図 縮尺五百分之壱」をもとに作成）

(* 当館学芸員)

＜ラベル設置の経緯＞

ワークショップ「草と木の調査」では、例年、以後の活動内容の検討を目的に年度末にアンケートを実施し、意見を聴取している。設問については年間の調査回数や活動の時間帯については選択式に、活動内容等に関しては自由に記入できるようにしている。

ラベルの設置作業については、城山公園の調査を開始してから2年目である平成14年度に実施したアンケートで、要望をいただいたことがきっかけになっている。当時の調査活動の実態としては、それまで継続してきた花ごよみ調査は、開花を確認して調査票に記録するものであり、本数が限られ、開花時期が短い樹木については触れる機会が少なく、草花を中心に調査が進んでいた。同定のしづらいイネ科、カヤツリグサ科を除いては、皆がある程度、草本類の同定ができるようになり、木本類の同定について関心を持ち始めた時期でもあった。参加者の方の意見としては、樹木に対して知識を深める機会が少ないので、ラベルの設置作業を通して、樹木に触れるきっかけを持ちたい。ラベルの設置は城山公園の来園者で、植物についての知識を深めたいと望んでいる方に対しても有益であり、設置する側と見る側、両者にとって有意義であるため、実施したいというものであった。

意見を活動に反映させようと検討したが、当館と城山公園とは運営母体が、それぞれ大磯町、神奈川県公園協会と異なっており、当館の事情だけで行動を移すのは難しく、神奈川県公園協会と歩調を合わせる必要があると判断された。将来的にラベルの増設することを念頭に入れつつ、要望のあった樹木を対象とする調査活動を導入した。このことから平成15年1月以降、これまでの活動内容とは異なる樹木調査、主に園内の樹木の同定や胸高直径の計測等を行なうようになった。

＜ラベルの設置状況の確認＞

ラベルの増設にあたり実態を掌握するため、平成16年1月に本ワークショップで園内すべてを巡回し、設置されている位置と種類名を調べた。確認できたラベルの数は250枚（後日の確認では263枚）であった。結果について更に細かく触れると、最も多かった種類はイロハモミジとツツジ科のオオムラサキで8枚、次に多かったものがクルメツツジとクマザサの7枚で、以下、アセビ、アラカシ、イヌシデ、クマザサ、スダジイ、ドウダンツツジの6枚が続く（表1参照）。設置状況としては、第1駐車場から展望台に向かい、お茶室の方面に向かう園路沿いに設置されているものが多いことが分かった。また、晩秋から冬にかけて目立つイロハモミジ、サザンカ、ヤブツバキや新緑の季節に目立つオオムラサキ、クルメツツジ、ドウダンツツジ、サツキなどツツジ類が多いことから、紅葉時期とゴールデンウィークの時期の来園者を意識して設置されているのではと考えられた。

表1 4枚以上ラベルが設置されている植物の種類

| 種名 | 数(枚) | 種名 | 数(枚) |
|---------|------|--------|------|
| イロハモミジ | 8 | アオキ | 4 |
| オオムラサキ | 8 | ウメ | 4 |
| クルメツツジ | 7 | カクレミノ | 4 |
| クマザサ | 7 | キンモクセイ | 4 |
| アセビ | 6 | サザンカ | 4 |
| アラカシ | 6 | サツキ | 4 |
| イヌシデ | 6 | シャガ | 4 |
| クマザサ | 6 | ナギ | 4 |
| スダジイ | 6 | ニシキギ | 4 |
| ドウダンツツジ | 6 | ヒサカキ | 4 |
| ケヤキ | 5 | ヤブツバキ | 4 |
| タマリユウ | 5 | リュウノヒゲ | 4 |

＜神奈川県公園協会からの呼びかけ＞

平成17年7月に神奈川県公園協会から、樹名板設置について、話しが持ち込まれた。一部、文言を変更した箇所と省略した箇所があるが企画案は以下のとおりである。

大磯城山公園内植物名札の設置について

1. 主旨

自然林を中心とした大磯城山公園は小規模公園であるにもかかわらず、草木の種類が550種にも及び絶滅危惧種の植物も散見されている。来園者の中には植物名を知りたいとの要望をお持ちの方も多数おられるため、大磯町郷土資料館が定期的実施している『草と木の調査』メンバーと連携を図り、樹名板の設置を実施する。

2. 実施の基本的考え方

公園内植物名については現在ふれあい広場、不動池等を中心に250枚余が設置されているが、設置エリアに偏りもある。このため、未設置エリアや設置枚数僅少エリアへの植物名札設置を重点に実施する。

設置にあたっては、大磯町郷土資料館の協力を得て、資料館が実施する樹木調査および名札設置調査の結果を踏まえ、公園協会職員および『草と木の調査』メンバーの合同作業とする。

なお、名札等の諸資材については公園協会が準備する。

3. 実施の手順と時期

(1) 大磯町郷土資料館の調査結果の再確認(7月)

郷土資料館および公園担当者による現場再確認

(2) 名札設置樹木の選定(7月)

郷土資料館担当者による検討・選定

(3) 在庫名札の整理(7月)

公園担当者が保有名札の名称と枚数の整理

(4) 選定結果と保有名札の突合せと不足名札の発注(8月上旬)

(2), (3)の突合せを行ない、不足名札を業者へ発注する。

(5) 『草と木の調査』メンバーへの説明(8月上旬)

郷土資料館から『草と木の調査』メンバーへ、趣旨および実施スケジュール等について説明

(6) 名札設置作業(9月)

公園職員および『草と木の調査』メンバーによる名札設置作業

(以下、省略)

上記の企画案において、未設置エリア、設置個数僅少エリアという記載があるが、未設置エリアとは横穴群周辺のエリアで、設置枚数僅少エリアとはふれあいの広場周辺のエリアのことである。p59の図10に既設のラベルの設置位置、増設したラベルの設置位置を地図上に表記したので、増設前の状況をご確認願いたい。

<ラベル設置作業の工程>

当館の8月以降の年度事業計画を踏まえ、作業工程を検討し、実際に行なった作業工程は表2のとおりである。

ラベル増設の作業は3段階に分けられる。第1段階は、単純に未設置エリア、設置枚数僅少エリアの増設。第2段階は、公園全域を対象に設置箇所の見直しと設置状況の確認・修正。また、園内全域での設置枚数僅少箇所の増設。第3段階は公園全域の補足的な増設である。

第1段階は表2では、8月に行なった横穴群・ふれあいの広場周辺のラベルの設置作業があたる。未設置エリアとされる横穴群周辺の樹木については、前年の平成16年8月7日に横穴群周辺の園路脇の樹木で、胸高直径が約20cmを超え、目立つ樹木を選び、種名を調べ、目録化した。この資料をもとにどの樹木にラベルを取り付けるか8月6日に検討し、8月27日の実施に至った。設置枚数僅少エリアとされるふれあいの広場については、事前

表2 作業工程

| 実施日 | 作業内容 |
|-------|------------------------------------------|
| 7月20日 | 在庫名札の整理(神奈川県公園協会担当) |
| 8月6日 | 横穴群周辺 ラベルを設置する樹木の選定 |
| 8月27日 | 横穴群・ふれあいの広場周辺のラベル設置作業
既設のラベルの修正・取替え作業 |
| 9月24日 | 園内全域を対象にラベル設置樹木の選定 |
| 11月2日 | 展望台周辺を対象にラベル設置樹木の選定 |
| 11月 | ラベルの発注(神奈川県公園協会担当) |
| 1月28日 | ふれあいの広場・であいの広場周辺のラベルの設置作業 |
| 2月25日 | ひかりの広場・もみじの広場周辺のラベルの設置作業 |
| 3月25日 | 園内全域を対象とする補足的なラベルの増設作業 |

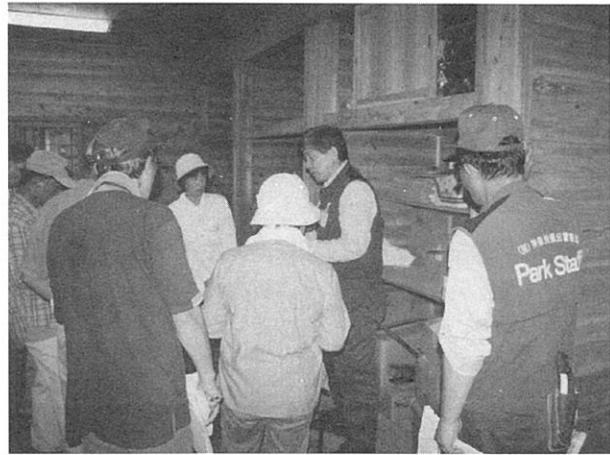


図3 8月27日の作業風景(取り付け方の説明)

に私の方で、広場全体での設置状況のバランスを見ながら、計画書を作成し、それをもとに作業にあたった。

第2段階の園内全域を対象とした増設・修正作業は、表2では8月27日に行なった既設のラベルの修正・取替え作業から2月25日のひかりの広場、もみじの広場周辺のラベル設置までの作業があたる。8月27日の修正・取替え作業は平成16年1月に実施したラベルの設置状況確認で、設置されている位置と種名とともにラベルの状態について記録をとっていた。色褪せて文字が読みづらくなっているものはラベルを取替え、草本類で枯れて無くなってしまったものは、ラベルを外した。9月24日の園内全域を対象とする樹木選定では、園路脇で幹が太く目立つ樹木、園路の折り返しの角に当たる部分に生えている樹木などを選び、1月以降、設置に向け、計画書の地図上に位置を記すとともに、実際にラベルを設置する樹木にも赤色のアクリルラッカースプレーで目印を付けていった。11月2日の展望台周辺の樹木選定は、城山公園園長 由良氏の要望により私が選定したものであり、大木でラベルがあつた方が良いと思われる樹木を選び、先の樹木選定と同様に計画書の地図上に樹木の位置を落としていった。特にスプレーで目印を付けなかったが、このことはラベルの設置作業をするうえで、大きな支障となった。11月の時点では落葉樹でもまだ葉が付いていたが、2月になると葉が全く付いておらず、同定に苦慮した。樹皮に特徴があるものは、スムーズに取り付け作業が進んだが、若い木でまだあまり樹皮の特徴が出てきていないものは、同定することができず、取り付けをやめた。樹木選定時の異なった作業要領のため、作業進行のバラツキが生じたが、1月28日と2月25日の作業で園内全域のラベル増設作業を実施することができた。

第3段階では、県公園協会が保有する未使用ラベルで、更に設置できそうなものを選び出し、補足的にラベルを増設した。表2では3月25日の作業がこれにあたる。

上記3段階の作業でそれぞれ設置したラベルの数は表3に示すとおりである。

表3 各段階におけるラベルの設置・取り外し枚数

| 段階 | 作業内容 | 数(枚) |
|---------------------|-------------------------------|------|
| 第1段階 | ラベル未設置エリア・設置枚数
僅少エリアのラベル設置 | 23枚 |
| 第2段階 | 園内全域のラベル設置 | 98枚 |
| | 修正によるラベルの取り外し | 8枚削除 |
| 第3段階 | 園内全域の補足的な増設 | 32枚 |
| 設置枚数 153枚、取り外し枚数 8枚 | | |

<おわりに>

このたび実施した作業では153枚のラベルを増設し、既設のラベルを8枚取り外したため、現状のラベル設置数は409枚となった。作業にあたった者は明らかに公園を散策する中で、ラベルが増えたことに気づくのだが、以外にも一般の散策者で実施前と実施後の変化に気づかれる方は少ないかもしれない。約7haという広大な場所で約150枚増えたからといっても、正直のところ明確な変化は見られていないし、また来園者それぞれの植物に対する興味の度合いにもよると思う。しかしながら、実施にあたったものは本作業を通して学べたことは多いように思える。見る人にとって、どの高さにラベルを取り付けたら見やすいか、また同じ種類の植物が群生している場所や同様に同じ種類の樹木が連立している場所などでは、どういう配置にしたらよいかなど、その都度、打ち合わせながら作業にあたった。また、正確な情報を提供しようと数名のチームを組んで繰り返し、同定を行なったことで、自ずと樹木に対する知識が深まっていったように思う。反面、反省としては、今回の作業は限られた時間の中で実施した作業であり、取り付け方にむらがあったように思われる。ラベルは樹木が肥大生長しても、幹に食い込まないように、収縮性のあるコイル状のロープで取り付けしたが、最初に取り付けた状態で縛りが緩いものもあった。今後、継続的にメンテナンスを行なっていくこと必要であると思われる。

以下、p54からp58まで、既設のラベル、増設のラベルの種名と設置位置を記したので、ご参照願いたい。園内でラベルを見たことをきっかけとして、植物に関心を持たれる方が増えることを望む次第である。また、小中学校の総合学習等で教材としてのご利用いただければとも考えている。

<謝辞>

ワークショップ「草と木の調査」の活動に際し、ご理解、ご協力をいただいた神奈川県公園協会の皆様、植物名ラベルの設置にあたりご配慮いただいた県立大磯城山公園 園長 由良伊佐雄氏に厚く御礼申し上げます。

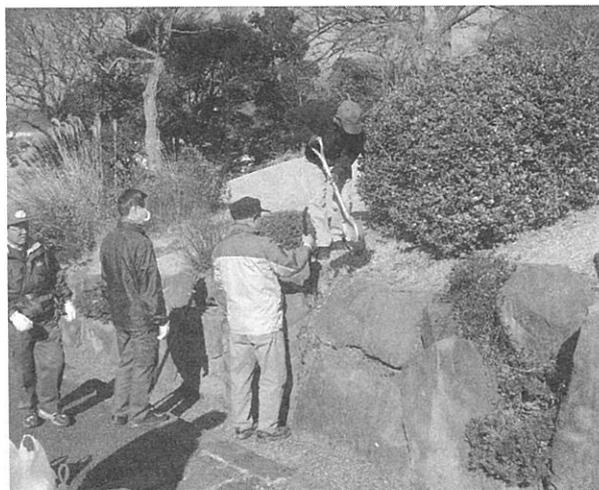


図4 1月28日の作業風景

本事業について、作業員全員の名前で報告すべきかと思うが、本報告においては企画調整の部分に重点を置きまとめており、企画進行・調整担当の立場で記載している。したがって、筆者がこれまでの活動を整理し、取りまとめている。以下、調査及び設置作業参加者を列記する。敬称は略させていただいている。

調査参加者

(平成15年度)

宮川紀子・石井竹夫・外川敏子・越川幸子・大木幸子・山本忍・宮原恒夫・山口千志・脇久美・安積良隆・長谷川倫子・川原一恵・熊沢恵子・平島靖士・中山美知子・鈴木昭夫・中村明子・中村ふぢ(順不同)

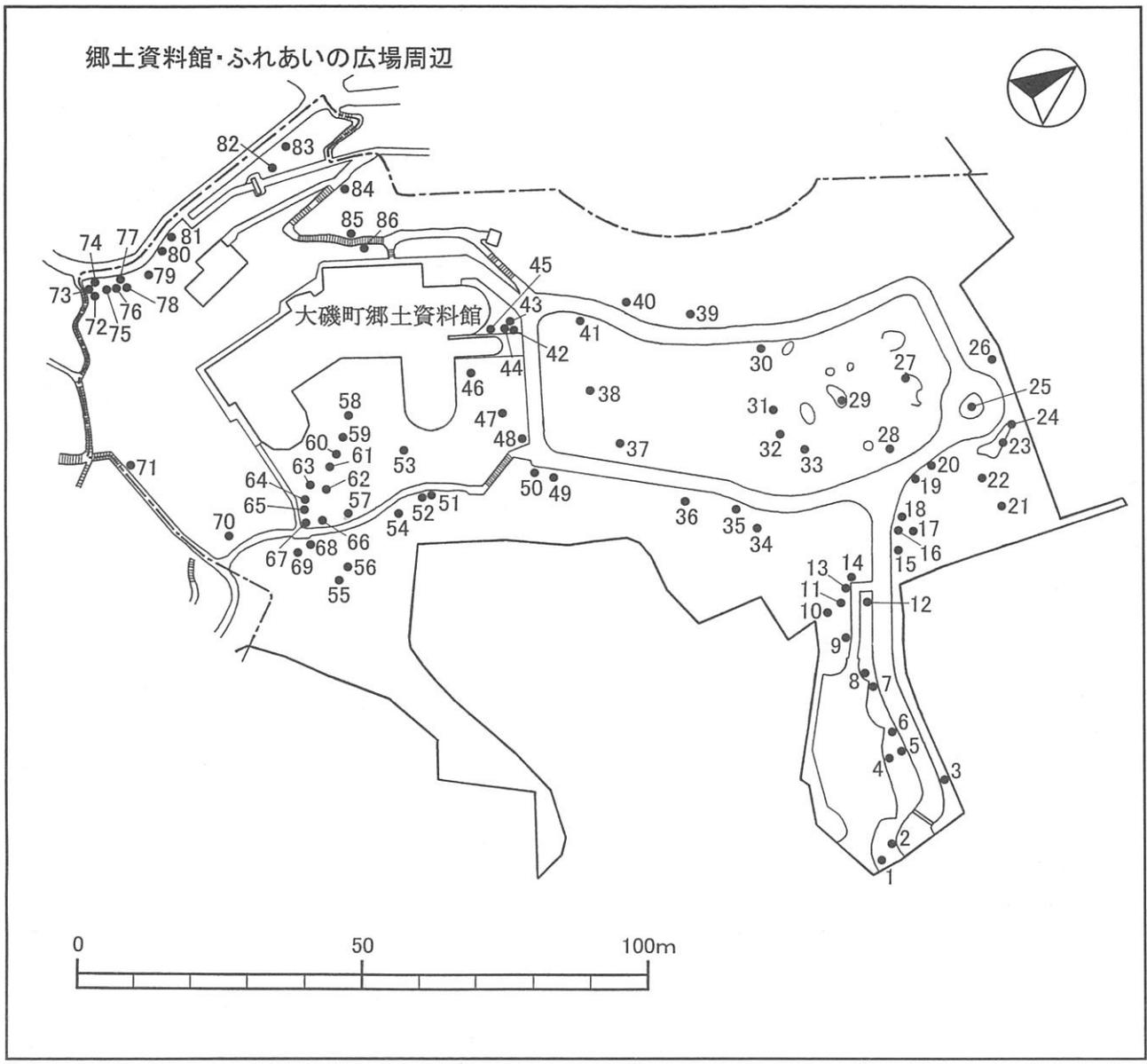
(平成16年度)

宮川紀子・石井竹夫・外川敏子・越川幸子・大木幸子・山本忍・宮原恒夫・山口千志・脇久美・安積良隆・川原一恵・平島靖士・鈴木昭夫・中村明子・中村ふぢ・大喜多泰郎・真田弘・山本章博・山本正代・小寺恵二郎・小寺美智子・添田公一・村田愈子・松島弘美・松島まり子・村上敦子・芹沢菊江・福井英二・加藤まさ子・吉川武士・吉田昌江・高木千代美(順不同)

調査参加者・設置作業参加者

(平成17年度)

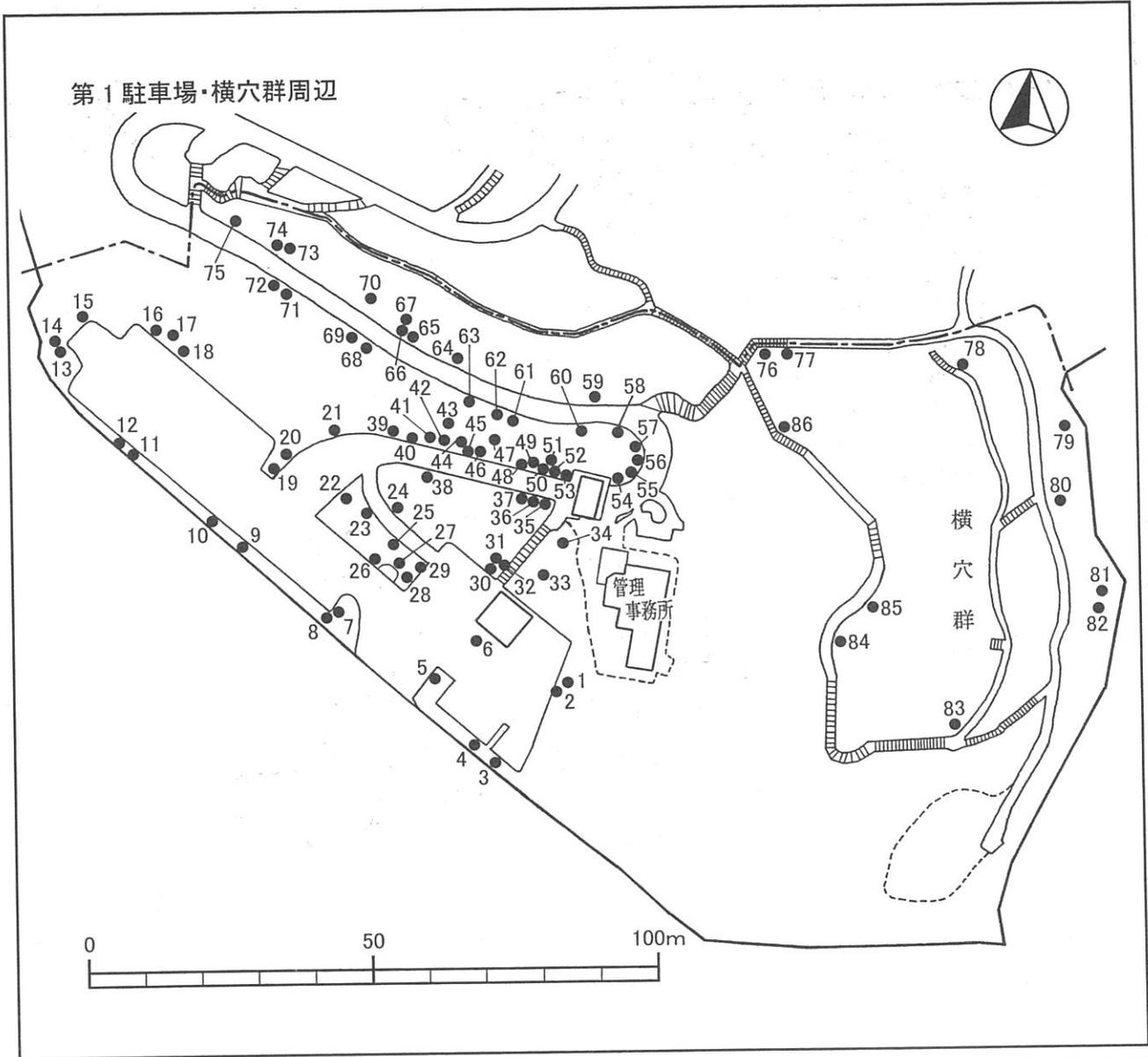
宮川紀子・石井竹夫・外川敏子・越川幸子・大木幸子・安積良隆・川原一恵・平島靖士・鈴木昭夫・中村明子・中村ふぢ・大喜多泰郎・真田弘・山本章博・山本正代・小寺美智子・添田公一・村田愈子・松島まり子・村上敦子・加藤まさ子・吉川武士・吉田昌江・高木千代美・鹿野光子・加藤君代・内山千代子(順不同)



| No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 |
|-----|--------|-----|--------|-----|---------------|-----|-------------|
| 1 | ケヤキ | 23 | シロタモ | 45 | サツキ | 66 | ヤマモモ |
| 2 | シロタモ | 24 | アカメガシワ | 46 | ケヤキ | 67 | キンモクセイ |
| 3 | サワラ | 25 | カヤ | 47 | エノキ | 68 | サザンカ(フジノミネ) |
| 4 | アラカシ | 26 | モチノキ | 48 | ウメ | 69 | イロハモミジ |
| 5 | ヤブニツケイ | 27 | カナメモチ | 49 | ムラサキシキブ | 70 | モウソウチク |
| 6 | エノキ | 28 | カクレミノ | 50 | クマノミズキ | 71 | アオキ |
| 7 | マユミ | 29 | カクレミノ | 51 | サザンカ(サンコウニシキ) | 72 | ヤブラン |
| 8 | カンツバキ | 30 | ムクノキ | 52 | イヌシデ | 73 | ニシキギ |
| 9 | アジサイ | 31 | モチノキ | 53 | シャリンバイ | 74 | ニシキギ |
| 10 | シラカシ | 32 | シラカシ | 54 | サザンカ(チクブジマ) | 75 | イロハモミジ |
| 11 | カキノキ | 33 | シラカシ | 55 | モウソウチク | 76 | ハマカンゾウ |
| 12 | アカマツ | 34 | クヌギ | 56 | ムラサキシキブ | 77 | ハマギク |
| 13 | イブキ | 35 | クヌギ | 57 | ハコネウツギ | 78 | ハマカンゾウ |
| 14 | エノキ | 36 | カマツカ | 58 | コクマザサ | 79 | スタジイ |
| 15 | サワラ | 37 | イヌシデ | 59 | アセビ | 80 | リュウノヒゲ |
| 16 | シロタモ | 38 | スタジイ | 60 | ナツツバキ | 81 | イヌシデ |
| 17 | エノキ | 39 | ヤブツバキ | 61 | ボケ | 82 | コクマザサ |
| 18 | カクレミノ | 40 | ケヤキ | 62 | ニシキギ | 83 | コクマザサ |
| 19 | アラカシ | 41 | シラカシ | 63 | ハナミズキ | 84 | イヌシデ |
| 20 | アラカシ | 42 | ヒラドツツジ | 64 | コブシ | 85 | イヌシデ |
| 21 | ネズミモチ | 43 | ユキヤナギ | 65 | ドウダンツツジ | 86 | タブノキ |
| 22 | オオモミジ | 44 | サザンカ | | | | |

図5 郷土資料館・ふれあいの広場周辺の植物名ラベル設置位置図

○の表記は既設ラベル、●の表記は増設したラベル



| No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 |
|-----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|---------|
| 1 | ニシキギ | 23 | スダジイ | 45 | リュウノヒゲ | 66 | イロハモミジ |
| 2 | アセビ | 24 | モチノキ | 46 | ハゼノキ | 67 | ユズリハ |
| 3 | ザクロ | 25 | コクマザサ | 47 | シュロ | 68 | ムラサキシキブ |
| 4 | ドウダンツツジ | 26 | コクマザサ | 48 | マンリョウ | 69 | イヌシデ |
| 5 | クルメツツジ | 27 | ビワ | 49 | シュロ | 70 | トベラ |
| 6 | エメキ | 28 | モチノキ | 50 | タマリユウ | 71 | ツブラジイ |
| 7 | クルメツツジ | 29 | ツブラジイ | 51 | イヌシデ | 72 | ヒサカキ |
| 8 | エノキ | 30 | シモツケ | 52 | ジンチョウゲ | 73 | マンリョウ |
| 9 | ムクノキ | 31 | ナギ | 53 | タマリユウ | 74 | コナラ |
| 10 | ケヤキ | 32 | シモツケ | 54 | イロハモミジ | 75 | イロハモミジ |
| 11 | ケヤキ | 33 | ナギ | 55 | タマリユウ | 76 | シャガ |
| 12 | ドウダンツツジ | 34 | サカキ | 56 | ガクアジサイ | 77 | ヤツデ |
| 13 | ツゲモチ | 35 | ヤブコウジ | 57 | タマリユウ | 78 | ケヤキ |
| 14 | ムラサキシキブ | 36 | リュウノヒゲ | 58 | タマリユウ | 79 | タブノキ |
| 15 | アオキ | 37 | イロハモミジ | 59 | アオキ | 80 | タブノキ |
| 16 | ハギ | 38 | ヤブコウジ | 60 | ヒサカキ | 81 | ヤブニッケイ |
| 17 | ハギ | 39 | スダジイ | 61 | モクレイシ | 82 | ヤブニッケイ |
| 18 | ヤマグワ | 40 | イロハモミジ | 62 | アオキ | 83 | ハゼノキ |
| 19 | シモツケ | 41 | エビネ | 63 | リュウノヒゲ | 84 | クヌギ |
| 20 | ジャノヒゲ | 42 | ヒサカキ | 64 | クヌギ | 85 | コナラ |
| 21 | ドウダンツツジ | 43 | エビネ | 65 | クマザサ | 86 | イヌシデ |
| 22 | サンゴジュ | 44 | ヒサカキ | | | | |

図6 第1駐車場・横穴群周辺の植物名ラベル設置位置図

○の表記は既設ラベル、●の表記は増設したラベル

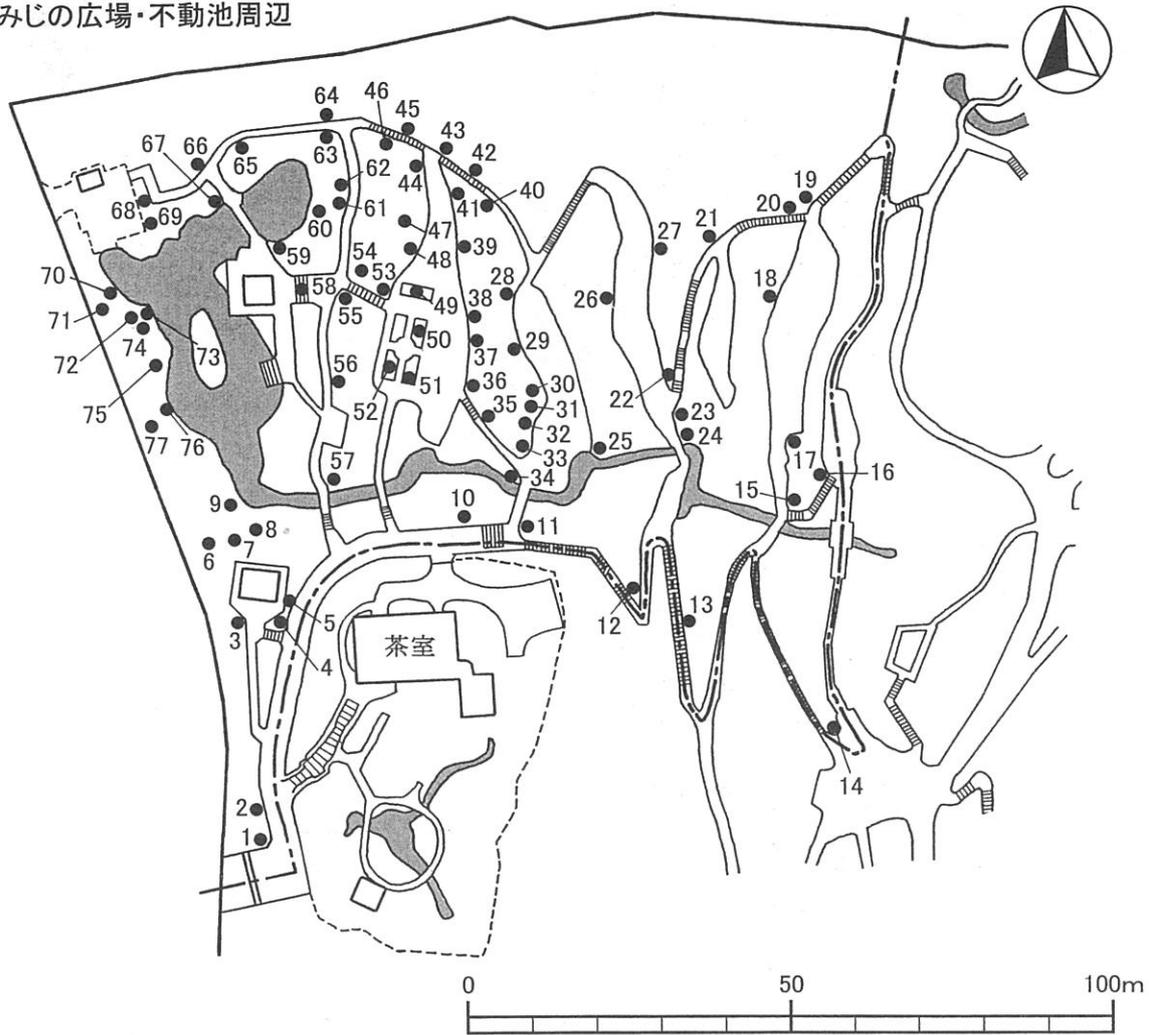


| No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 |
|-----|---------|-----|--------|-----|---------|-----|---------|
| 1 | ヤブラン | 19 | ヤブツバキ | 37 | ハイビヤクシン | 55 | アジサイ |
| 2 | シャクナゲ | 20 | オオムラサキ | 38 | クチナシ | 56 | アジサイ |
| 3 | タマスダレ | 21 | アセビ | 39 | ヤマザクラ | 57 | イヌシデ |
| 4 | ジンチョウゲ | 22 | キャラボク | 40 | アセビ | 58 | ヒイラギ |
| 5 | イソギク | 23 | アセビ | 41 | ヤマユリ | 59 | ケヤキ |
| 6 | ニシキギ | 24 | トサミズキ | 42 | イヌシデ | 60 | スダジイ |
| 7 | ボタン | 25 | ハマギク | 43 | ウメ | 61 | ムラサキシキブ |
| 8 | ハカタジロ | 26 | イソギク | 44 | ハイビヤクシン | 62 | アラカン |
| 9 | ネムノキ | 27 | ムクゲ | 45 | キンモクセイ | 63 | イロハモミジ |
| 10 | ハゼノキ | 28 | クルメツツジ | 46 | ガクアジサイ | 64 | ムクノキ |
| 11 | スダジイ | 29 | オオムラサキ | 47 | スダジイ | 65 | ミズキ |
| 12 | キンモクセイ | 30 | オオムラサキ | 48 | フイリヤブラン | 66 | ヒサカキ |
| 13 | コナラ | 31 | シナヒイラギ | 49 | オオムラサキ | 67 | スギ |
| 14 | コナラ | 32 | ユキヤナギ | 50 | アケビ | 68 | ケヤキ |
| 15 | ヒュウガミズキ | 33 | クロガネモチ | 51 | クマノミズキ | 69 | タブノキ |
| 16 | ツブラジイ | 34 | サツキ | 52 | クヌギ | 70 | ミツバツツジ |
| 17 | スダジイ | 35 | クチナシ | 53 | キリシマツツジ | 71 | サルスベリ |
| 18 | クヌギ | 36 | ムクゲ | 54 | ヒイラギ | | |

図7 展望台・茶室「城山庵」周辺の植物名ラベル設置位置図

○の表記は既設ラベル、●の表記は増設したラベル

もみじの広場・不動池周辺

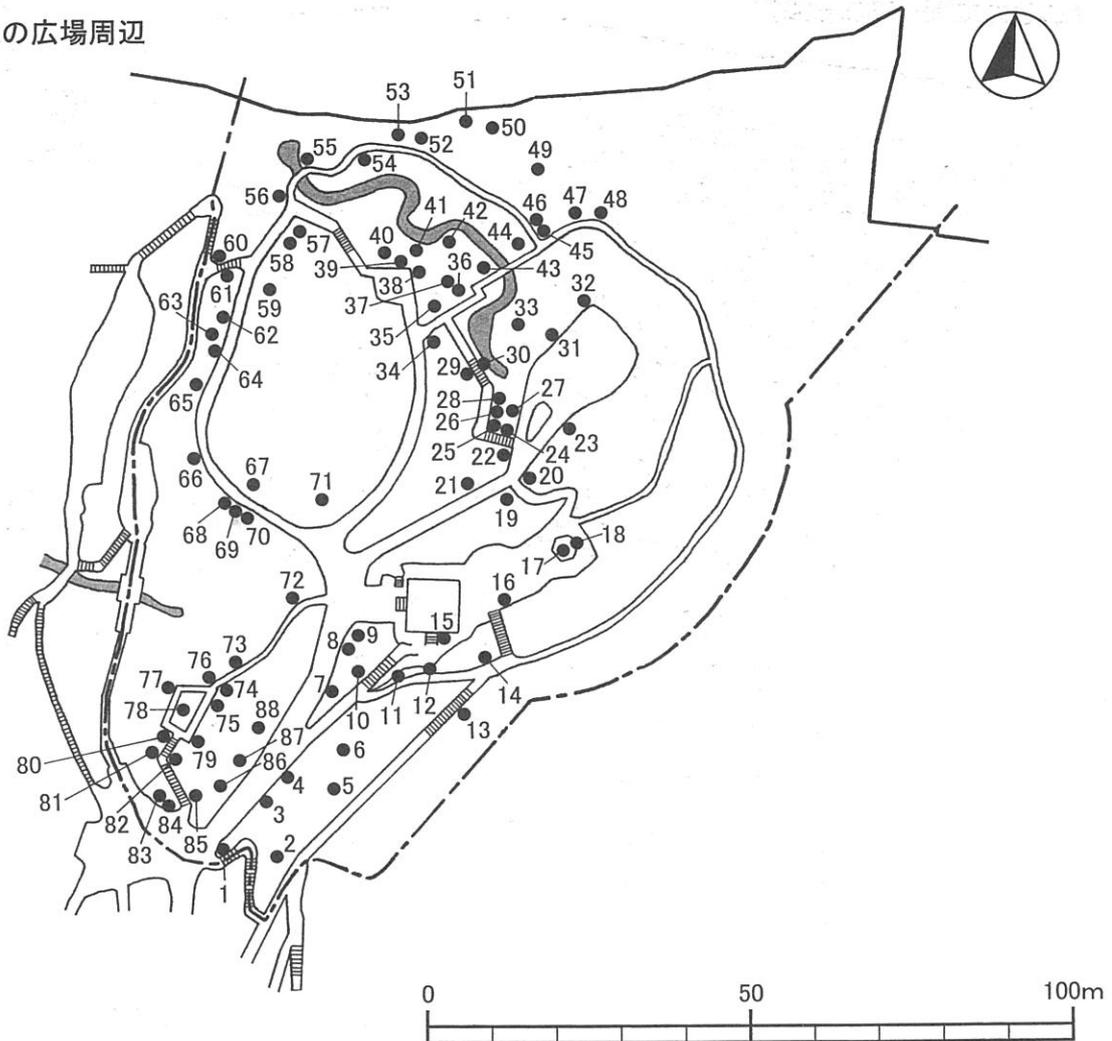


| No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 |
|-----|-----------|-----|--------|-----|-----------|-----|----------|
| 1 | ケヤキ | 21 | ケヤキ | 40 | シロダモ | 59 | イロハモミジ |
| 2 | オカメザサ | 22 | ヤツデ | 41 | ジャノヒゲ | 60 | ユキヤナギ |
| 3 | ツツブキ | 23 | フッキソウ | 42 | シャガ | 61 | ヤブツバキ |
| 4 | ヤマモモ | 24 | シャガ | 43 | ケヤキ | 62 | コデマリ |
| 5 | ツツブキ | 25 | セキショウ | 44 | サツキ | 63 | アジサイ |
| 6 | ドウダンツツジ | 26 | コナラ | 45 | シャガ | 64 | ヤマツツジ |
| 7 | スダジイ | 27 | ミズキ | 46 | チャボリュウノヒゲ | 65 | ウメモドキ |
| 8 | アラカシ | 28 | ギンモクセイ | 47 | ヤブツバキ | 66 | クマザサ |
| 9 | オオムラサキツツジ | 29 | コブシ | 48 | スダジイ | 67 | ウメ |
| 10 | イヌマキ | 30 | クルメツツジ | 49 | ナツツバキ | 68 | ドウダンツツジ |
| 11 | アセビ | 31 | クルメツツジ | 50 | ナツツバキ | 69 | ヒイラギモクセイ |
| 12 | ヤブニッケイ | 32 | オオムラサキ | 51 | クルメツツジ | 70 | キリシマツツジ |
| 13 | タブノキ | 33 | コブシ | 52 | ナツツバキ | 71 | ケヤキ |
| 14 | アセビ | 34 | セキショウ | 53 | サカキ | 72 | オオムラサキ |
| 15 | フッキソウ | 35 | キンモクセイ | 54 | スギ | 73 | ウメ |
| 16 | タブノキ | 36 | アラカシ | 55 | モウソウチク | 74 | アラカシ |
| 17 | タブノキ | 37 | エノキ | 56 | エノキ | 75 | サツキ |
| 18 | ヤブミョウガ | 38 | モチノキ | 57 | イヌシデ | 76 | サルスベリ |
| 19 | エノキ | 39 | モウソウチク | 58 | ヤブツバキ | 77 | イヌシデ |
| 20 | スギ | | | | | | |

図8 もみじの広場・不動池周辺の植物名ラベル設置位置図

○ ○ ○ ○ ○ の表記は既設ラベル、● ○ ○ ○ ○ の表記は増設したラベル

ひかりの広場周辺



| No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 | No. | 植物名 |
|-----|-----------|-----|----------|-----|----------|-----|--------|
| 1 | コクマザサ | 23 | キズイセン | 45 | ニシキギ | 67 | ウメ |
| 2 | コクマザサ | 24 | アラカシ | 46 | モチノキ | 68 | ガマズミ |
| 3 | イロハモミジ | 25 | キリシマツツジ | 47 | ミズキ | 69 | ヤマハゼ |
| 4 | イヌシデ | 26 | モチノキ | 48 | オオバヤシャブシ | 70 | ゴンズイ |
| 5 | スギ | 27 | オトメツバキ | 49 | ヤブツバキ | 71 | アカマツ |
| 6 | スタジイ | 28 | トベラ | 50 | ヒイラギモクセイ | 72 | コナラ |
| 7 | チャボリュウノヒゲ | 29 | シナヒイラギ | 51 | スタジイ | 73 | アラカシ |
| 8 | ハカタジロ | 30 | ヒイラギナンテン | 52 | ヒイラギ | 74 | クヌギ |
| 9 | クスノキ | 31 | ラップズイセン | 53 | ギンモクセイ | 75 | ゴンズイ |
| 10 | クマミズキ | 32 | イロハモミジ | 54 | アラカシ | 76 | コナラ |
| 11 | ミズキ | 33 | スタジイ | 55 | オカメザサ | 77 | シロダモ |
| 12 | ジャノヒゲ | 34 | ヤマモモ | 56 | モッコク | 78 | フクジュソウ |
| 13 | イヌシデ | 35 | ナギ | 57 | イヌシデ | 79 | アラカシ |
| 14 | クチナシ | 36 | ウメ | 58 | サカキ | 80 | コナラ |
| 15 | カンツバキ | 37 | ボケ | 59 | アオキ | 81 | ハゼノキ |
| 16 | ヤツデ | 38 | シャガ | 60 | タブノキ | 82 | イヌシデ |
| 17 | エビネ | 39 | シャガ | 61 | クヌギ | 83 | クマザサ |
| 18 | ハゼノキ | 40 | ハナニラ | 62 | タブノキ | 84 | ハゼノキ |
| 19 | クルメツツジ | 41 | アラカシ | 63 | ケヤキ | 85 | イヌシデ |
| 20 | モッコク | 42 | カクレミノ | 64 | ヒサカキ | 86 | クマザサ |
| 21 | カゴノキ | 43 | アセビ | 65 | スギ | 87 | クマザサ |
| 22 | マツモトセンノウ | 44 | ナギ | 66 | ヒサカキ | 88 | クマザサ |

図9 ひかりの広場周辺の植物名ラベル設置位置図

○ ○ ○ ○ ○ の表記は既設ラベル、● ○ ○ ○ ○ の表記は増設したラベル



- 既設ラベルの位置
- 増設したラベルの位置

置図(「県立大磯城山公園平面図 縮尺五百分之壱」をもとに作成)



図10 県立大磯城山公園 園内全域の既設植物名ラベル、増設植物名ラベル設置位置図(「県立大磯城山公園平面

年 報

平成 17 年度

◇ 平成 18 年 12 月 28 日 発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463 (61) 4700

FAX 0463 (61) 4660